

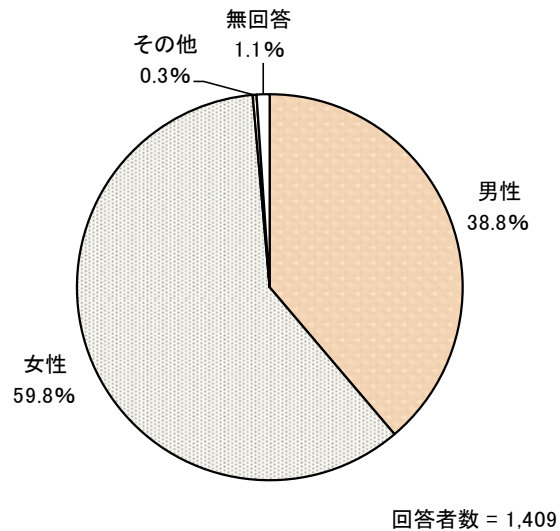
第2章 調査結果

1 回答者属性

Q 1 あなたの性別をお答えください。(〇は1つ)

「男性」の割合が38.8%、「女性」が59.8%となっています。

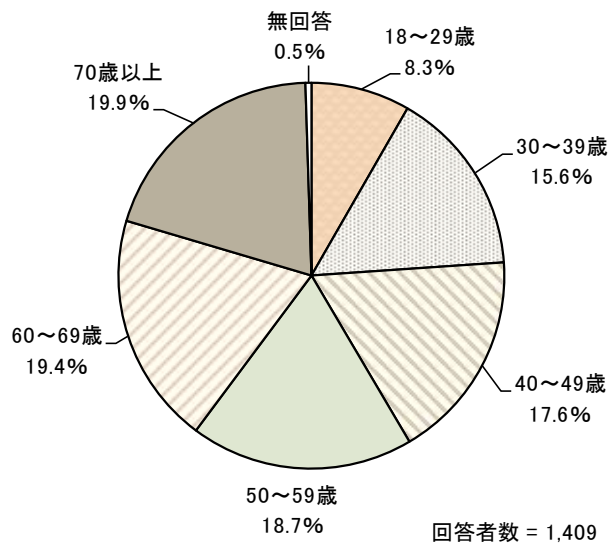
カテゴリ	件数
男性	547
女性	843
その他	4
無回答	15
全体	1,409



Q 2 あなたの年齢をお答えください。(〇は1つ)

「70歳以上」の割合が19.9%と最も高く、次いで「60～69歳」が19.4%、「50～59歳」が18.7%となっています。

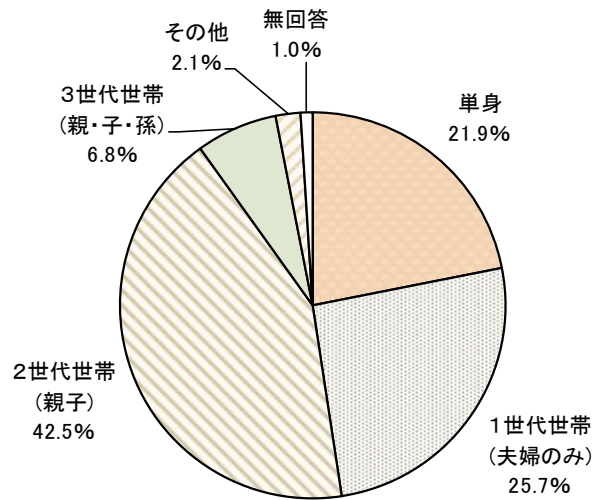
カテゴリ	件数
18～29歳	117
30～39歳	220
40～49歳	248
50～59歳	264
60～69歳	273
70歳以上	280
無回答	7
全体	1,409



Q 3 あなたの家族構成をお答えください。(○は1つ)

「2世代世帯(親子)」の割合が42.5%と最も高く、次いで「1世代世帯(夫婦のみ)」が25.7%、「単身」が21.9%となっています。

カテゴリ	件数
単身	309
1世代世帯(夫婦のみ)	362
2世代世帯(親子)	599
3世代世帯(親・子・孫)	96
その他	29
無回答	14
全体	1,409

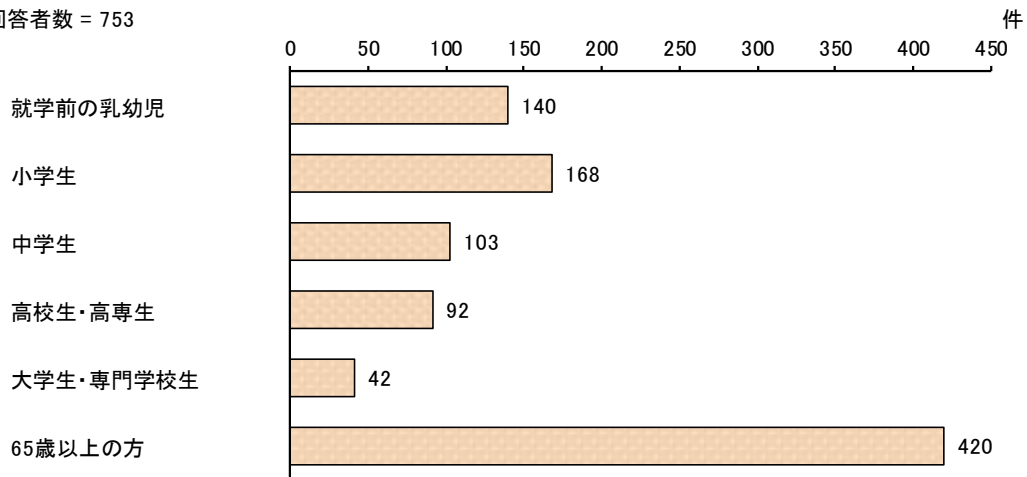


回答者数 = 1,409

Q 4 あなたは、以下の方と同居されていますか。(該当するものがあれば、すべてに○)

「65歳以上の方」との同居が420件と最も多く、次いで「小学生」との同居が168件、「就学前の乳幼児」との同居が140件となっています。

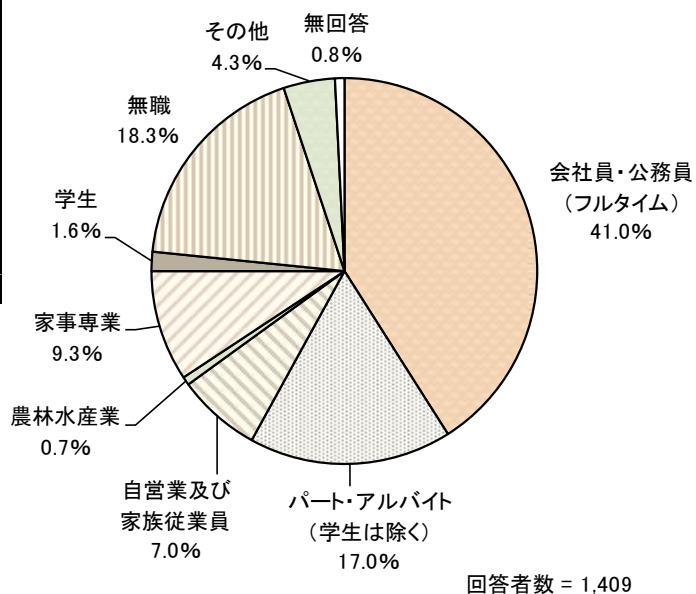
回答者数 = 753



Q5 あなたの職業をお答えください。(〇は1つ)

「会社員・公務員（フルタイム）」の割合が41.0%と最も高く、次いで「無職」が18.3%、「パート・アルバイト（学生は除く）」が17.0%となっています。

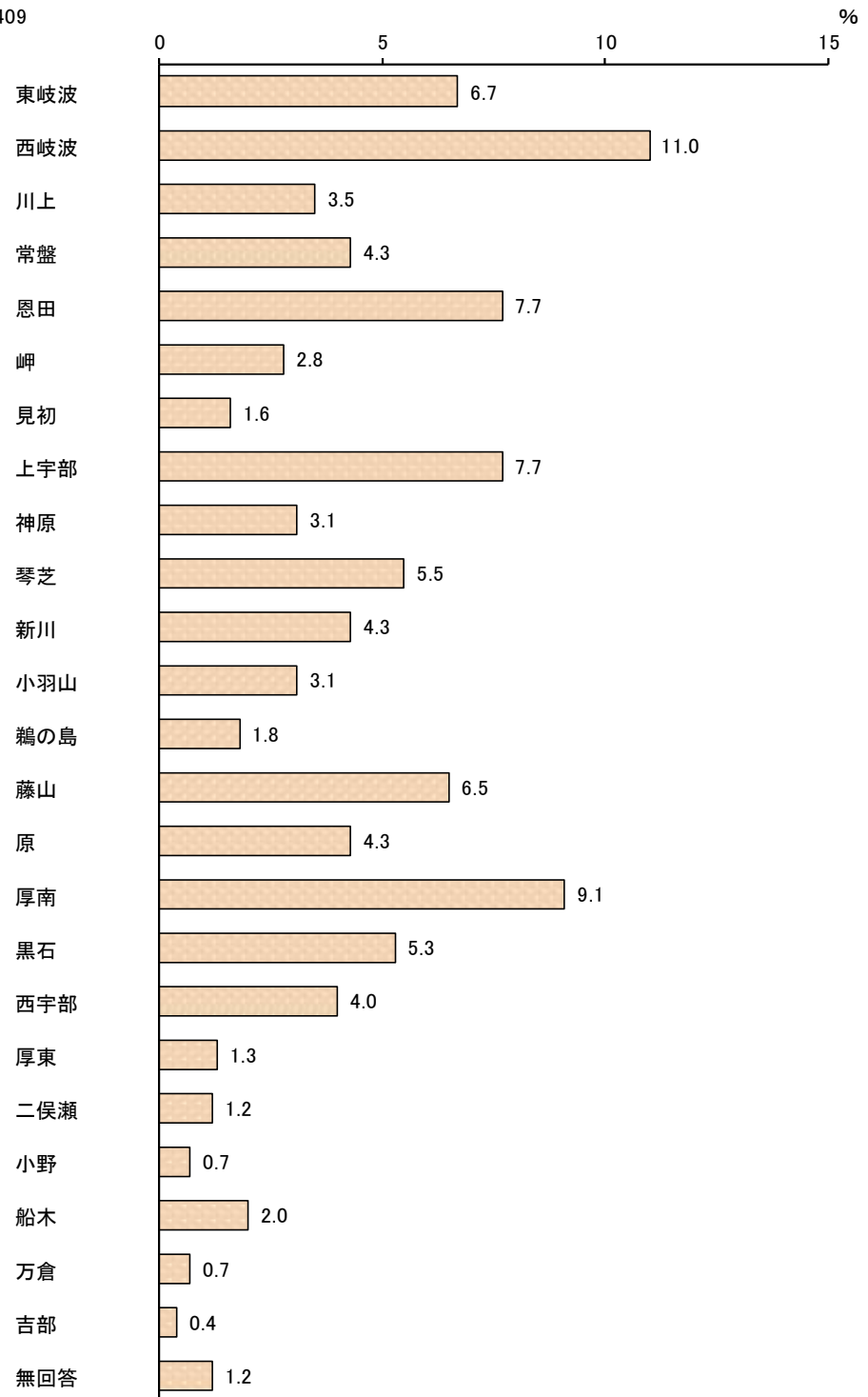
カテゴリ	件数
会社員・公務員(フルタイム)	577
パート・アルバイト(学生は除く)	239
自営業及び家族従業員	99
農林水産業	10
家事専業	131
学生	23
無職	258
その他	61
無回答	11
全体	1,409



Q6 あなたの居住地区をお答えください。(〇は1つ)

回答者数 = 1,409

	カテゴリ	件数
東部	東岐波	95
	西岐波	155
	川上	50
	常盤	61
中南部	恩田	109
	岬	39
	見初	23
	上宇部	109
	神原	44
	琴芝	78
	新川	61
	小羽山	43
	鶉の島	25
	藤山	91
西部	原	61
	厚南	128
	黒石	75
	西宇部	56
北部	厚東	18
	二俣瀬	17
	小野	10
	船木	28
	万倉	10
	吉部	6
	無回答	17
全体	1,409	

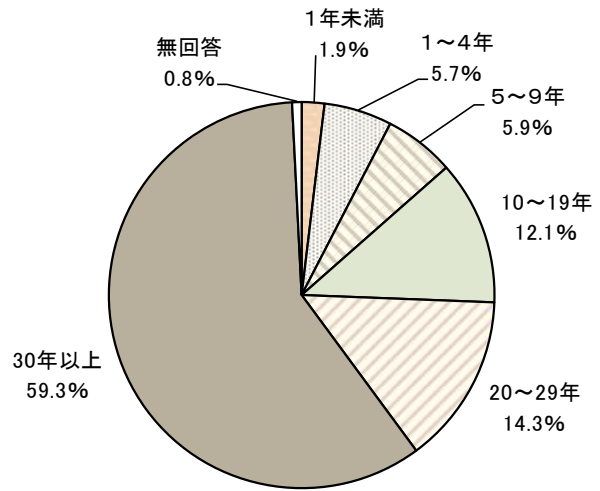


※ 市の人口に占める各地区の居住人口の割合に近い回答が得られています。

Q7 あなたの宇部市（旧楠町を含む）での通算居住年数をお答えください。
（〇は1つ）

「30年以上」の割合が59.3%と最も高く、次いで「20～29年」が14.3%、「10～19年」が12.1%となっています。

カテゴリ	件数
1年未満	27
1～4年	81
5～9年	83
10～19年	170
20～29年	202
30年以上	835
無回答	11
全体	1,409



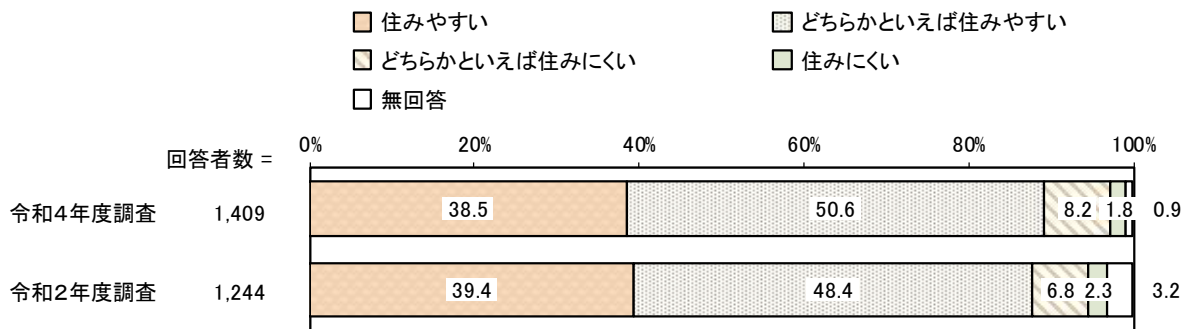
回答者数 = 1,409

2 宇部市の住みやすさについて

Q8 宇部市は住みやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすい”の割合が89.1%、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合わせた“住みにくい”の割合が10.0%となっています。

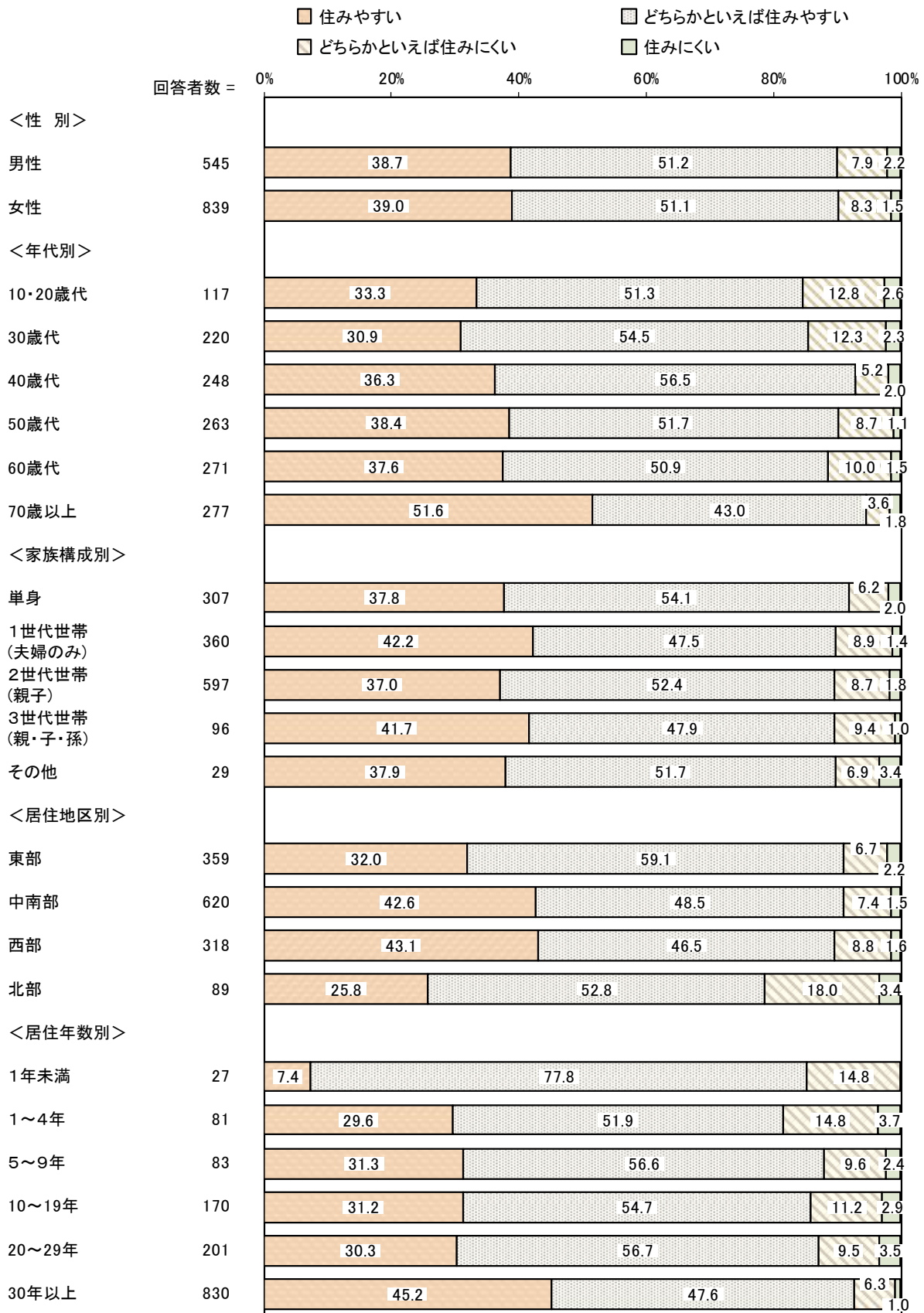
また、令和2年度調査と比較すると、“住みやすい”の割合が1.3ポイント向上しています。



※ 前回調査(令和2年度)と比較するため、無回答を含めて集計しています。

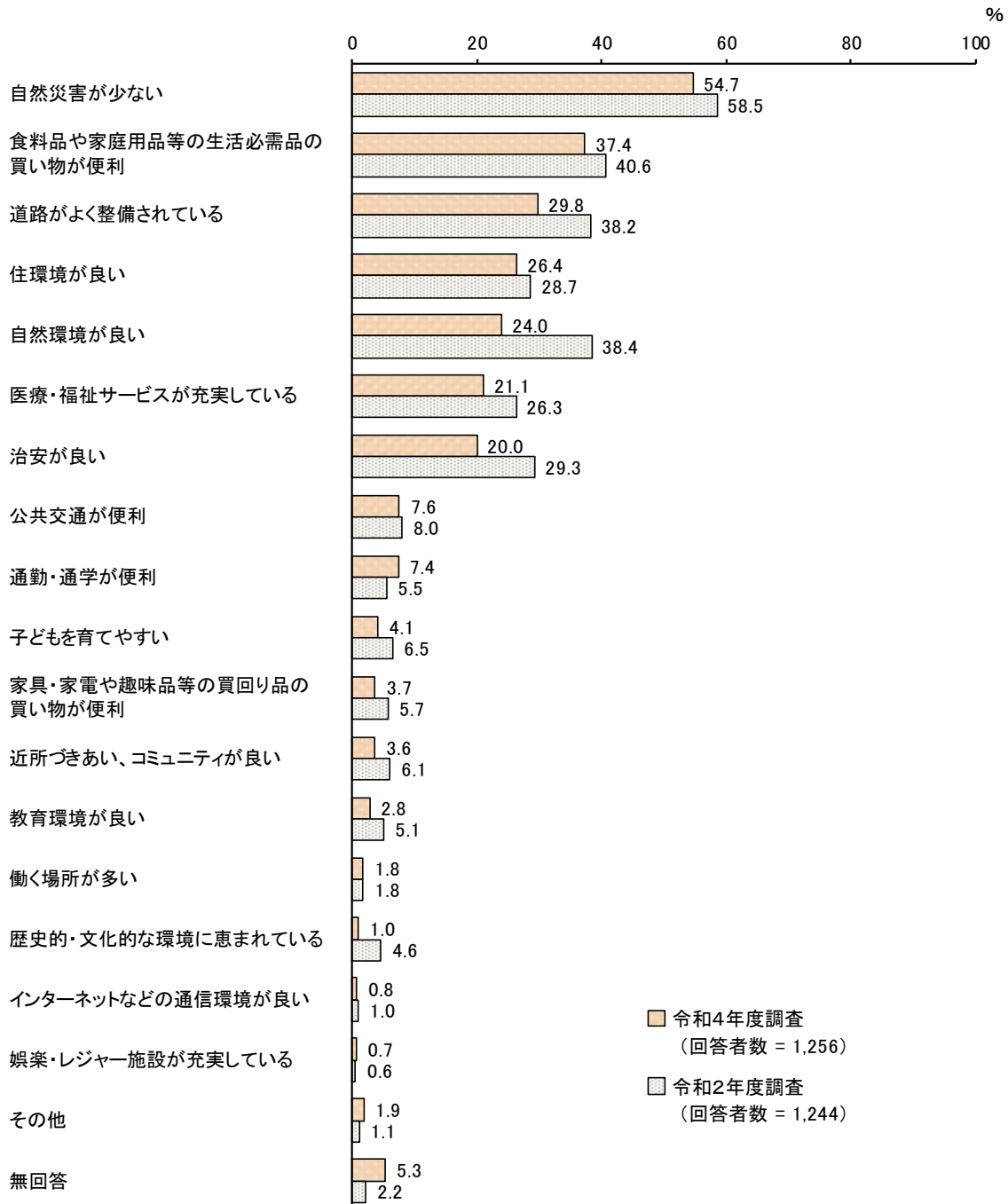
【属性別】

属性別でみると、年齢が上がるにつれ、また、居住年数が長くなるにつれ“住みやすい”の割合が高くなる傾向がみられます。また、居住地区別では北部が“住みやすい”の割合が他の地区に比べて低くなっています。



Q9 Q8で「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた方にお聞きします。
あなたが思う宇部市の住みやすいところを教えてください。(〇は3つまで)

「自然災害が少ない」の割合が54.7%と最も高く、次いで「食料品や家庭用品等の生活必需品の買い物が便利」が37.4%、「道路がよく整備されている」が29.8%と続いています。

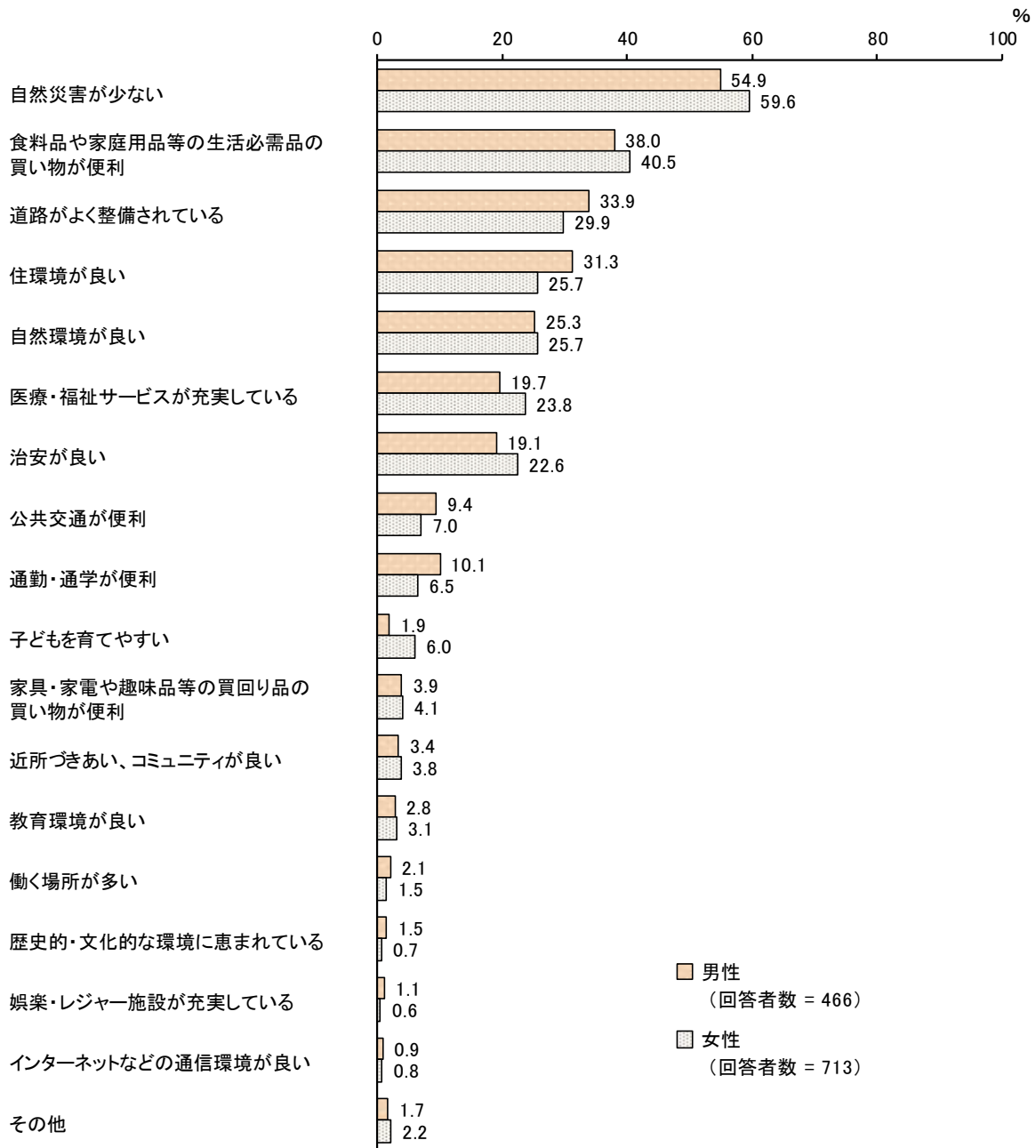


※ 令和2年度調査は、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた方のみではなく、全員を対象とした設問となっています。

※ 前回調査(令和2年度)と比較するため、無回答を含めて集計しています。

【性別】

性別でみると、「自然災害が少ない」「食料品や家庭用品等の生活必需品の買い物が便利」については女性が、「道路がよく整備されている」「住環境が良い」については男性の割合が高くなっています。

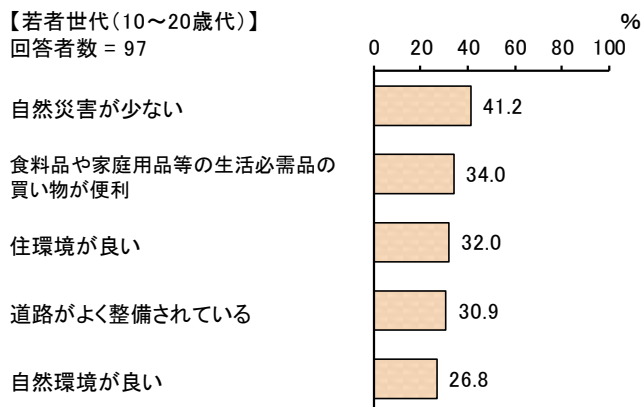


【世代別（上位5位まで）】

世代別でみると、全ての世代で「自然災害が少ない」「食料品や家庭用品等の生活必需品の買い物が便利」「道路がよく整備されている」「住環境が良い」「自然環境が良い」が挙げられています。特に、シニア世代においては「自然災害が少ない」が6割を超えています。

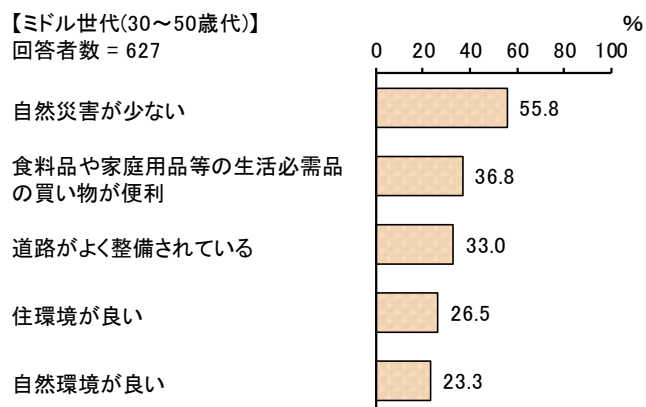
【若者世代(10～20歳代)】

回答者数 = 97



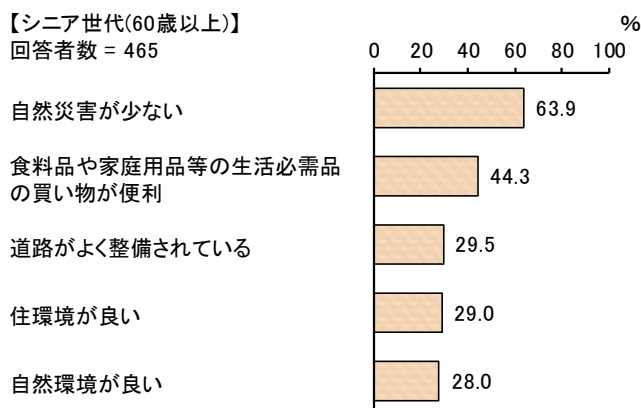
【ミドル世代(30～50歳代)】

回答者数 = 627



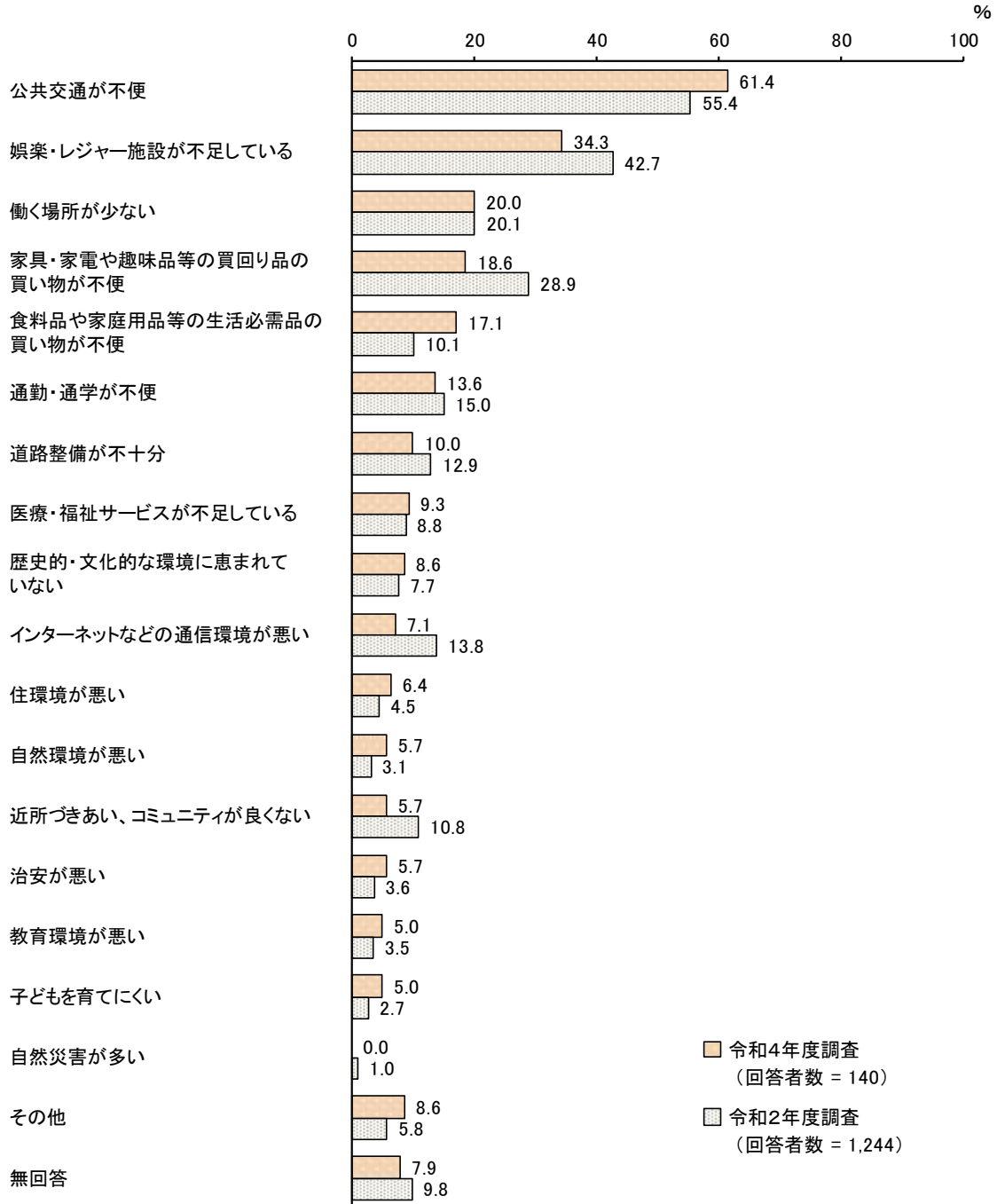
【シニア世代(60歳以上)】

回答者数 = 465



Q10 Q8で「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた方にお聞きします。
あなたが思う宇部市の住みにくいところを教えてください。(〇は3つまで)

「公共交通が不便」の割合が61.4%と最も高く、次いで「娯楽・レジャー施設が不足している」が34.3%、「働く場所が少ない」が20.0%と続いています。

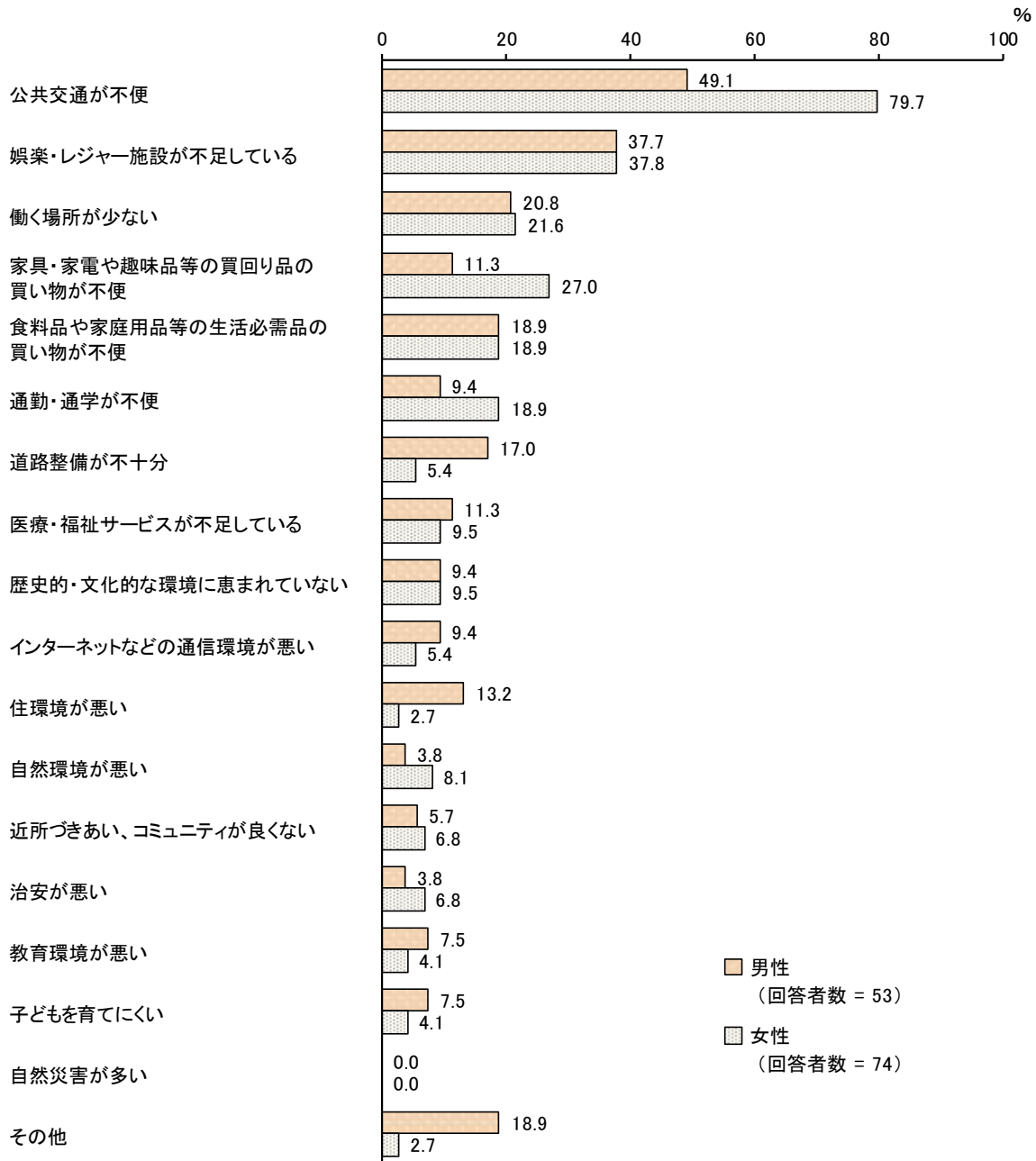


※ 令和2年度調査は、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた方のみではなく、全員を対象とした設問となっています。

※ 前回調査(令和2年度)と比較するため、無回答を含めて集計しています。

【性別】

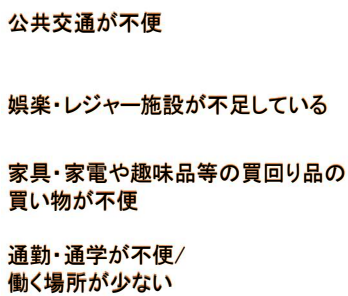
性別でみると、「公共交通が不便」「家具・家電や趣味品等の買回り品の買い物が不便」「通勤・通学が不便」では女性が、「道路整備が不十分」「住環境が悪い」では男性の割合が高くなっています。



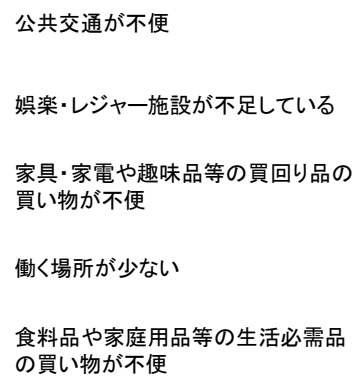
【世代別（上位5位まで）】

世代別でみると、全ての世代で「公共交通が不便」が1位となっているほか、「働く場所が少ない」が5位以内に入っています。また、若者世代・ミドル世代では「娯楽・レジャー施設が不足している」が2位となっており、ミドル世代からシニア世代へと年代が上がるにつれ「食料品や家庭用品等の生活必需品の買い物が不便」の順位が上がっています。

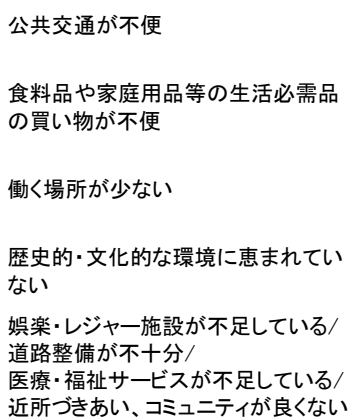
【若者世代(10~20歳代)】
回答者数 = 16



【ミドル世代(30~50歳代)】
回答者数 = 74

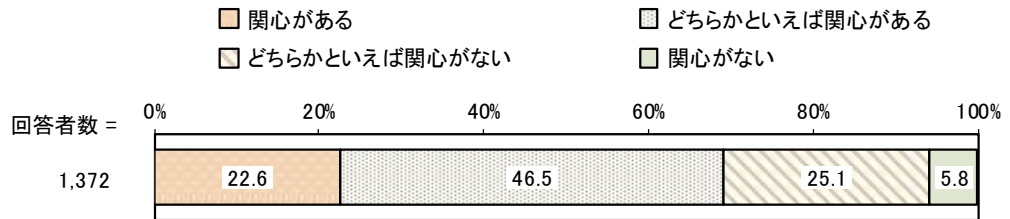


【シニア世代(60歳以上)】
回答者数 = 39



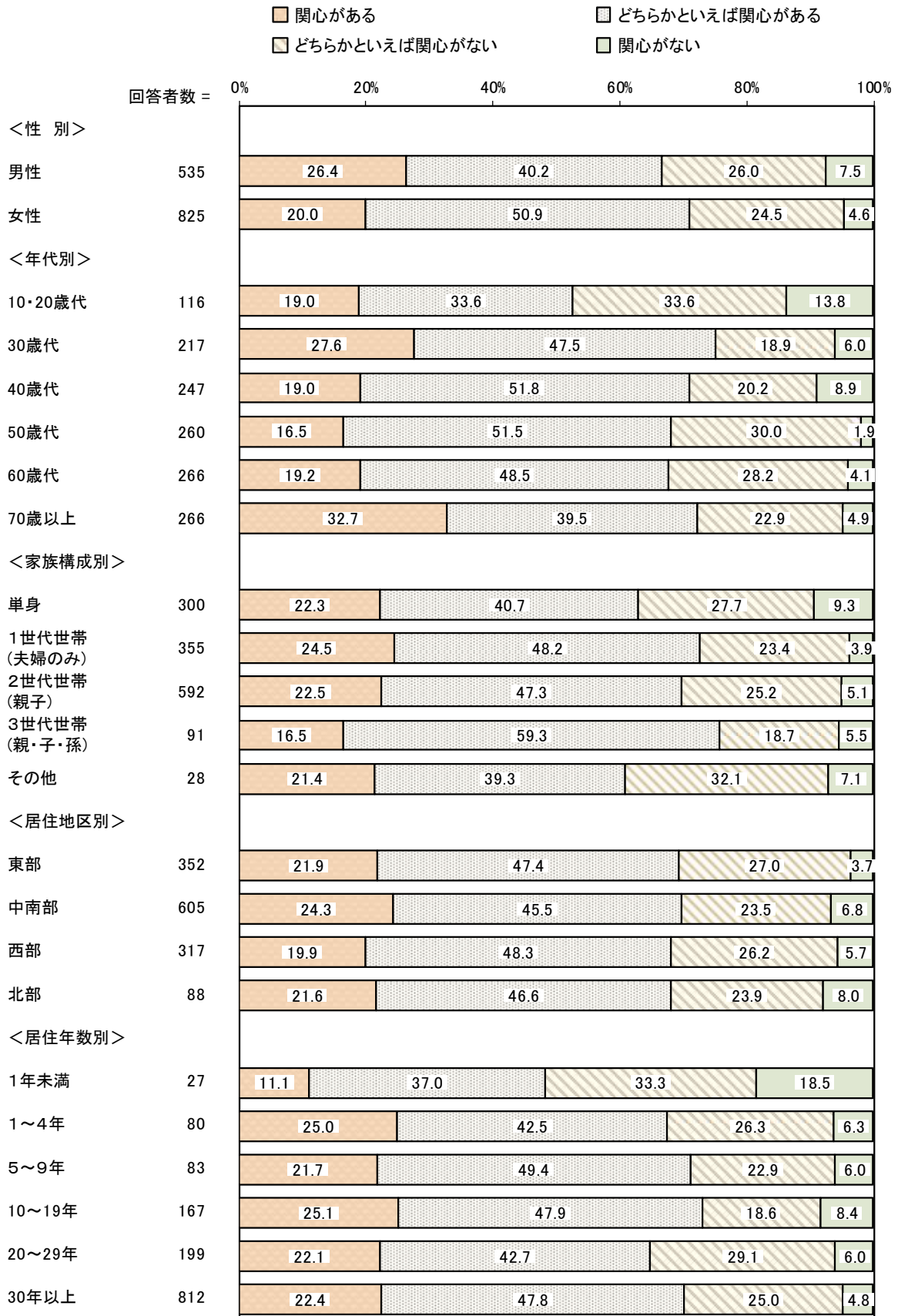
Q11 宇部市の市政（まちづくり）に関心がありますか。（○は1つ）

「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた“関心がある”の割合が 69.1%、
「どちらかといえば関心がない」と「関心がない」を合わせた“関心がない”の割合が 30.9%と
なっています。



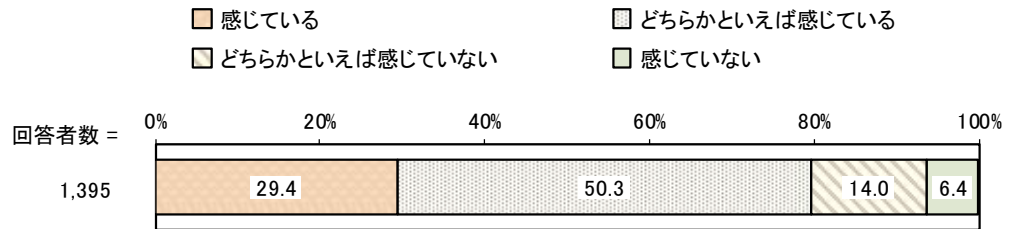
【属性別】

属性別でみると、性別では女性、年代別では30歳代以上で“関心がある”の割合が高くなっています。一方で、10・20歳代や居住年数が1年未満で“関心がある”の割合が低くなっています。



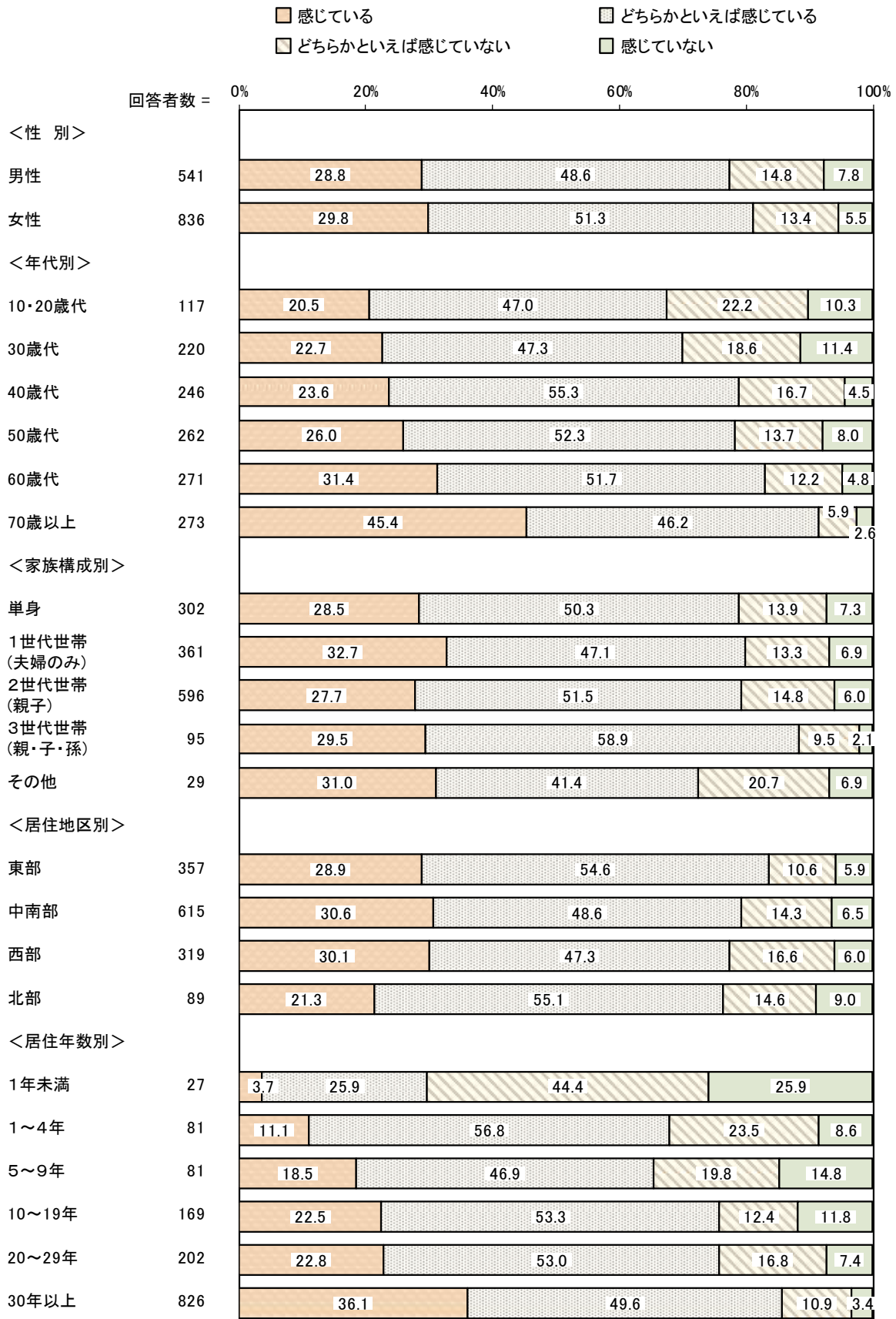
Q12 宇部市に愛着（誇り）を感じていますか。（○は1つ）

「感じている」と「どちらかといえば感じている」を合わせた“感じている”の割合が79.7%、「どちらかといえば感じていない」と「感じていない」を合わせた“感じていない”の割合が20.4%となっています。



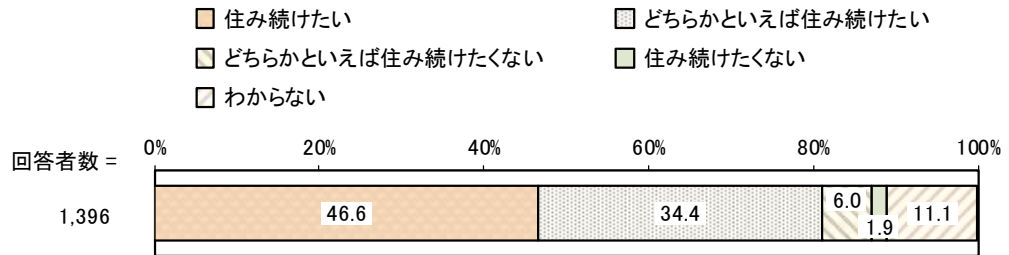
【属性別】

属性別でみると、年代が高くなるにつれ、また、居住年数が長くなるにつれ“感じている”の割合が高くなる傾向がみられます。また、家族構成別では3世代世帯(親・子・孫)において、“感じている”の割合が他の世帯に比べて高くなっています。



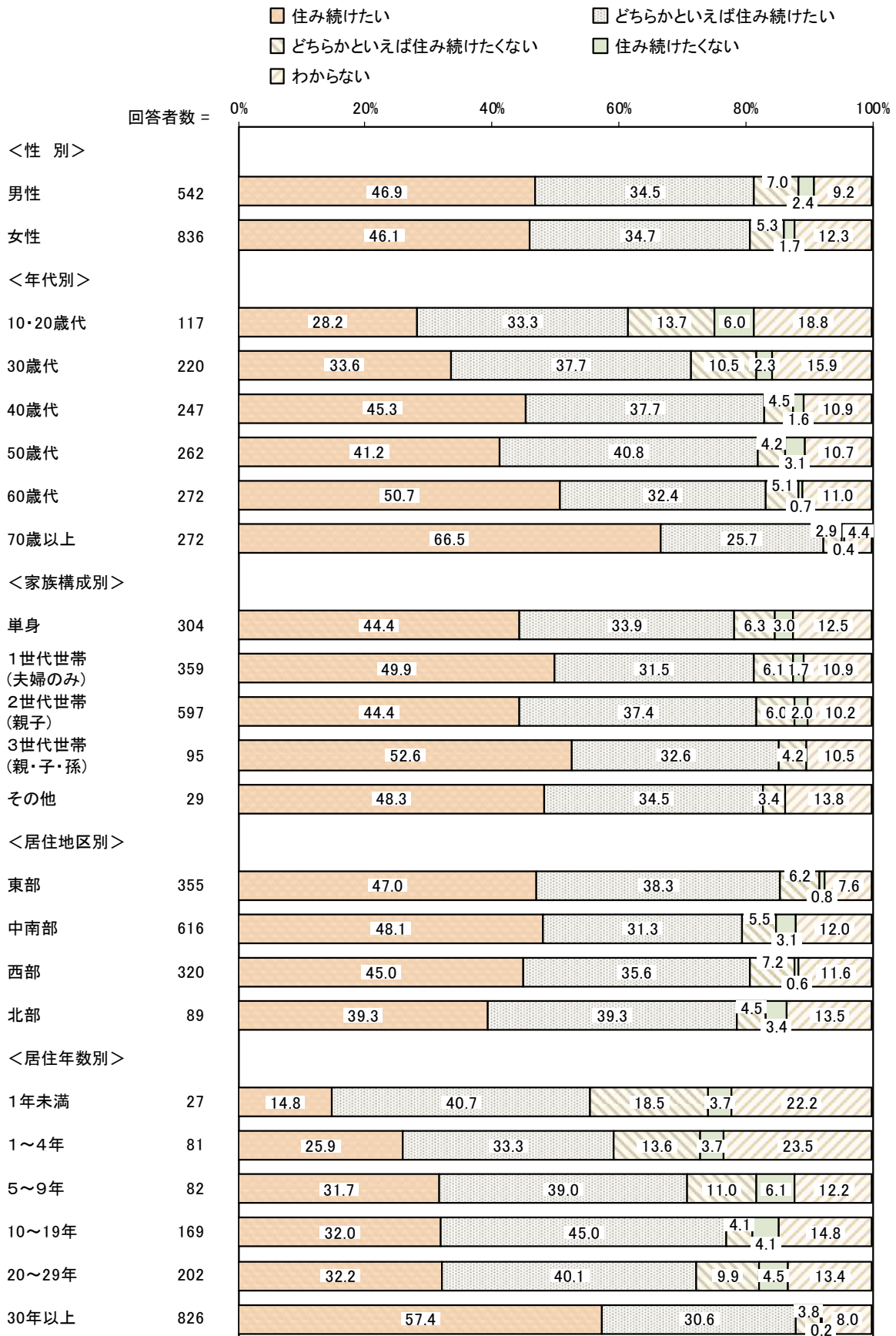
Q13 これからも宇部市に住みたいですか。(○は1つ)

「住みたい」と「どちらかといえば住みたい」を合わせた“住みたい”の割合が81.0%、「どちらかといえば住みたくない」と「住みたくない」を合わせた“住みたくない”の割合が7.9%となっています。



【属性別】

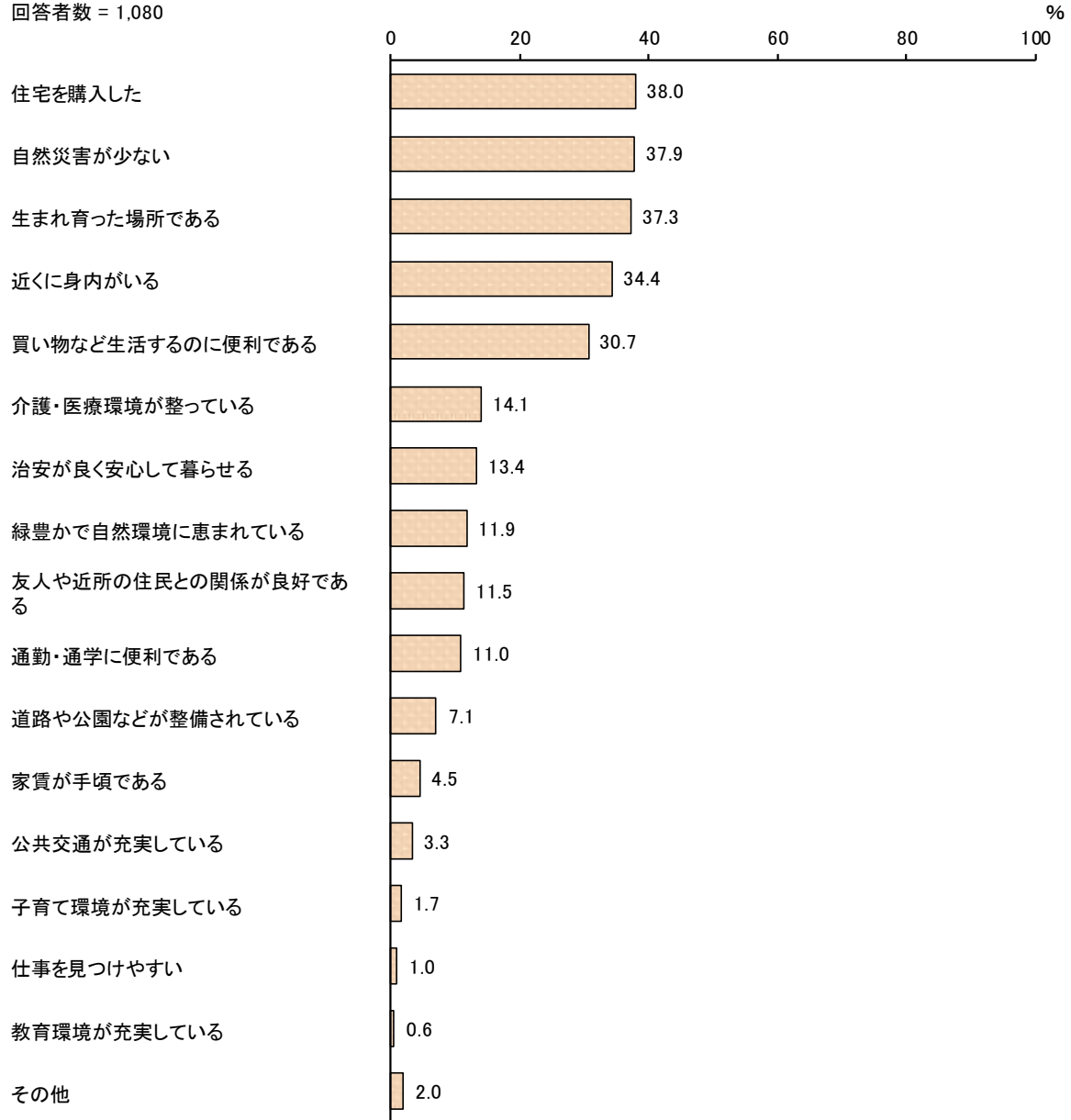
属性別でみると、年代が高くなるにつれ、また、居住年数が長くなるにつれ“住み続けたい”の割合が高くなる傾向がみられます。また、家族構成別では3世代世帯(親・子・孫)、居住地区別では東部地区で“住み続けたい”の割合が他に比べて高くなっています。



Q14 Q13で「住みたい」「どちらかといえば住みたい」と答えた方にお聞きします。
あなたが住みたいと考える理由を教えてください。(〇は3つまで)

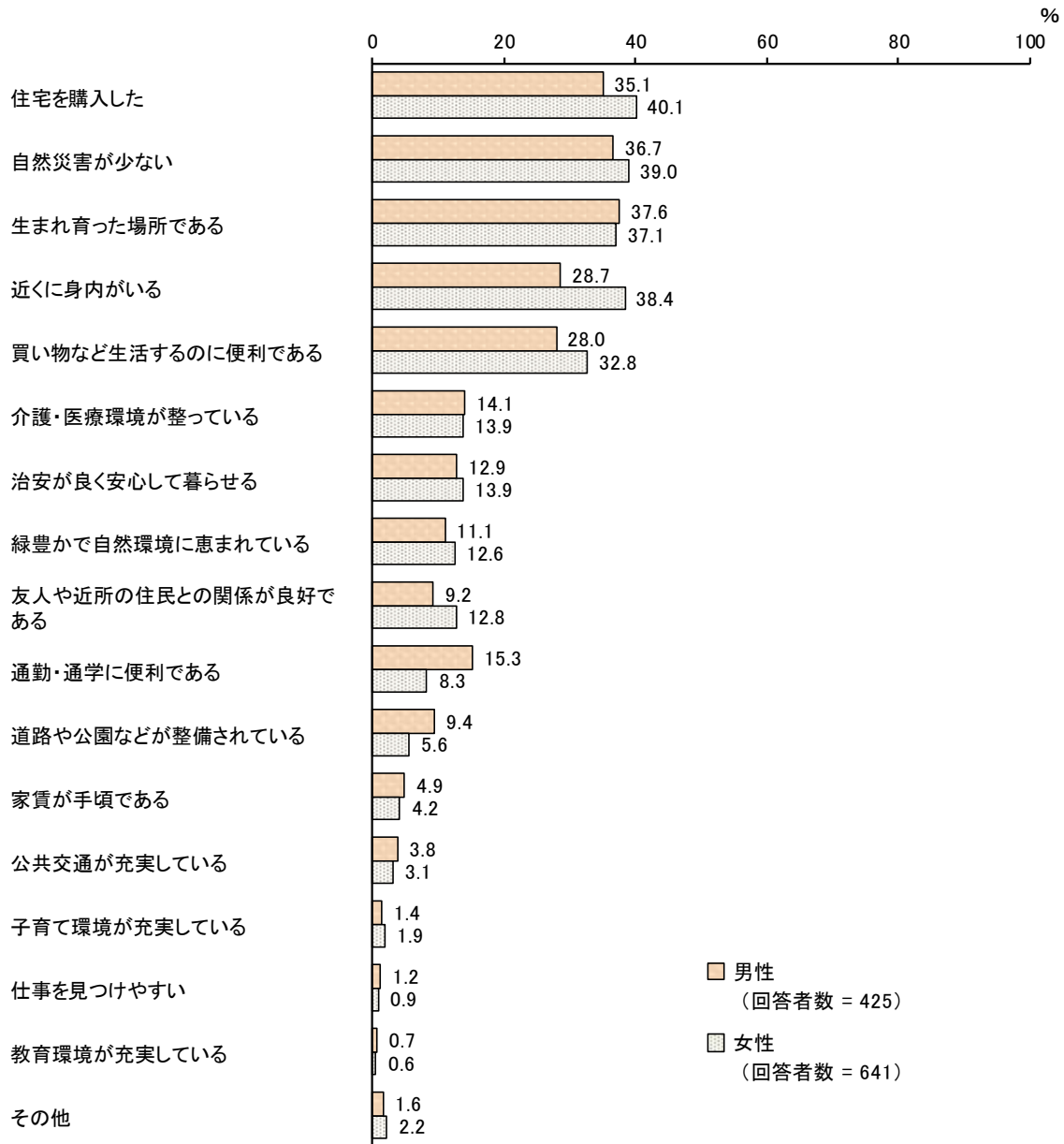
「住宅を購入した」の割合が38.0%と最も高く、次いで「自然災害が少ない」が37.9%、「生まれ育った場所である」が37.3%と続いています。

回答者数 = 1,080



【性別】

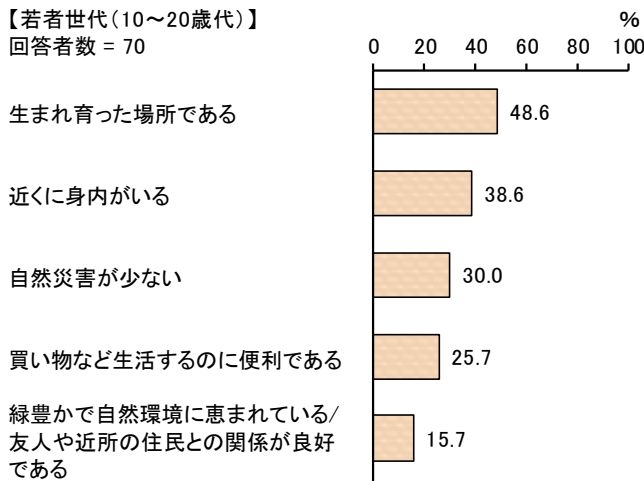
性別でみると、「住宅を購入した」「自然災害が少ない」「近くに身内がいる」では女性が、「通勤・通学に便利である」「道路や公園などが整備されている」では男性の割合が高くなっています。



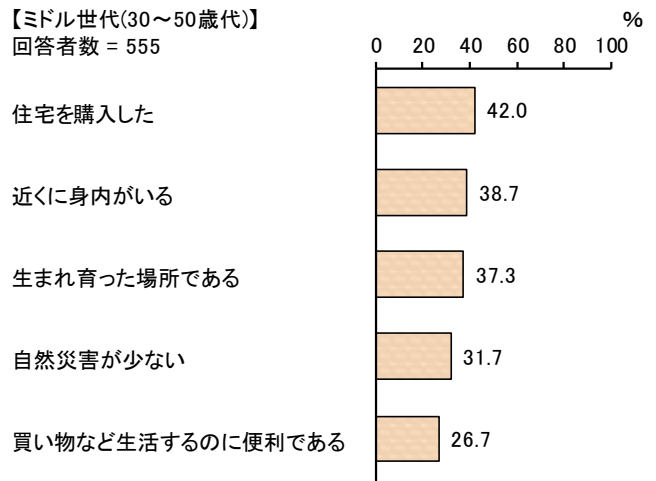
【世代別（上位5位まで）】

世代別でみると、全ての世代で「生まれ育った場所である」「近くに身内がいる」「自然災害が少ない」「買い物など生活するのに便利である」が上位5位に挙げられています。

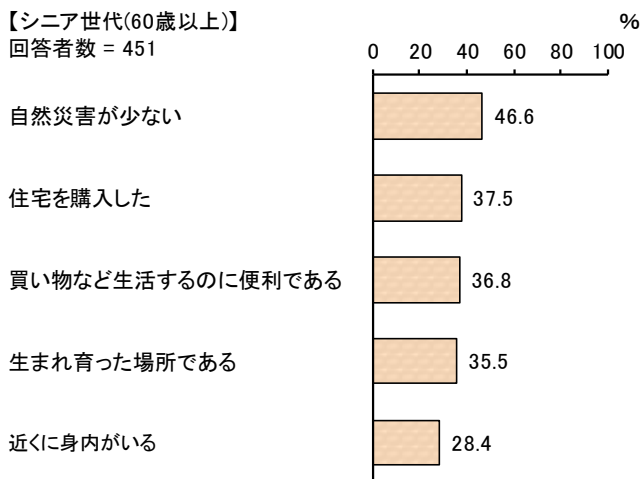
【若者世代(10~20歳代)】
回答者数 = 70



【ミドル世代(30~50歳代)】
回答者数 = 555

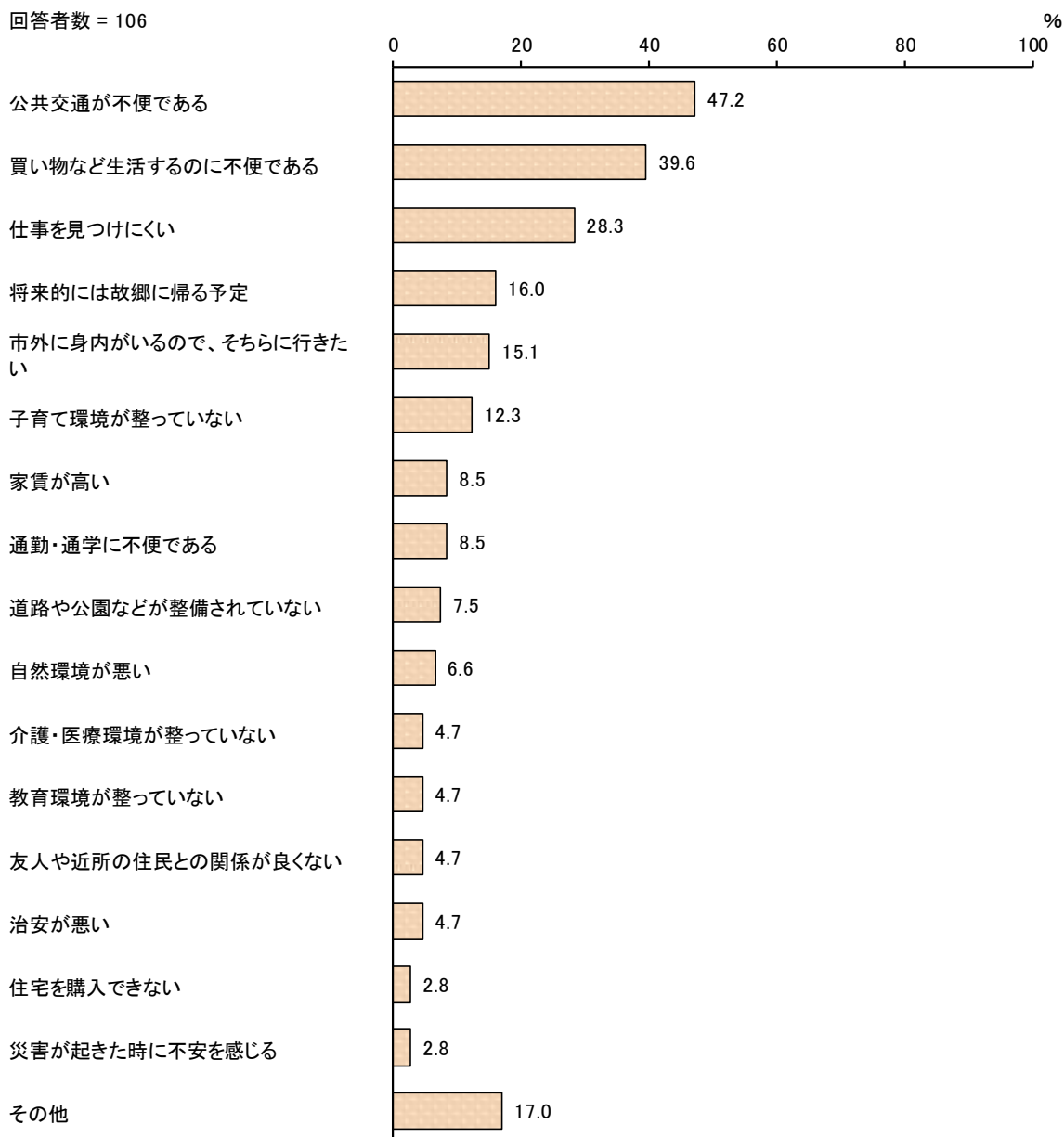


【シニア世代(60歳以上)】
回答者数 = 451



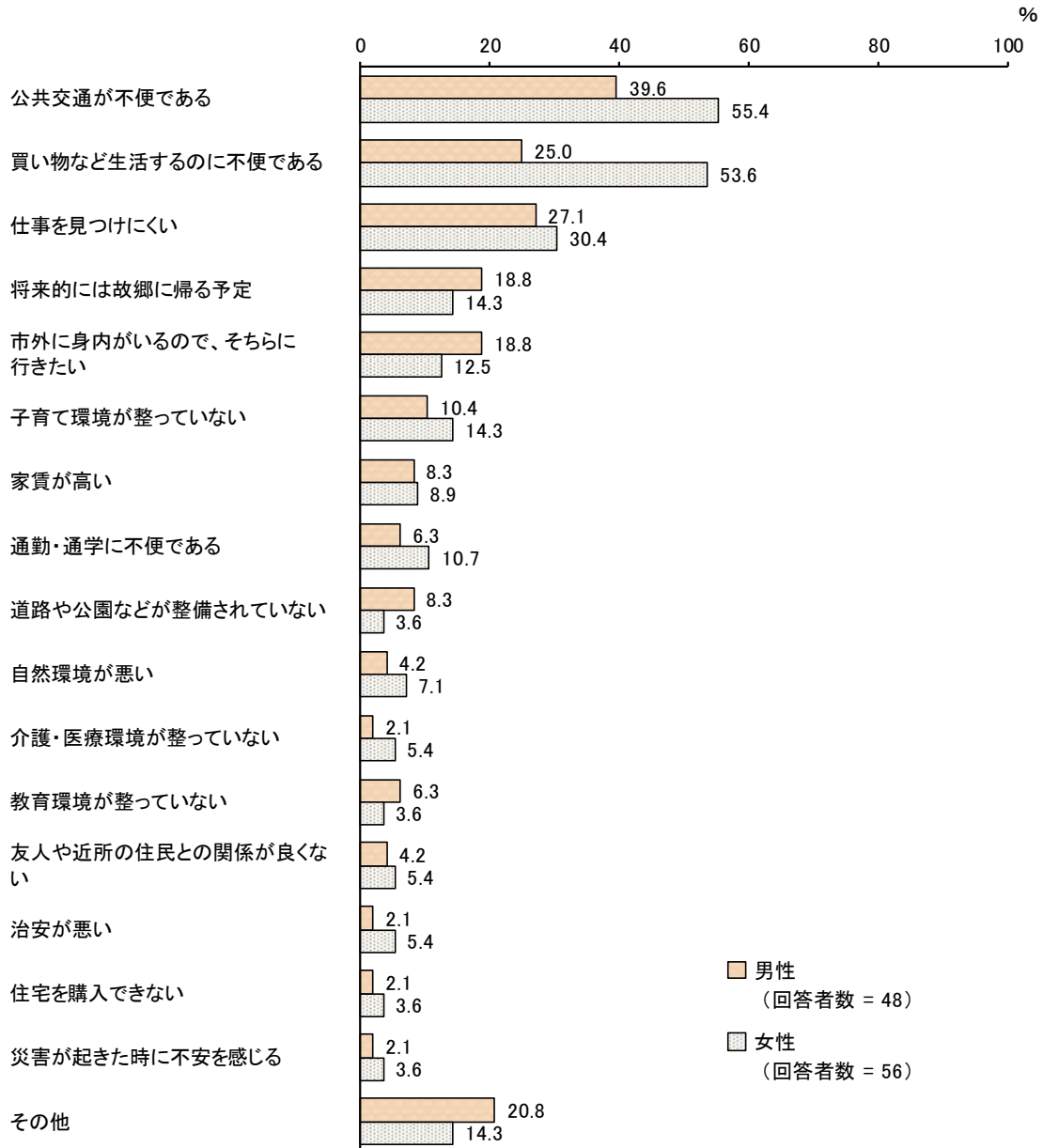
Q15 Q13で「どちらかといえば住み続けたくない」「住み続けたくない」と答えた方にお聞きします。
 あなたが住み続けたくないとする理由を教えてください。(〇は3つまで)

「公共交通が不便である」の割合が47.2%と最も高く、次いで「買い物など生活するのに不便である」が39.6%、「仕事を見つけにくい」が28.3%と続いています。



【性別】

性別でみると、「公共交通が不便である」「買い物など生活するのに不便である」では女性が、「将来的には故郷に帰る予定」「市外に身内がいるので、そちらに行きたい」では男性の割合が高くなっています。



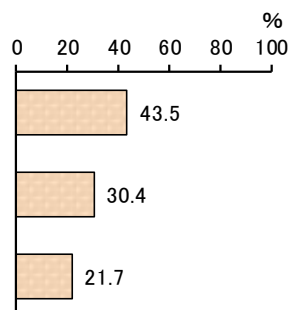
【世代別（上位5位まで）】

世代別でみると、全ての世代で「買い物など生活するのに不便である」「公共交通が不便である」が1位又は2位となっているほか、「仕事を見つけにくい」が上位5位に入っています。また、若者世代・ミドル世代で「将来的には故郷に帰る予定」が挙げられています。

【若者世代(10～20歳代)】

回答者数 = 23

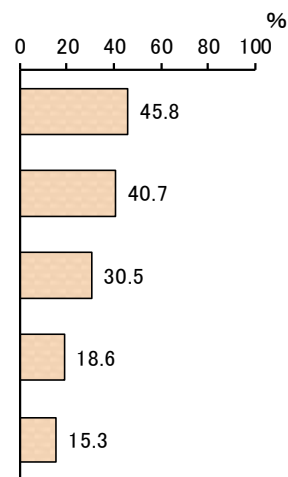
買い物など生活するのに不便である
公共交通が不便である/
仕事を見つけにくい/
将来的には故郷に帰る予定
市外に身内がいるので、そちらに行きたい



【ミドル世代(30～50歳代)】

回答者数 = 59

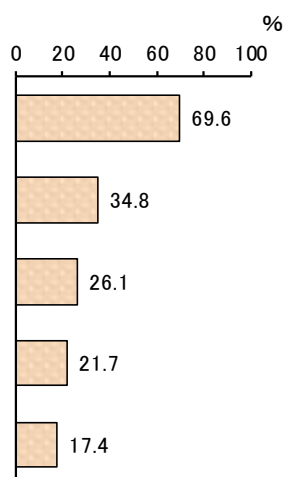
公共交通が不便である
買い物など生活するのに不便である
仕事を見つけにくい
子育て環境が整っていない
将来的には故郷に帰る予定



【シニア世代(60歳以上)】

回答者数 = 23

公共交通が不便である
買い物など生活するのに不便である
市外に身内がいるので、そちらに行きたい
仕事を見つけにくい
家賃が高い

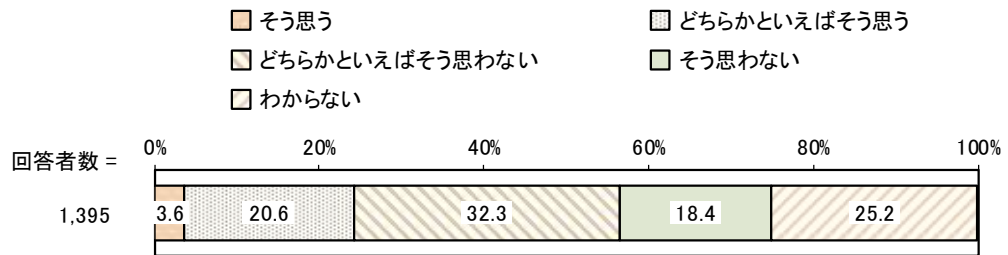


3 宇部市のまちやご自身について思うこと

(1) 産業や雇用環境について

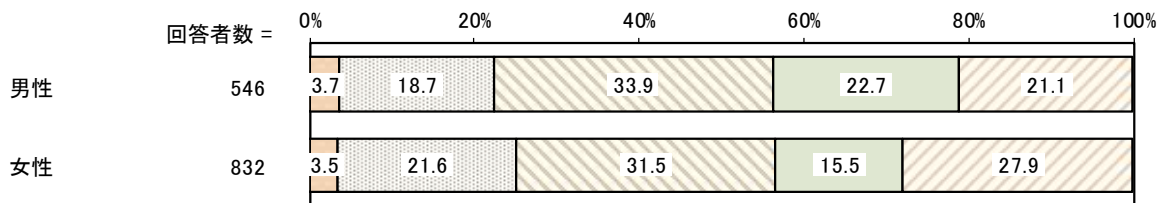
Q16 新しい事業の展開など、市内企業の事業活動が活発に行われていると思いますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が24.2%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が50.7%となっています。



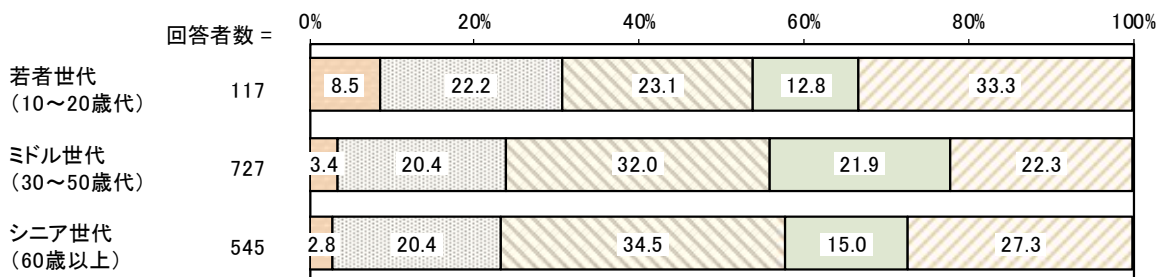
【性別】

性別でみると、男性で“そう思わない”の割合が高くなっています。



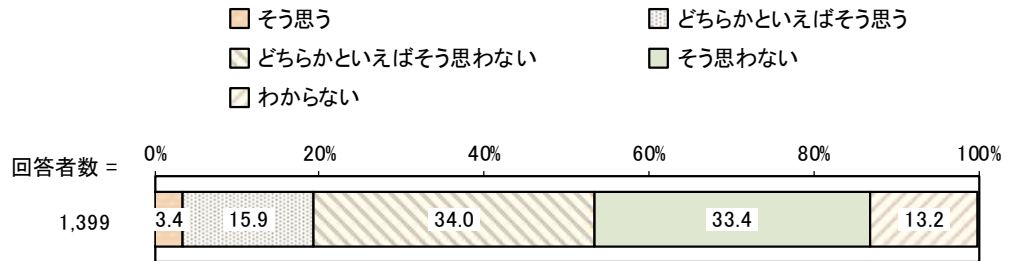
【世代別】

世代別でみると、他の世代に比べて、若者世代で“そう思う”の割合が高くなっています。



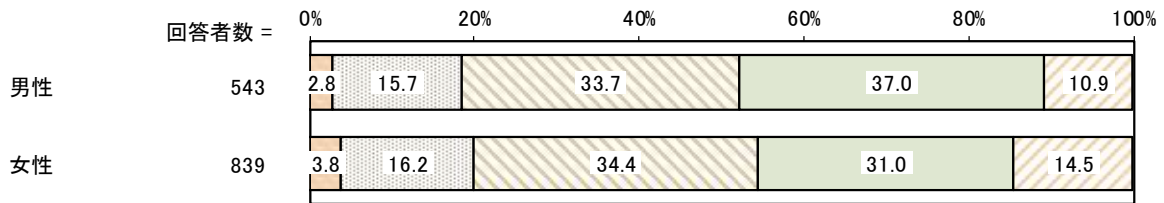
Q17 新たな店舗の開業など、地元商業に活力を感じますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が19.3%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が67.4%となっています。



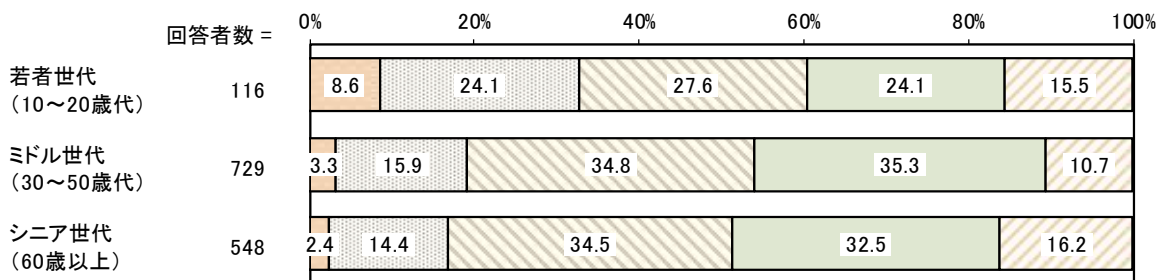
【性別】

性別でみると、男性で“そう思わない”の割合が高くなっています。



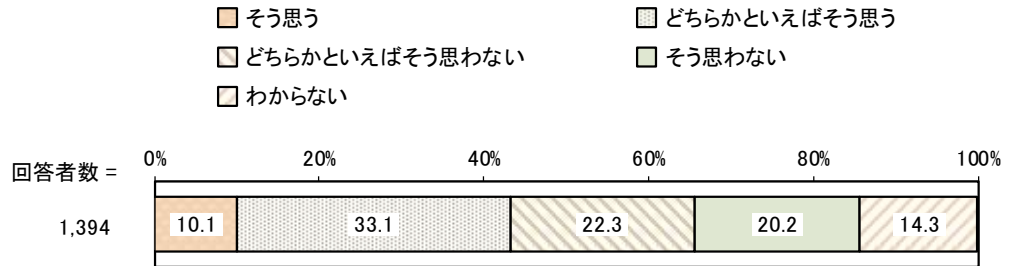
【世代別】

世代別でみると、他の世代に比べて、若者世代で“そう思う”の割合が高くなっています。



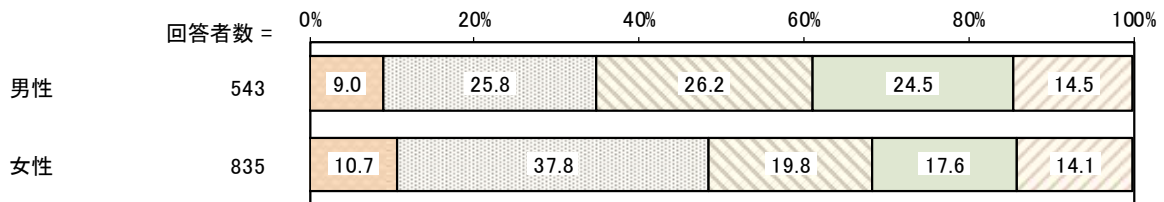
Q18 新鮮で安心な「うべ産農林水産物」を身近に感じていますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が43.2%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が42.5%となっています。



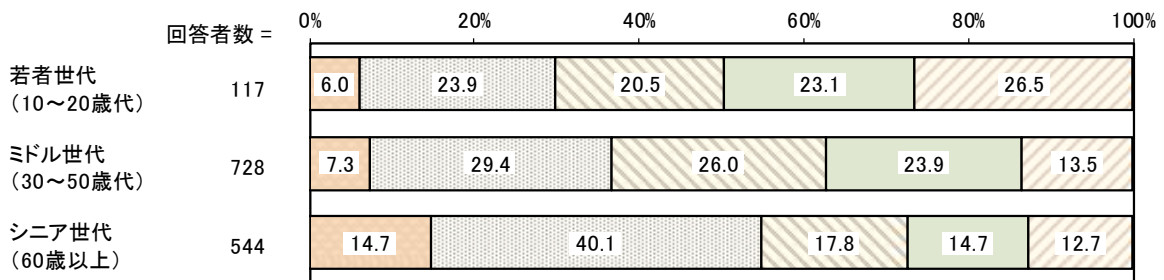
【性別】

性別でみると、女性で“そう思う”の割合が高くなっています。



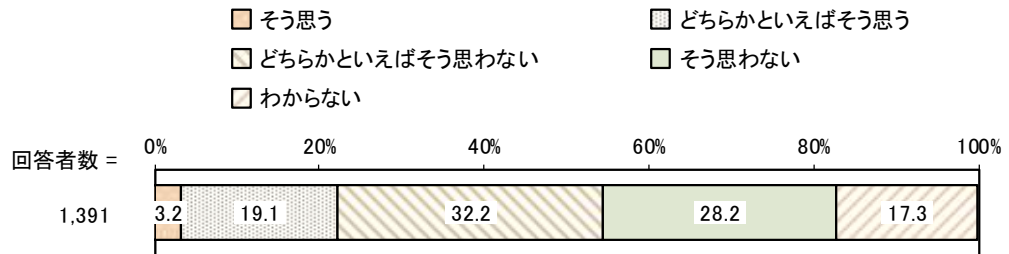
【世代別】

世代別でみると、年齢が上がるにつれ、“そう思う”の割合が高くなる傾向がみられます。



**Q19 (就職する際に、市内には) 希望する仕事(職種)は多いと思いますか。
(○は1つ)**

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が22.3%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が60.4%となっています。



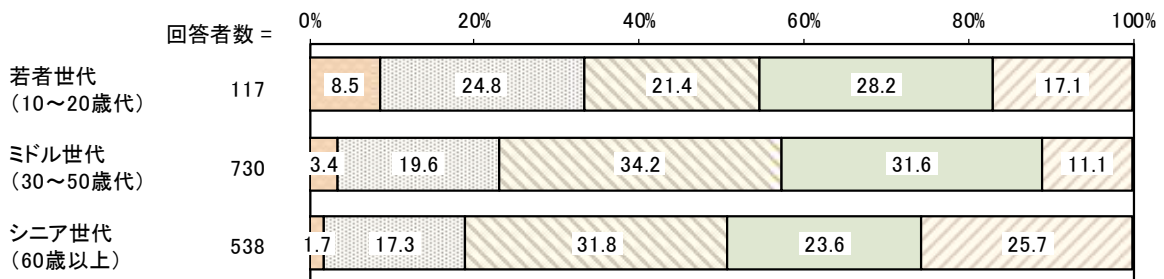
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【世代別】

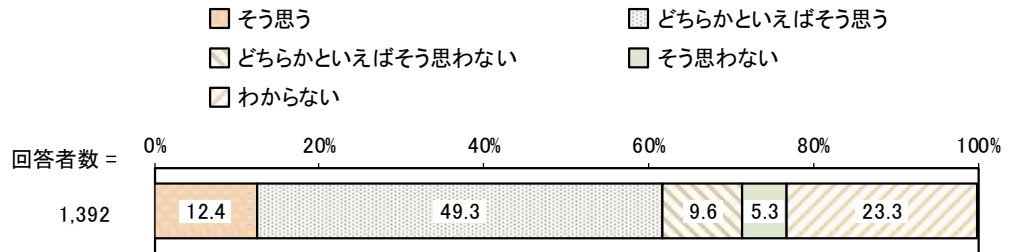
世代別でみると、年齢が若くなるほど、“そう思う”の割合が高くなる傾向がみられます。



(2) 子育て支援や教育環境について

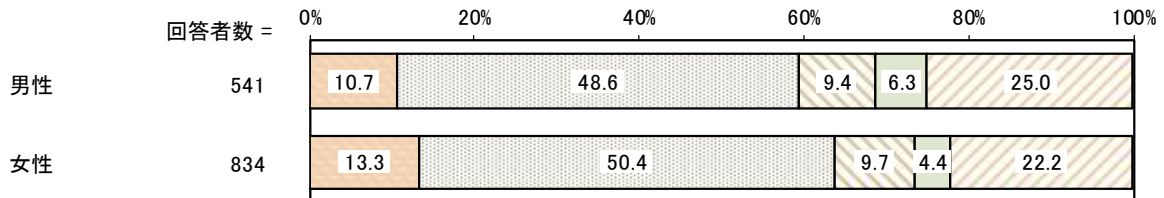
Q20 子育てしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が61.7%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が14.9%となっています。



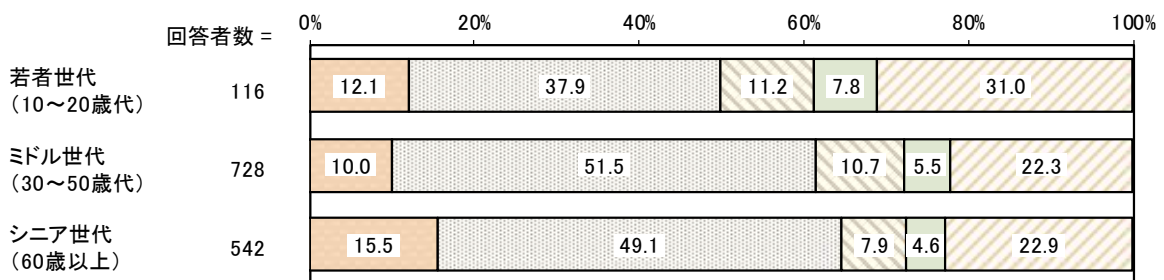
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



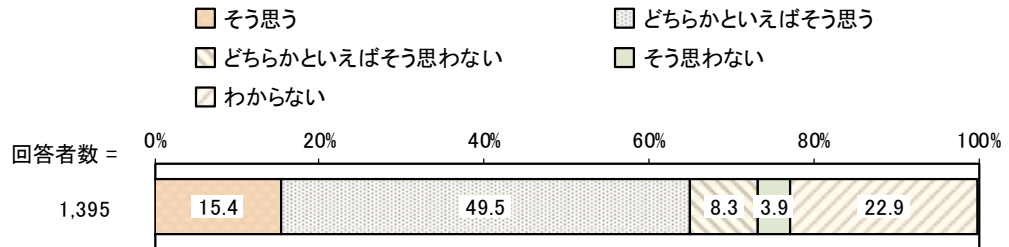
【世代別】

世代別でみると、他の世代に比べて、若者世代で“そう思う”の割合が低くなっています。



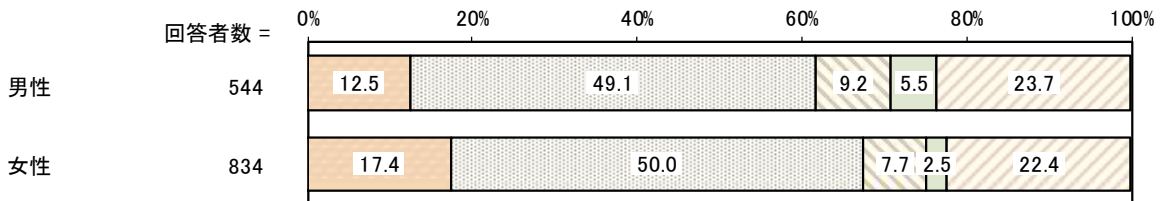
Q21 お住まいの地域では、子どもが健やかにたくましく育っていると思いますか。
(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が64.9%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が12.2%となっています。



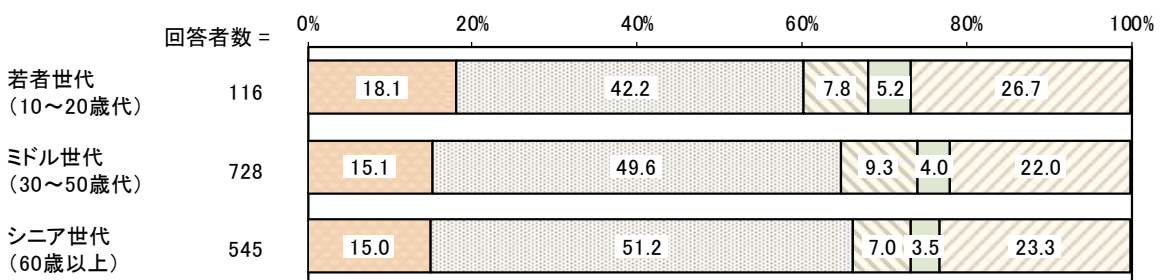
【性別】

性別でみると、女性で“そう思う”の割合が高くなっています。



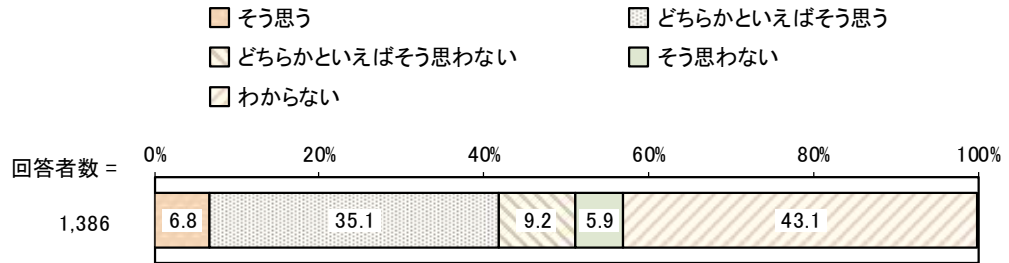
【世代別】

世代別でみると、他の世代に比べて、若者世代で“そう思う”の割合が低くなっています。



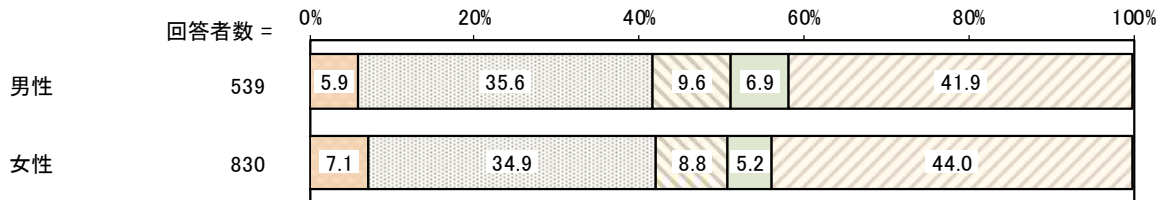
Q22 宇部市の学校教育の取組は充実していると思いますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が41.9%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が15.1%となっています。



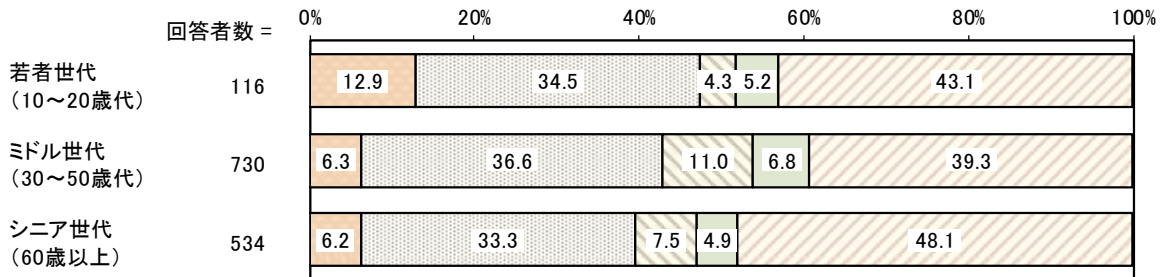
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



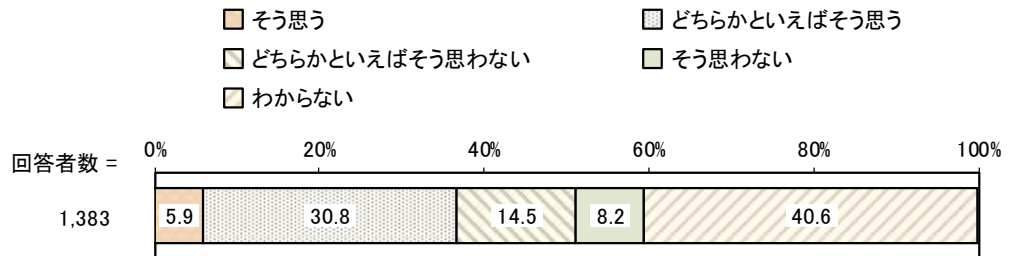
【世代別】

世代別でみると、年齢が若くなるほど、“そう思う”の割合が高くなる傾向がみられます。



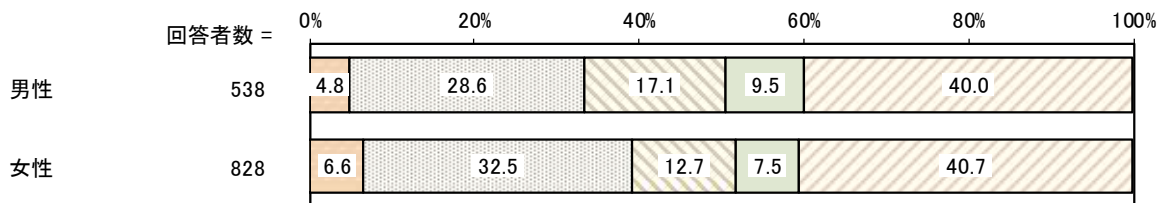
Q23 保護者や地域の方が学校の様々な活動に参画し、地域ぐるみの教育が進んでいると思いますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が36.7%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が22.7%となっています。



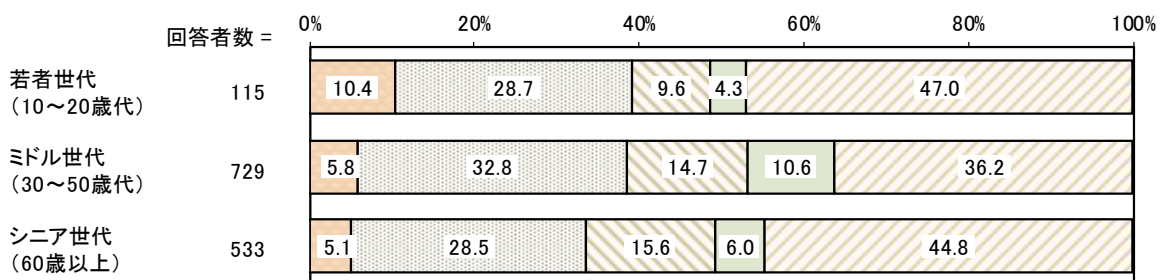
【性別】

性別でみると、女性で“そう思う”の割合が高くなっています。



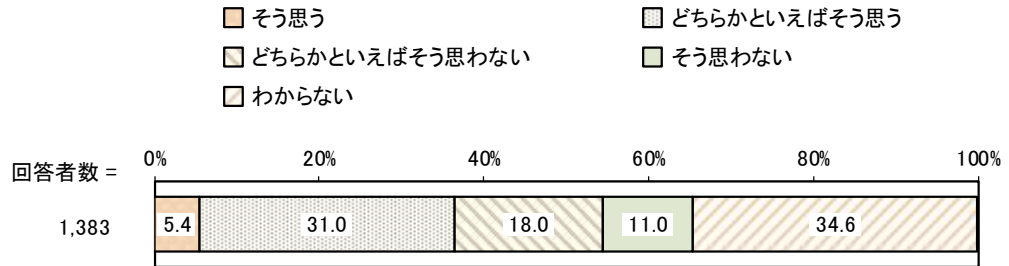
【世代別】

世代別でみると、他の世代に比べ、シニア世代で“そう思う”の割合が低くなっています。



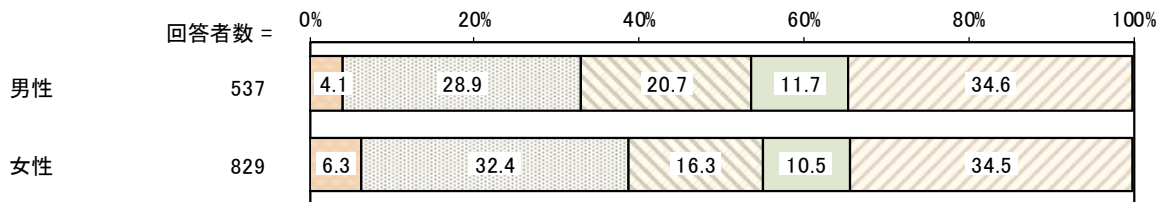
Q24 生涯学習など、学びの機会に恵まれていると思いますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が36.4%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が29.0%となっています。



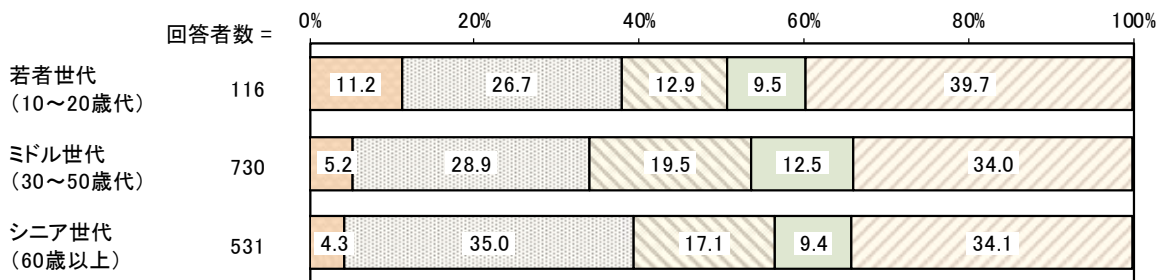
【性別】

性別でみると、女性で“そう思う”の割合が高くなっています。



【世代別】

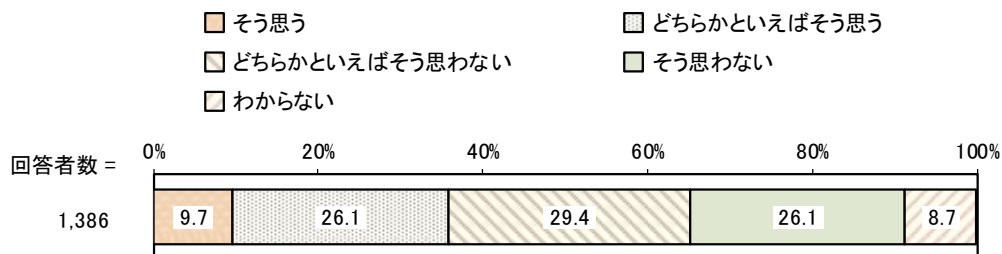
世代別でみると、他の世代に比べ、ミドル世代で“そう思わない”の割合が高くなっています。



(3) 観光やイベント、スポーツ・文化活動について

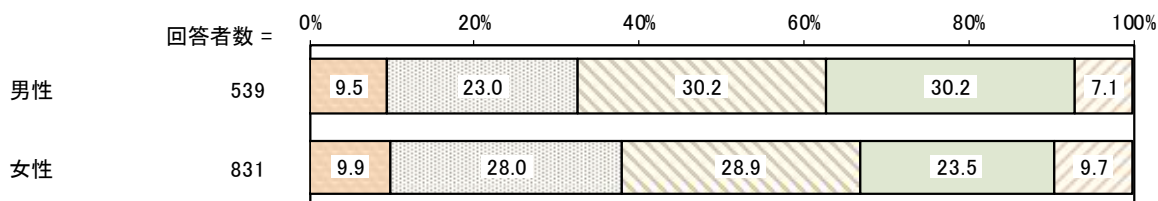
Q25 市外の人に自慢できる観光資源があると思いますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 35.8%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 55.5% となっています。



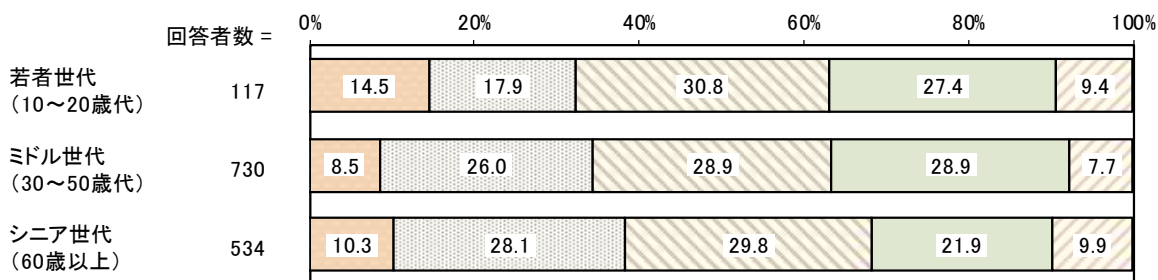
【性別】

性別でみると、女性で“そう思う”の割合が高くなっています。



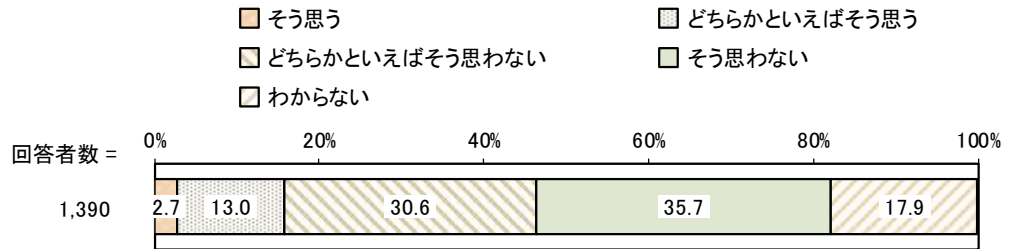
【世代別】

世代別でみると、若者世代・ミドル世代で“そう思わない”の割合が高くなっています。



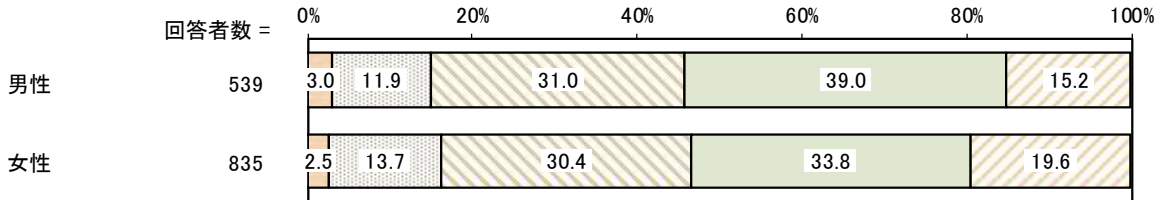
Q26 大規模な会議や学会、イベント等が盛んに開かれ、市内外から多様な人々が集まっていますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が15.7%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が66.3%となっています。



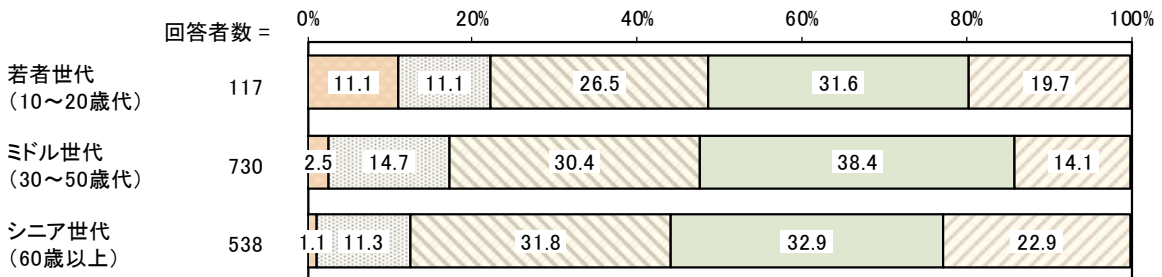
【性別】

性別でみると、男性で“そう思わない”の割合が高くなっています。



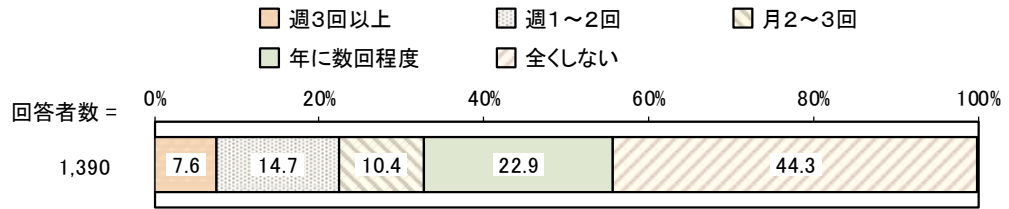
【世代別】

世代別でみると、年齢が若くなるほど、“そう思う”の割合が高くなる傾向がみられます。



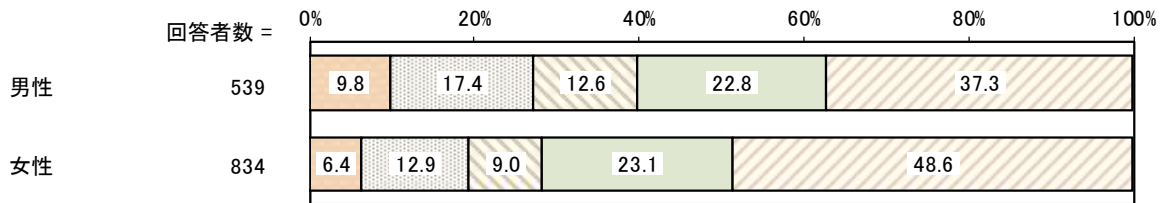
Q27 あなたは、どのくらいの頻度でスポーツ・レクリエーション活動を行っていますか。(〇は1つ)

「全くしない」人の割合が44.3%と最も多く、次に「年に数回程度」が22.9%、「週に1~2回」が14.3%となっています。



【性別】

性別でみると、女性で「全くしない」の割合が高くなっています。



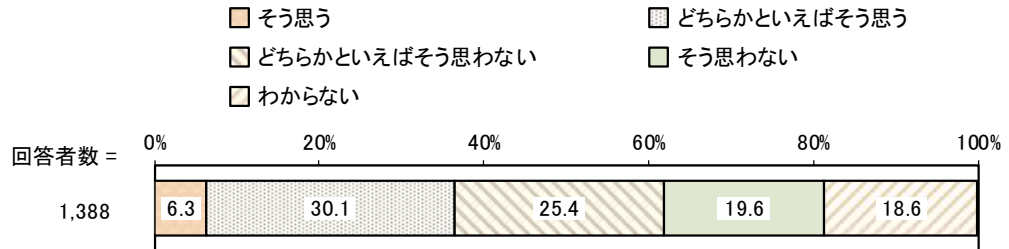
【世代別】

世代別でみると、ミドル世代が他の世代に比べて、スポーツ・レクリエーション活動の頻度が少ない傾向となっています。



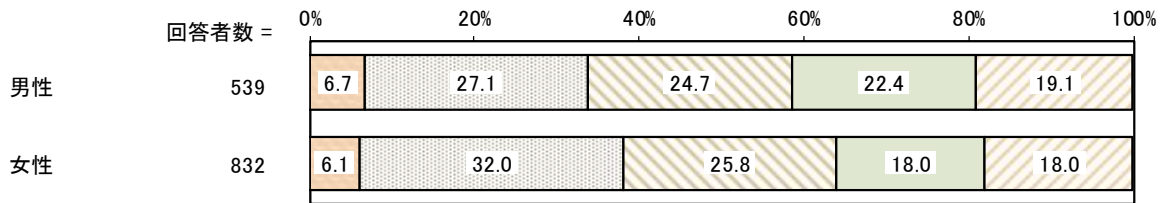
Q28 文化・芸術に触れる機会に恵まれていると思いますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が36.4%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が45.0%となっています。



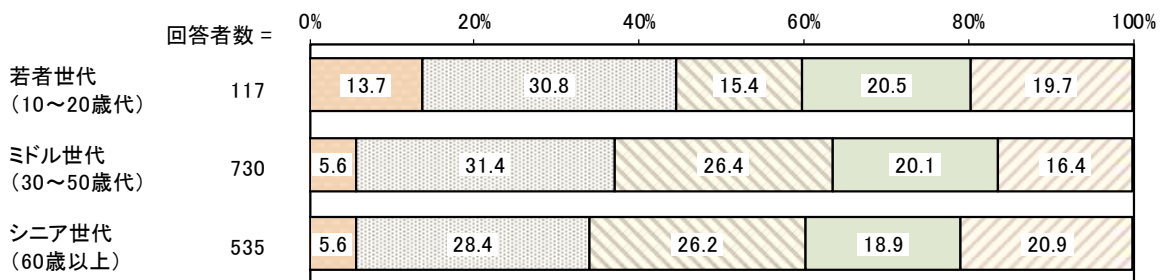
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



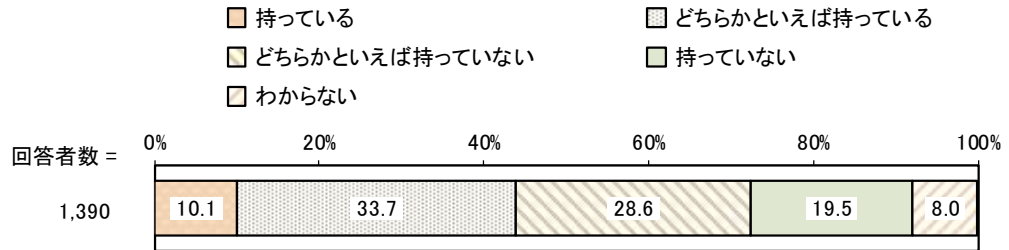
【世代別】

世代別でみると、年齢が若くなるほど、“そう思う”の割合が高くなる傾向がみられます。



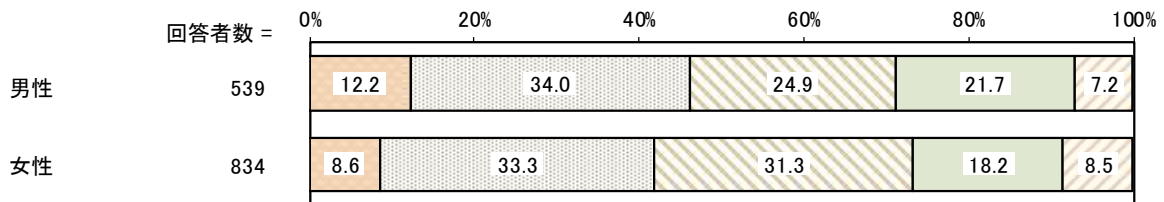
Q29 宇部市の歴史や文化に関心を持っていますか。(〇は1つ)

「持っている」と「どちらかといえば持っている」を合わせた“持っている”の割合が43.8%、「どちらかといえば持っていない」と「持っていない」を合わせた“持っていない”の割合が48.1%となっています。



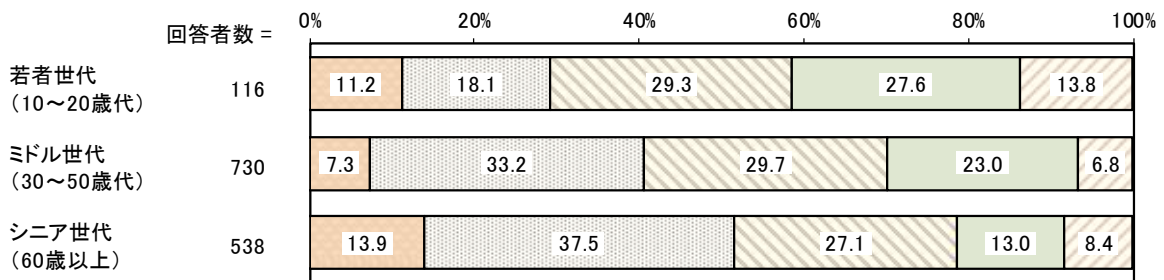
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【世代別】

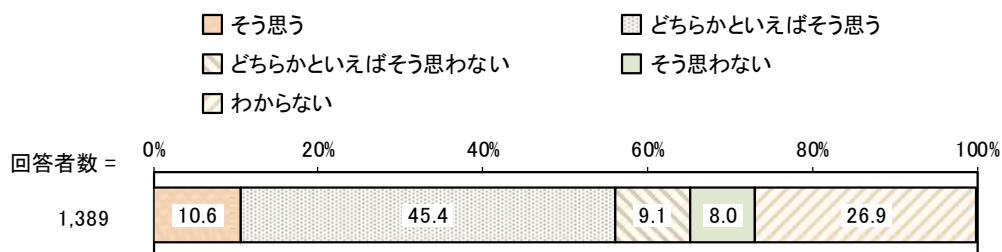
世代別でみると、年齢が上がるにつれ、“持っている”の割合が高くなる傾向がみられます。



(4) 人権尊重や健康・福祉・医療について

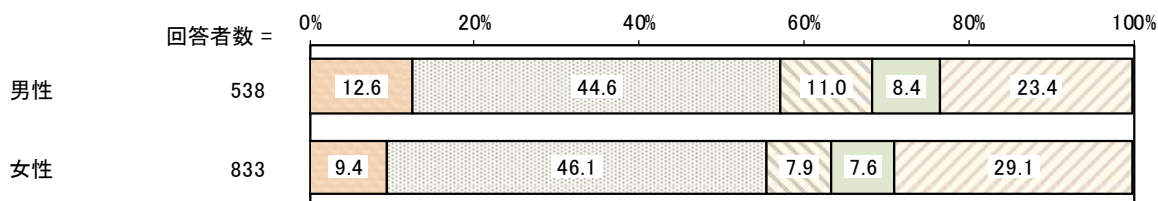
Q30 一人ひとりの人権が尊重されていると思いますか。(○は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が56.0%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が17.1%となっています。



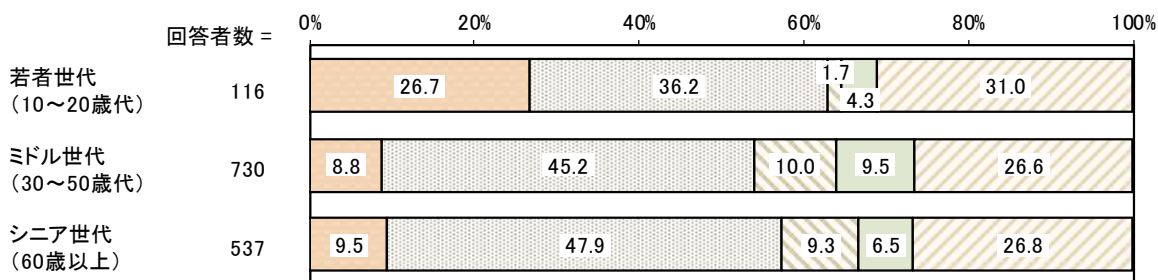
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



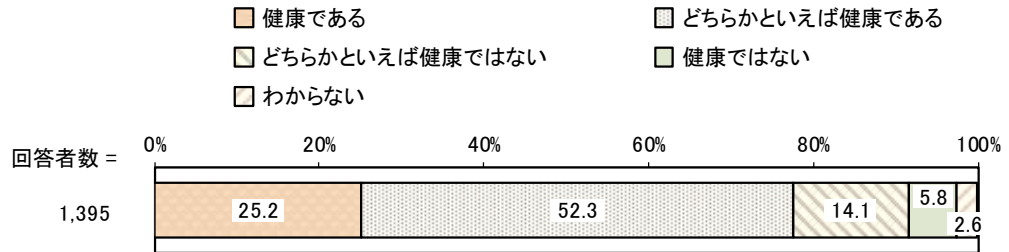
【世代別】

世代別でみると、他の世代に比べ、若者世代で“そう思う”の割合が高くなっています。



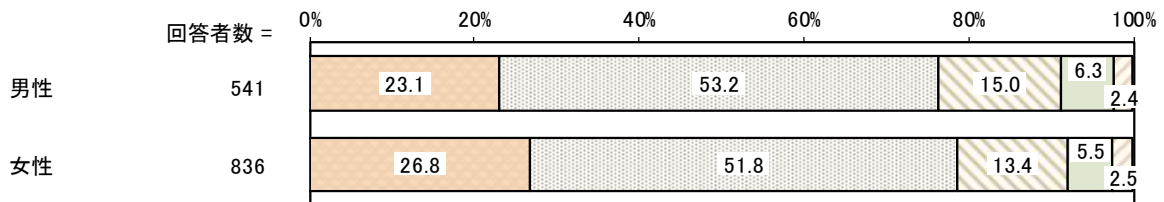
Q31 あなた自身の健康についてどう感じていますか。(〇は1つ)

「健康である」と「どちらかといえば健康である」を合わせた“健康である”の割合が77.5%、「どちらかといえば健康ではない」と「健康ではない」を合わせた“健康ではない”の割合が19.9%となっています。



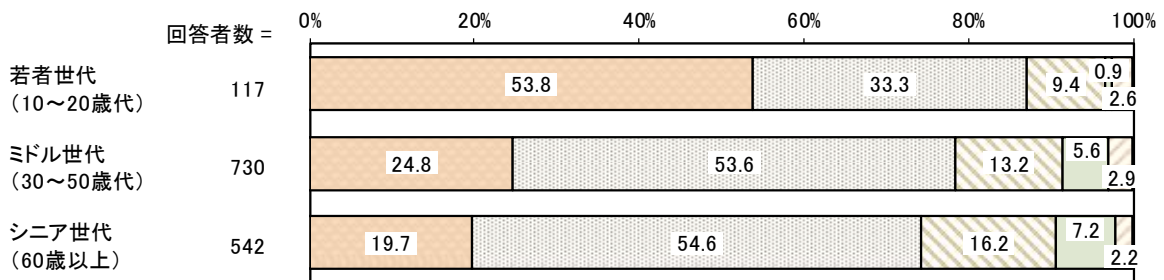
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



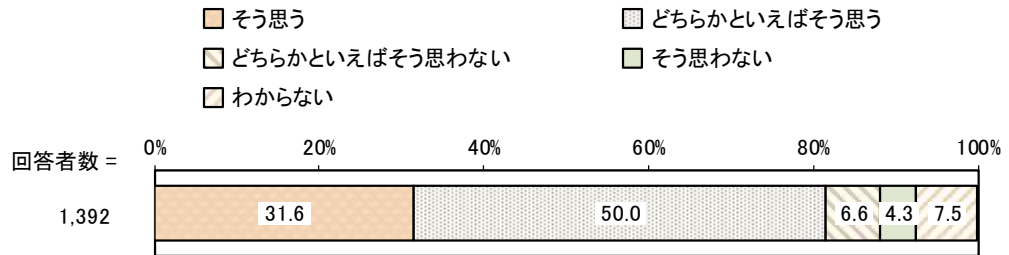
【世代別】

世代別でみると、年齢が若くなるほど、“そう思う”の割合が高くなる傾向がみられます。



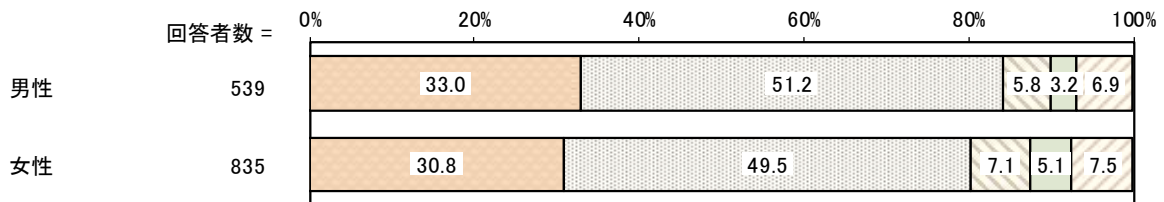
Q32 医療体制が充実していると思いますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が81.6%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が10.9%となっています。



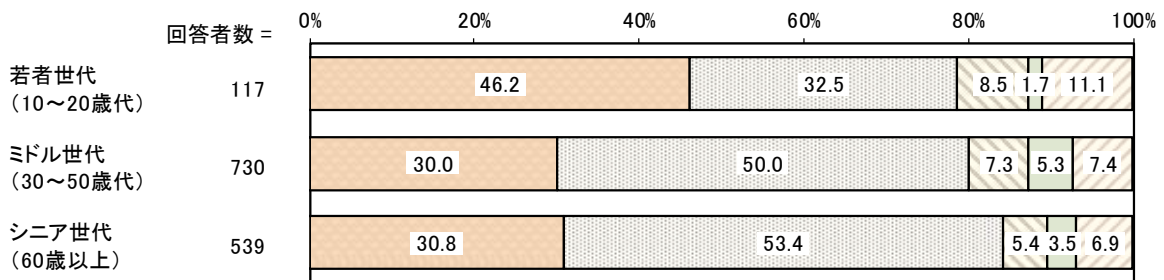
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



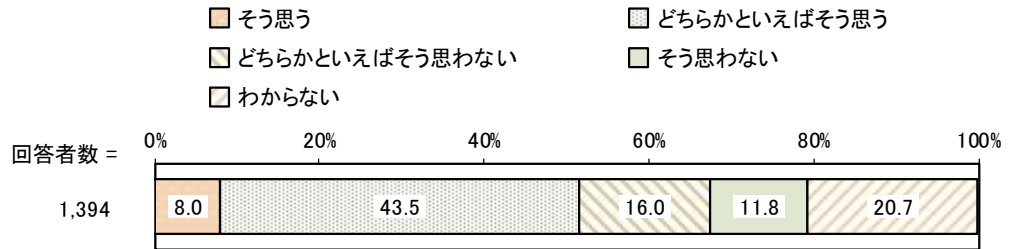
【世代別】

世代別でみると、年齢が上がるほど、“そう思う”の割合が高くなる傾向がみられます。



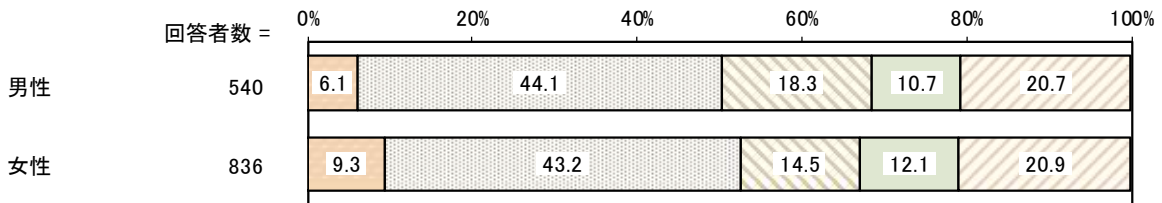
Q33 お住まいの地域では、支えあいの仕組みや自分らしく暮らせる環境が整っていると思いますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が51.5%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が27.8%となっています。



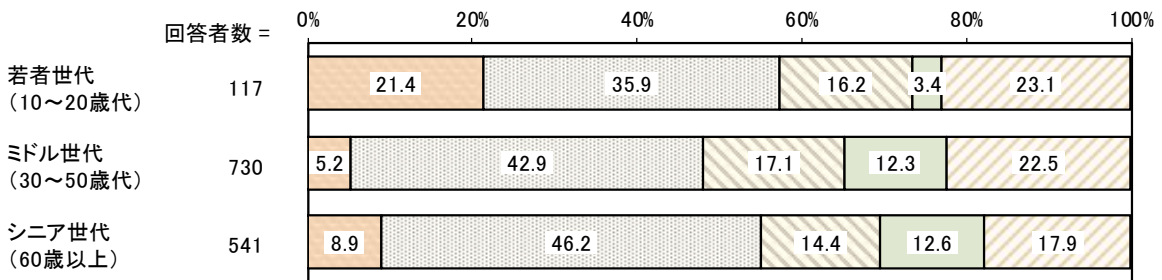
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



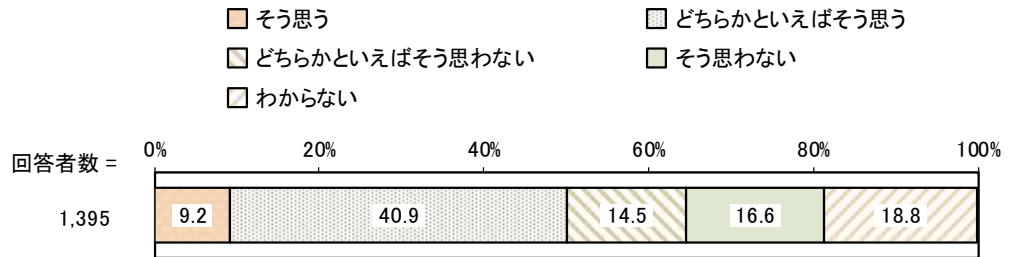
【世代別】

世代別でみると、ミドル世代に比べ、若者世代・シニア世代で“そう思う”の割合が高くなっています。



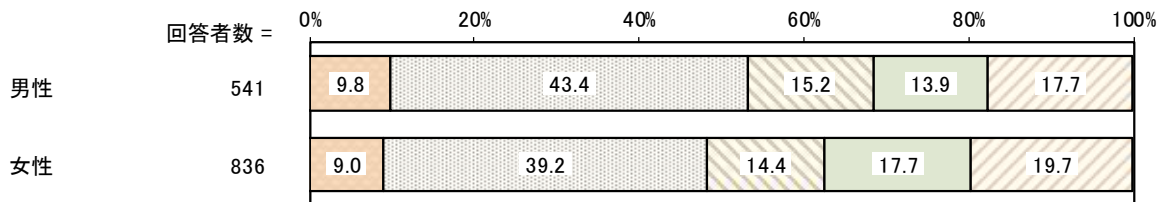
Q34 高齢になっても安心して暮らせることができますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が50.1%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が31.1%となっています。



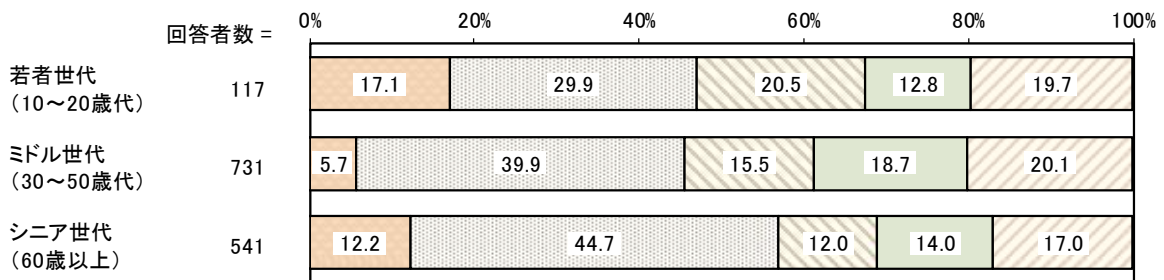
【性別】

性別でみると、男性で“そう思う”の割合が高くなっています。



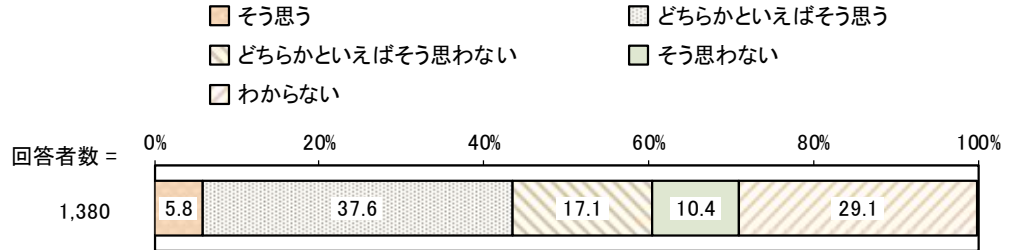
【世代別】

世代別でみると、他の世代に比べ、シニア世代で“そう思う”の割合が高くなっています。



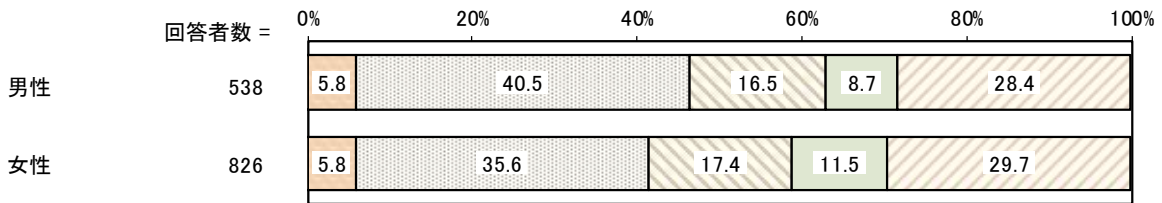
Q35 障害のある人や障害について、人々の理解があると思いますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が43.4%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が27.5%となっています。



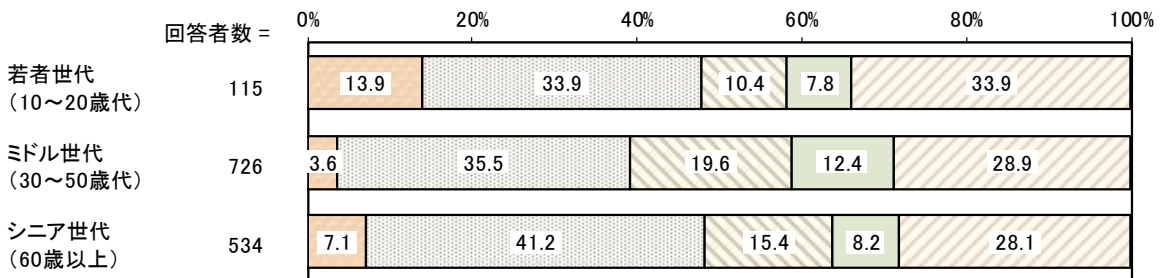
【性別】

性別でみると、男性で“そう思う”の割合が高くなっています。



【世代別】

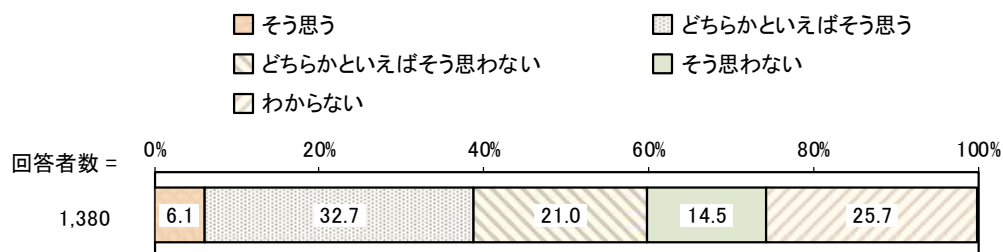
世代別でみると、他の世代に比べ、ミドル世代で“そう思わない”の割合が高くなっています。



(5) コミュニティや環境保全、安心安全、都市基盤などについて

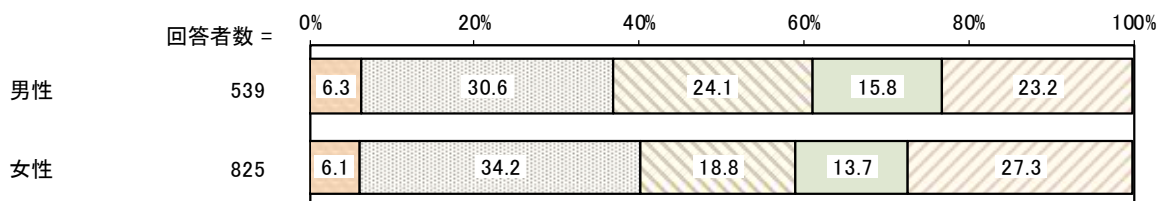
Q36 お住まいの地域では、地域コミュニティが活発だと思いますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が38.8%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が35.5%となっています。



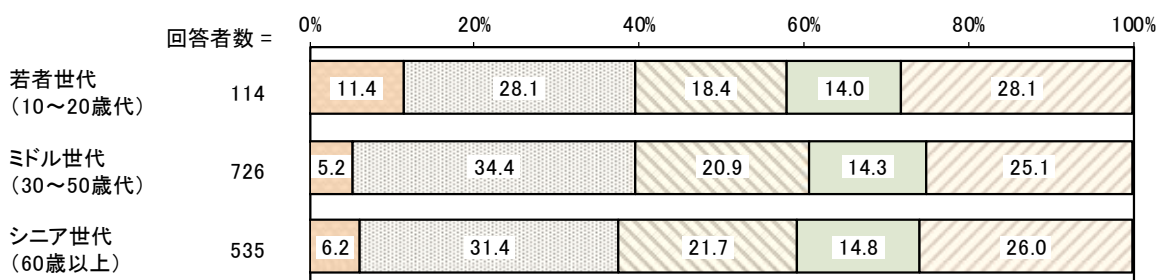
【性別】

性別でみると、男性で“そう思わない”の割合が高くなっています。



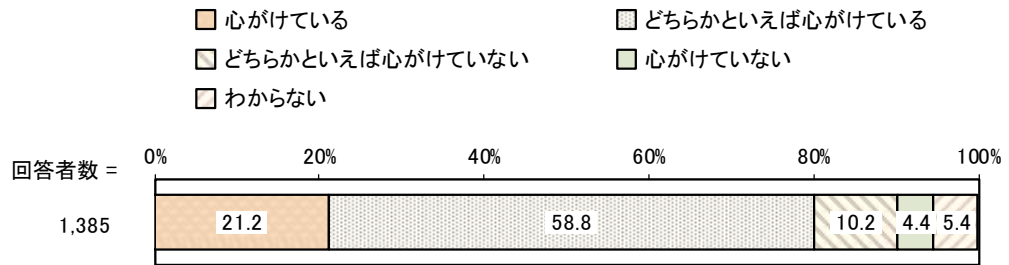
【世代別】

世代別でみると、大きな差異はみられません。



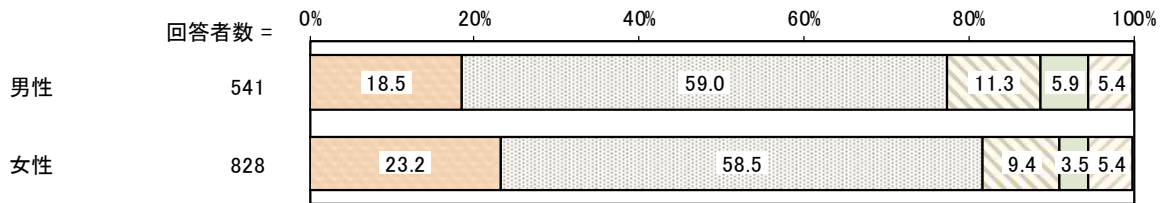
Q37 日々の暮らしで、省資源や省エネルギーに心がけていますか。(〇は1つ)

「心がけている」と「どちらかといえば心がけている」を合わせた“心がけている”の割合が80.0%、「どちらかといえば心がけていない」と「心がけていない」を合わせた“心がけていない”の割合が14.6%となっています。



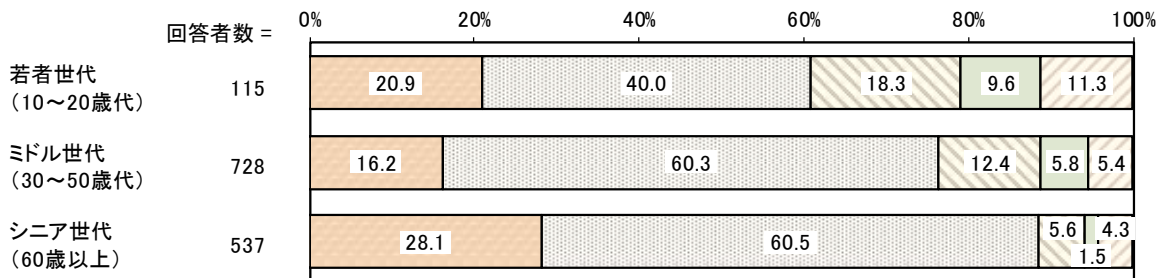
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



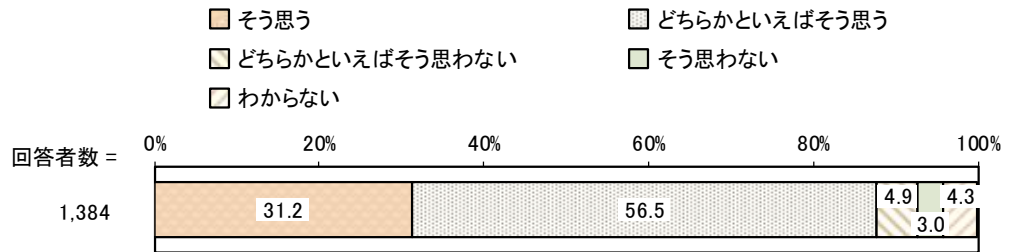
【世代別】

世代別でみると、年齢が上がるにつれ、“心がけている”の割合が高くなる傾向がみられます。



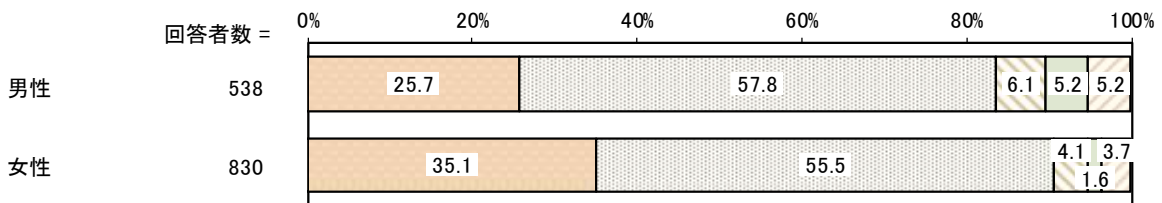
Q38 マイバッグの利用やごみの分別・リサイクルの徹底など、ごみ減量に向けた活動が広がっていると思いますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が87.7%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が7.9%となっています。



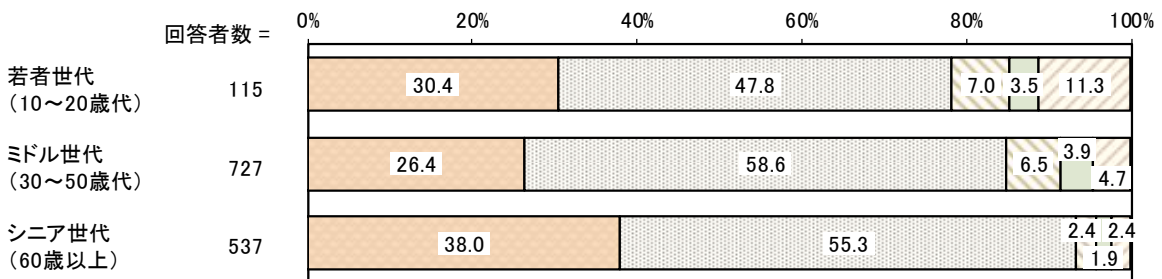
【性別】

性別でみると、女性で“そう思う”の割合が高くなっています。



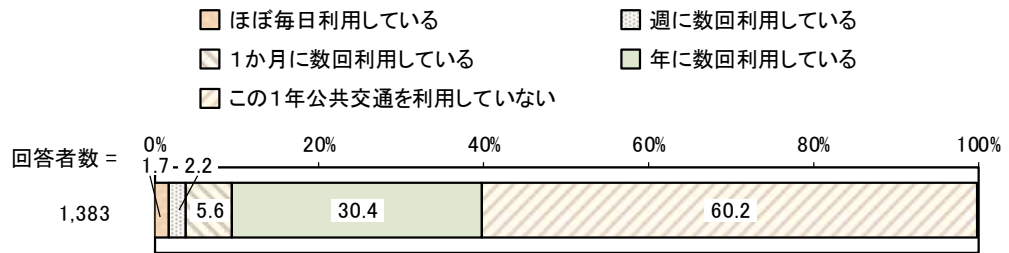
【世代別】

世代別でみると、年齢が上がるにつれ、“そう思う”の割合が高くなる傾向がみられます。



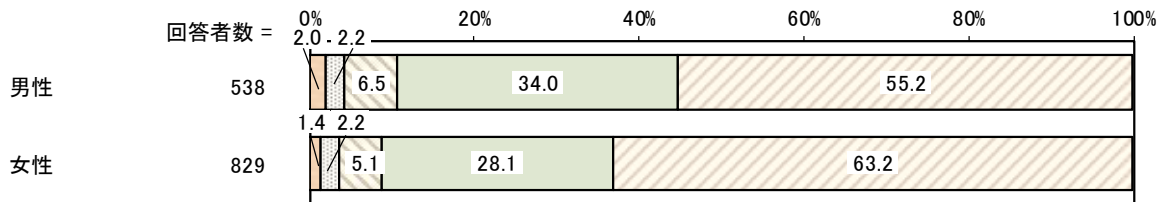
Q39 鉄道や路線バスなどの公共交通を利用していますか。(〇は1つ)

「この1年公共交通を利用していない」の割合が60.2%と最も高く、次いで「年に数回利用している」が30.4%、「1か月に数回利用している」が5.6%と続いています。



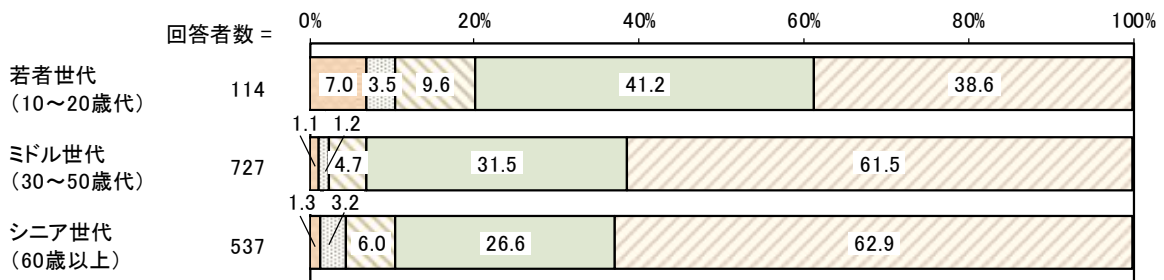
【性別】

性別でみると、女性で「この1年公共交通を利用していない」の割合が高くなっています。



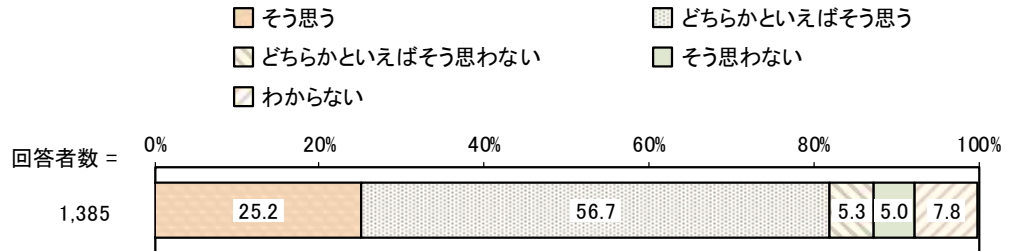
【世代別】

世代別でみると、若者世代に比べ、ミドル世代・シニア世代で「この1年公共交通を利用していない」の割合が高くなっています。



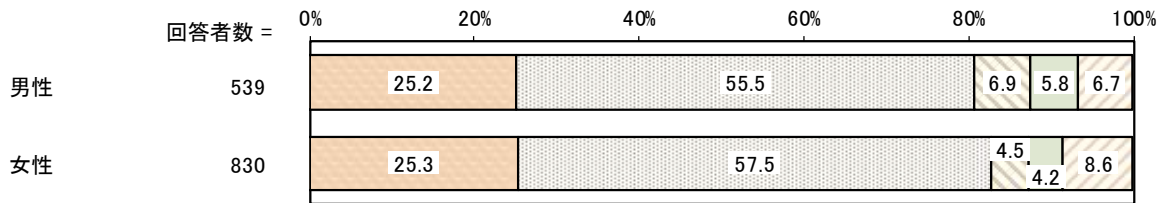
Q40 犯罪が少なく、地域の治安が良いと思いますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が81.9%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が10.3%となっています。



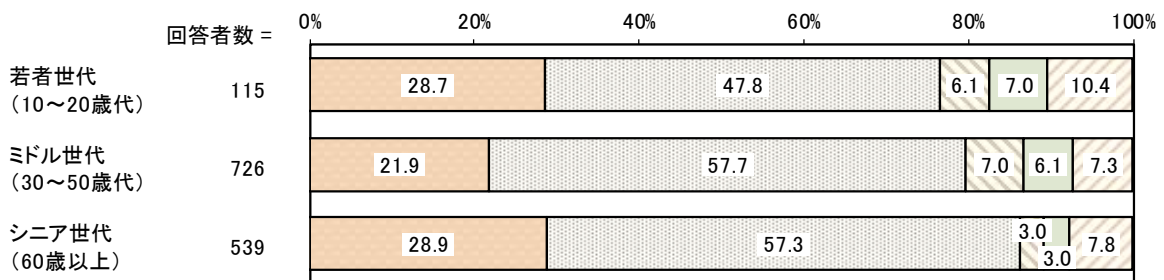
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



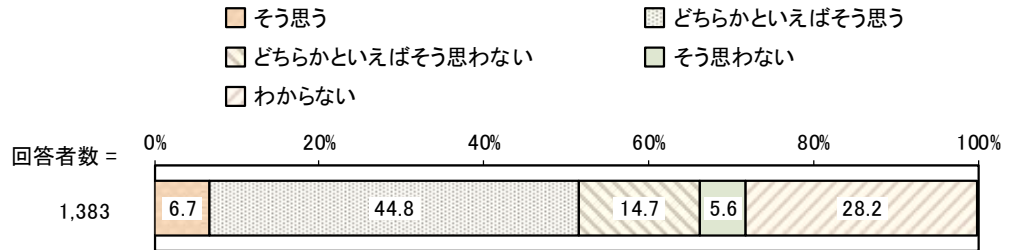
【世代別】

世代別でみると、年齢が上がるにつれ、“そう思う”の割合が高くなる傾向がみられます。



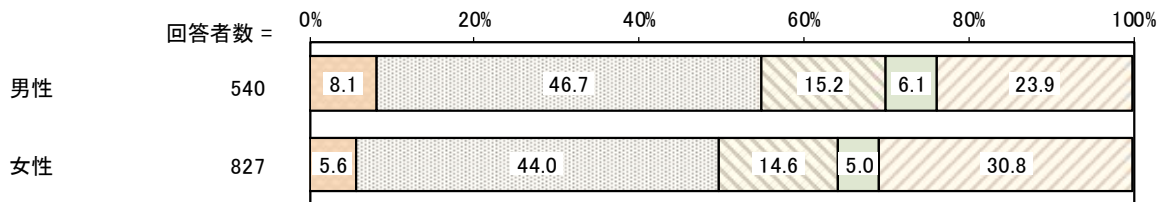
Q41 防災対策が充実していると思いますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が51.5%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が20.3%となっています。



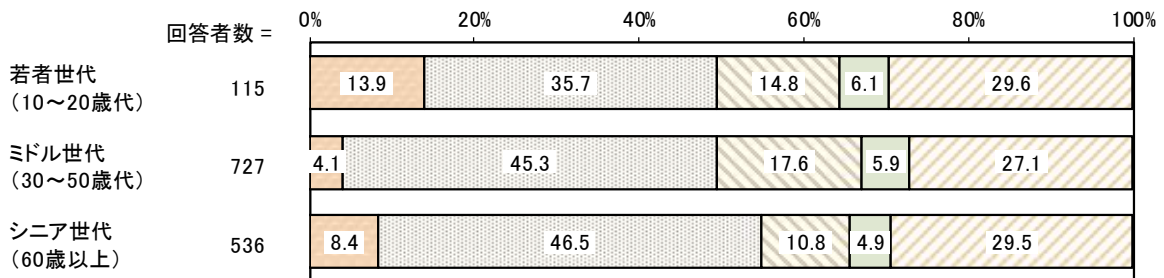
【性別】

性別でみると、男性で“そう思う”の割合が高くなっています。



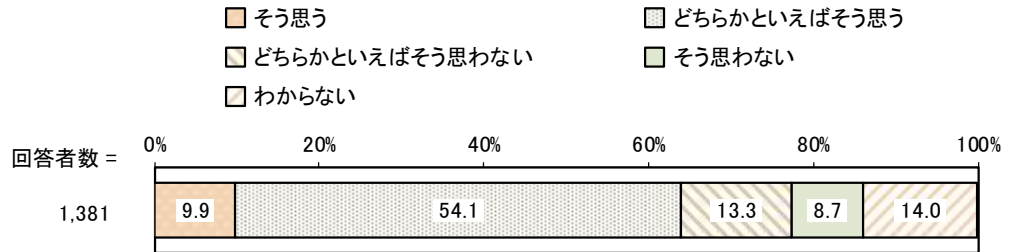
【世代別】

世代別でみると、他の世代に比べ、シニア世代で“そう思う”の割合が高くなっています。



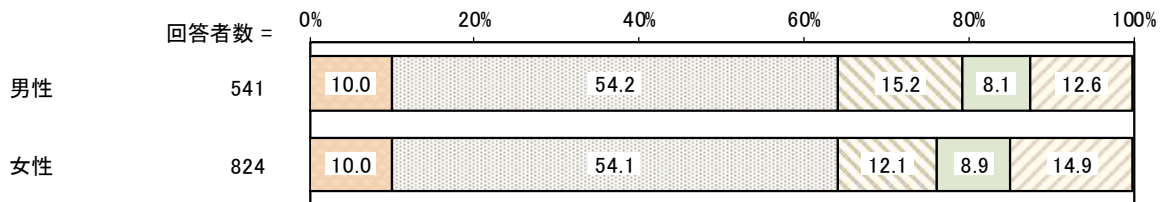
Q42 良好な景観が保たれ、快適な住環境が整っていると思いますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が64.0%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が22.0%となっています。



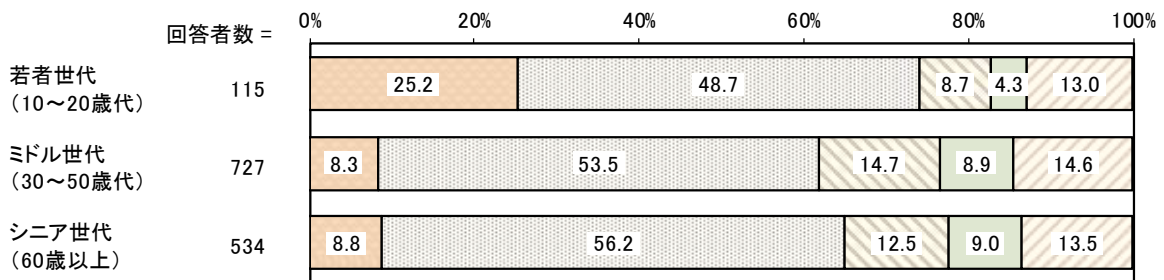
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



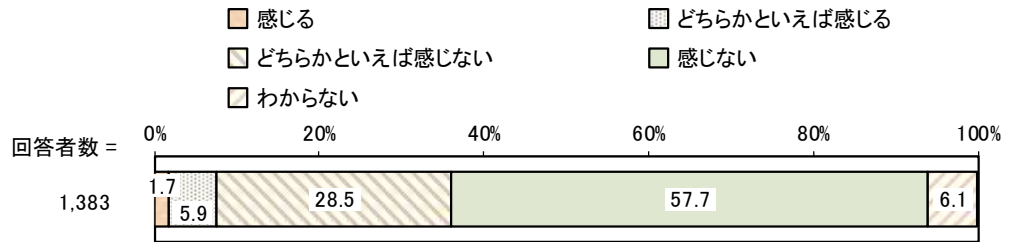
【世代別】

世代別でみると、他の世代に比べ、若者世代で“そう思う”の割合が高くなっています。



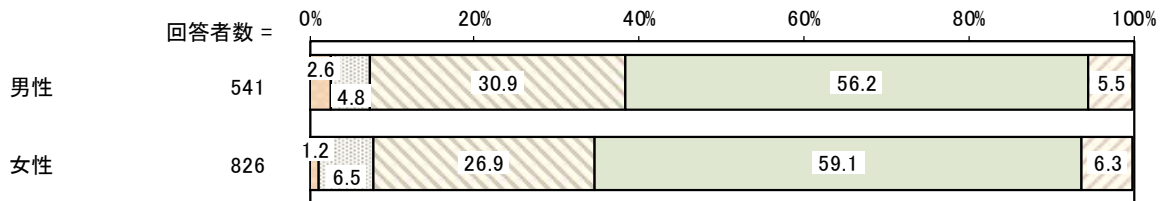
Q43 中心市街地に魅力や賑わいを感じますか。(〇は1つ)

「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた“感じる”の割合が7.6%、「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合わせた“感じない”の割合が86.2%となっています。



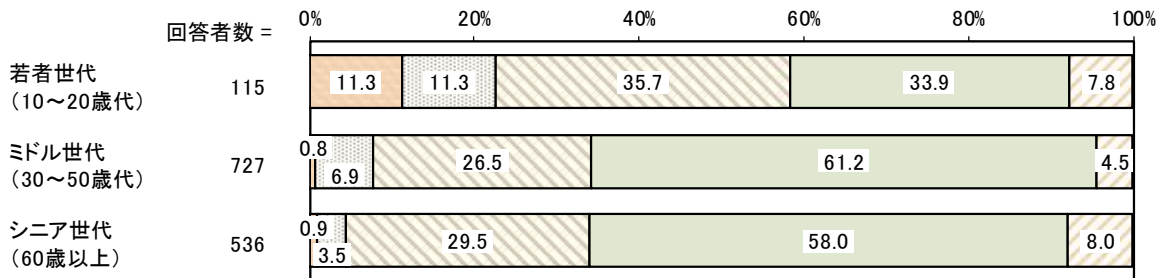
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



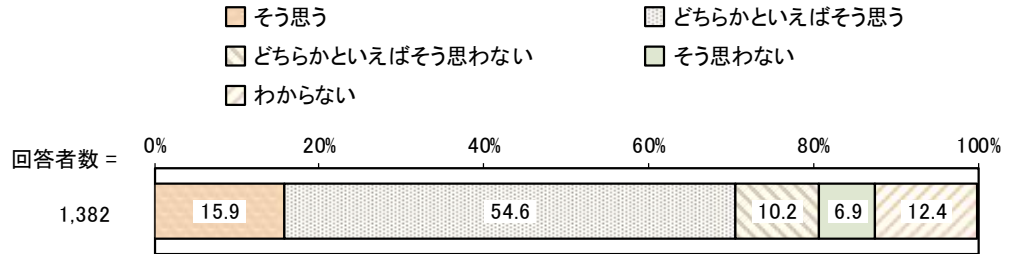
【世代別】

世代別でみると、年齢が若くなるほど、“感じる”の割合が高くなる傾向がみられます。



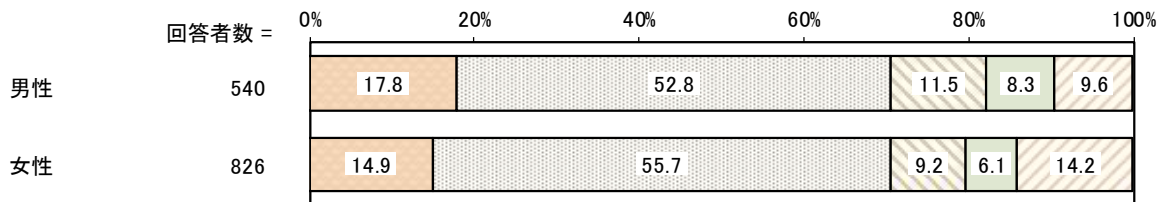
Q44 道路や橋梁は、安心安全な状態で管理されていると思いますか。(○は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が70.5%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が17.1%となっています。



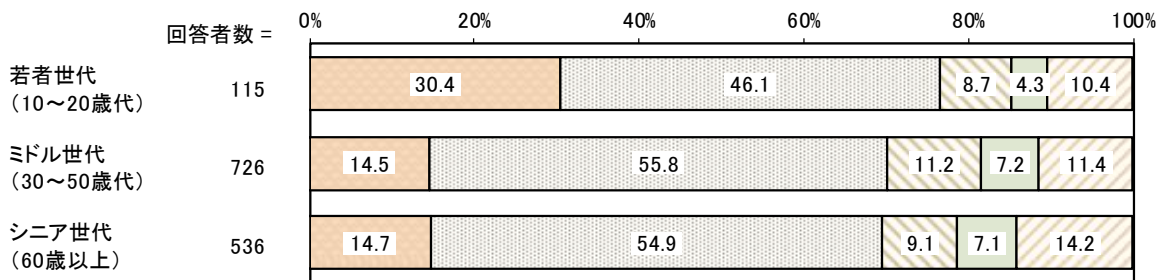
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【世代別】

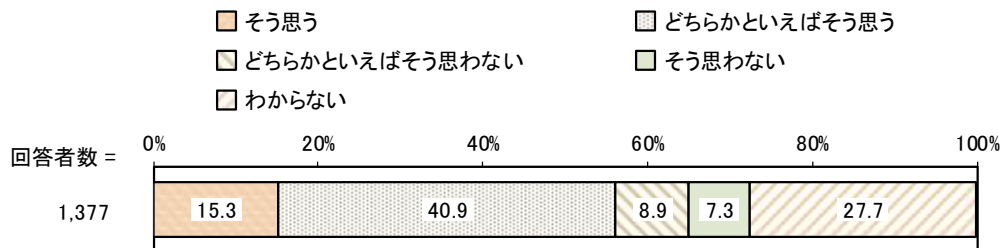
世代別でみると、年齢が若くなるほど、“そう思う”の割合が高くなる傾向がみられます。



(6) 行政運営について

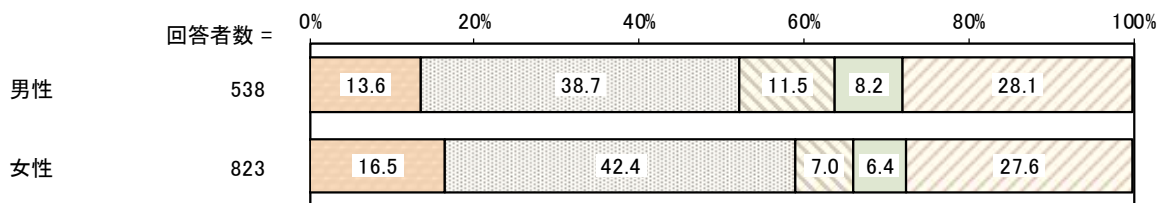
Q45 インターネットから行政情報を入手できたり、公共施設の予約ができたりするなど、行政サービスが便利になったと思いますか。(○は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が56.2%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が16.2%となっています。



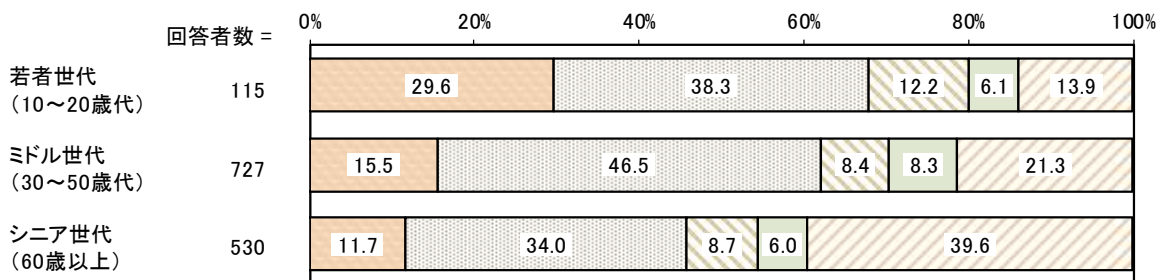
【性別】

性別でみると、女性で“そう思う”の割合が高くなっています。



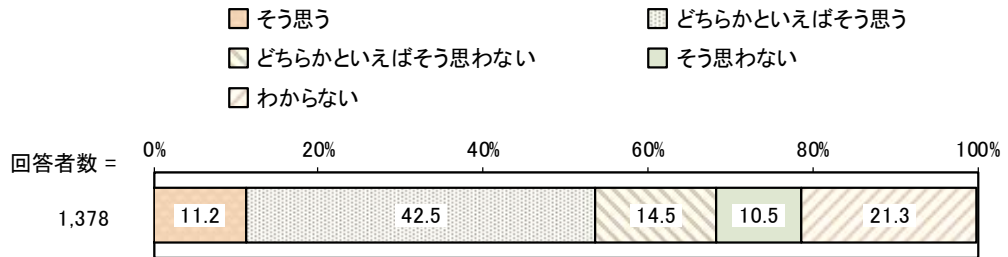
【世代別】

世代別でみると、年齢が若くなるほど、“そう思う”の割合が高くなる傾向がみられます。



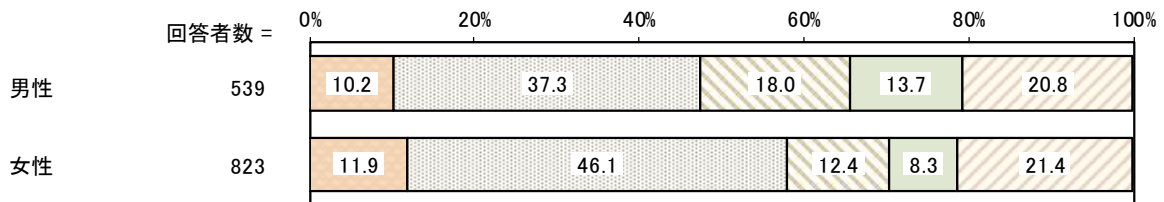
Q46 市政情報がわかりやすく提供されていると思いますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が53.7%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が25.0%となっています。



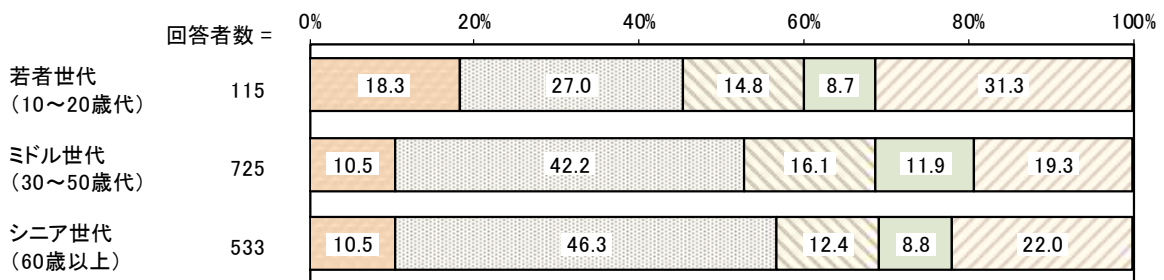
【性別】

性別でみると、女性で“そう思う”の割合が高くなっています。



【世代別】

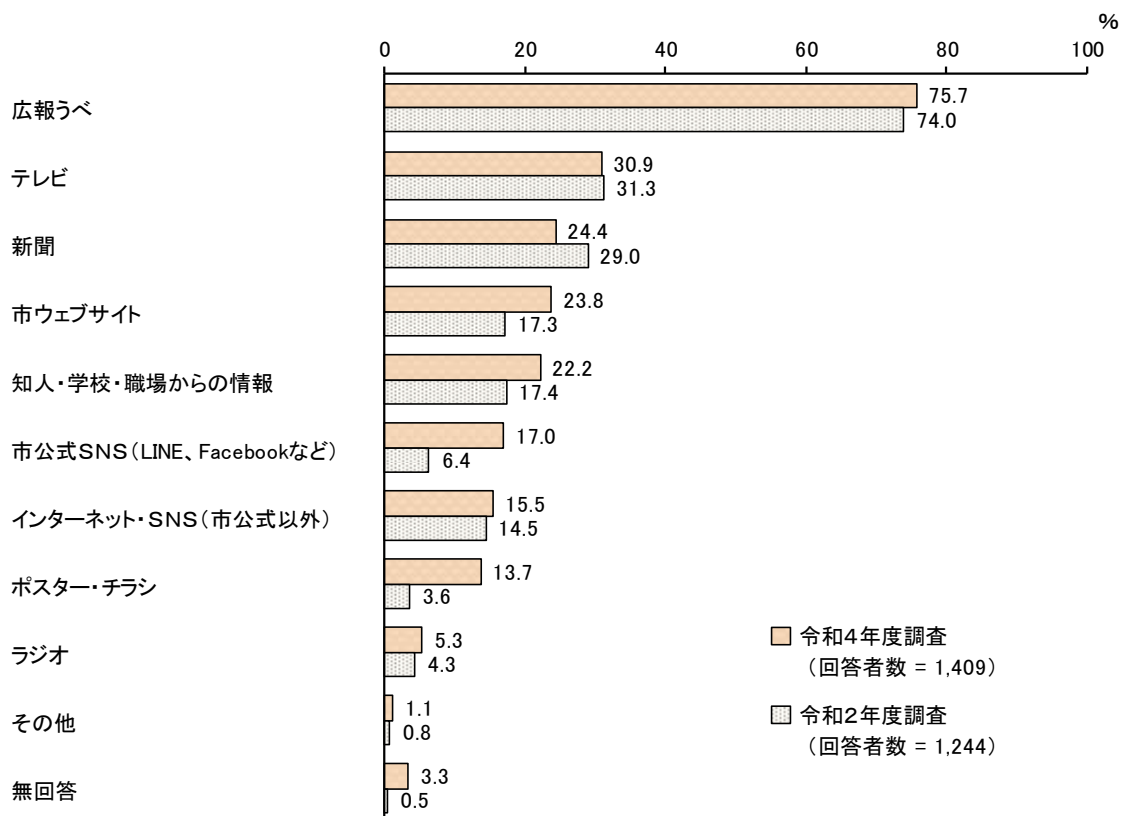
世代別でみると、年齢が上がるにつれ、“そう思う”の割合が高くなる傾向がみられます。



Q47 市政に関する情報について、あなたが普段入手している手段は、次のうちどれですか。（特にあてはまるもの3つに○）

「広報うべ」の割合が75.7%と最も高く、次いで「テレビ」が30.9%、「新聞」が24.4%となっています。

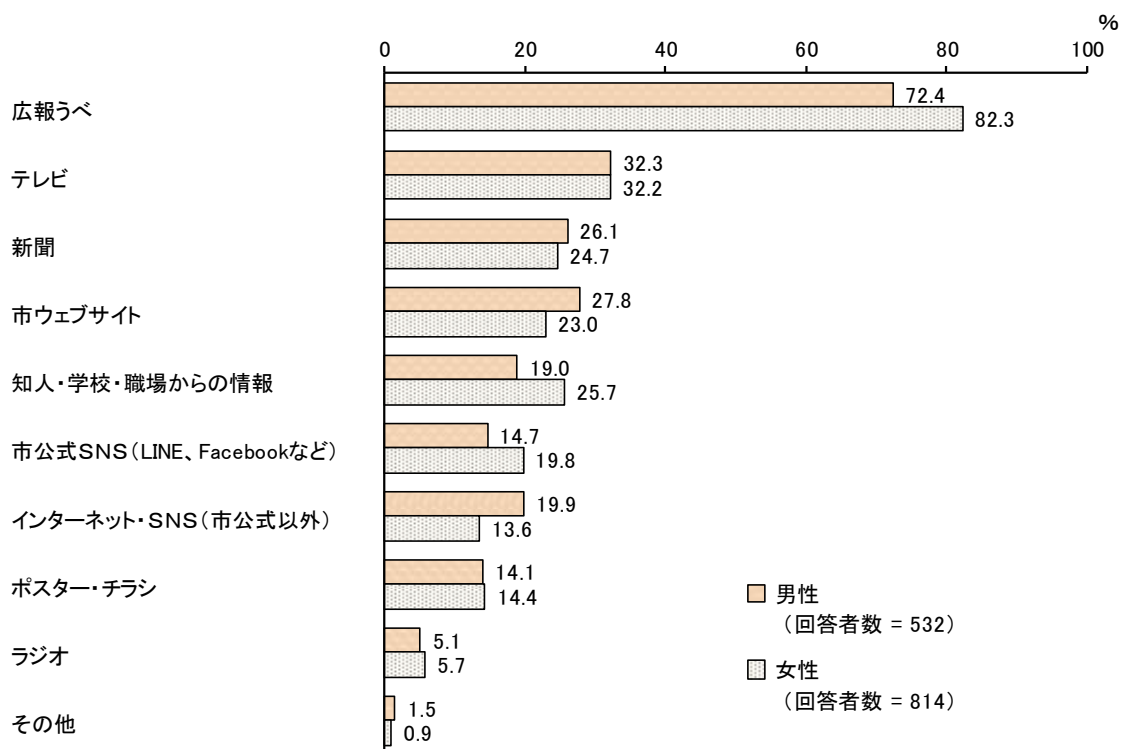
また、令和2年度調査と比較すると、「市ウェブサイト」「市公式SNS（LINE、Facebookなど）」「ポスター・チラシ」の割合が増加しています。



※ 前回調査(令和2年度)と比較するため、無回答を含めて集計しています。

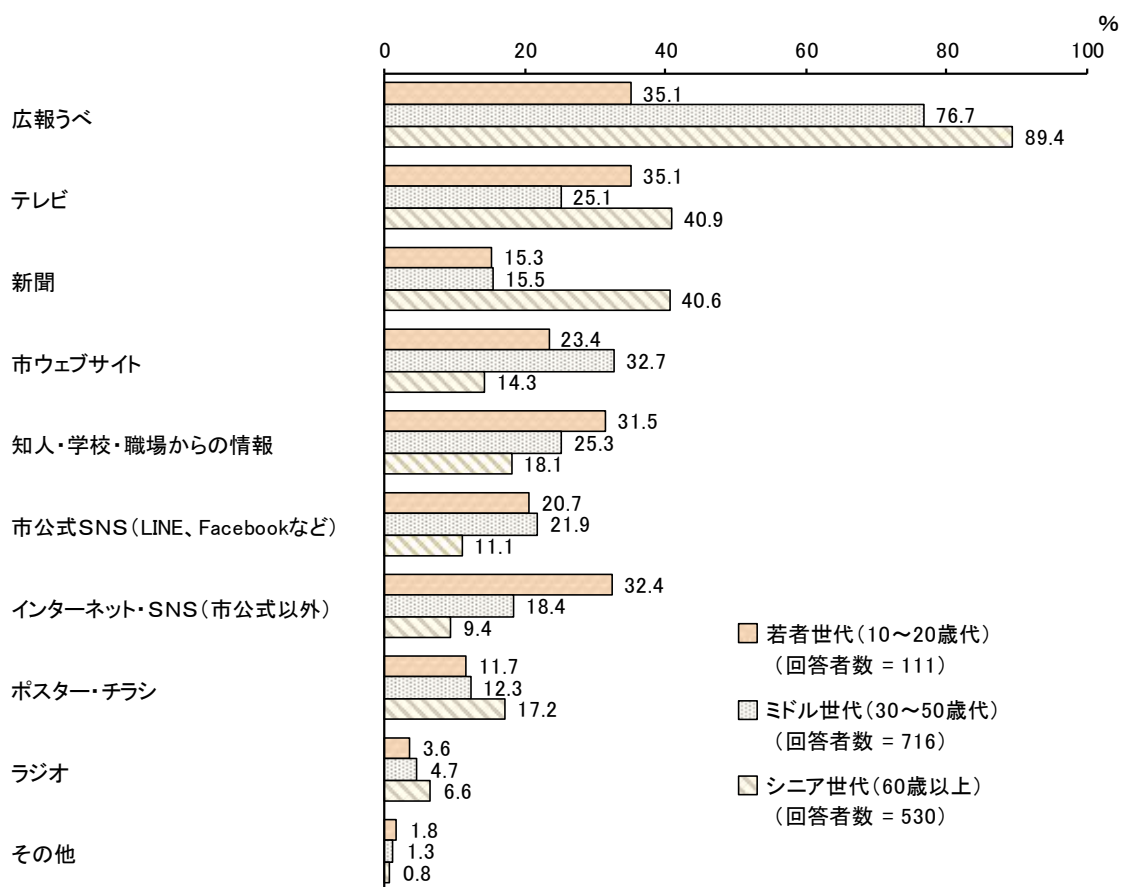
【性別】

性別で見ると、「インターネット・SNS（市公式以外）」「市ウェブサイト」で男性の割合が高くなっています。また、「広報うべ」、「知人・学校・職場からの情報」で女性の割合が高くなっています。



【世代別】

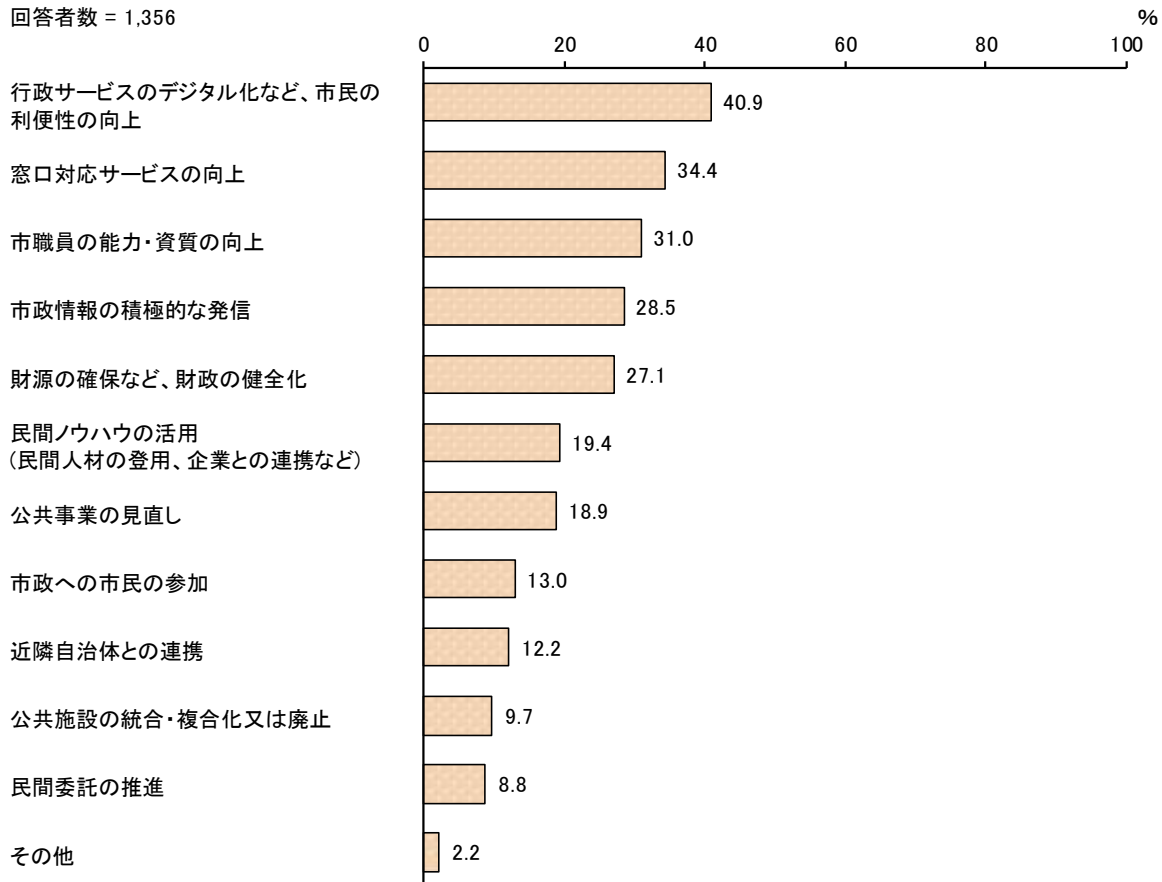
世代別でみると、年齢が上がるにつれ、「広報うべ」の割合が高くなる傾向がみられます。また、年齢が若くなるほど、「インターネット・SNS（市公式以外）」「知人・学校・職場からの情報」の割合が高くなる傾向がみられます。



Q48 効率的・効果的な行政運営を行う上で、重要だと思うことは何ですか。
(〇は3つまで)

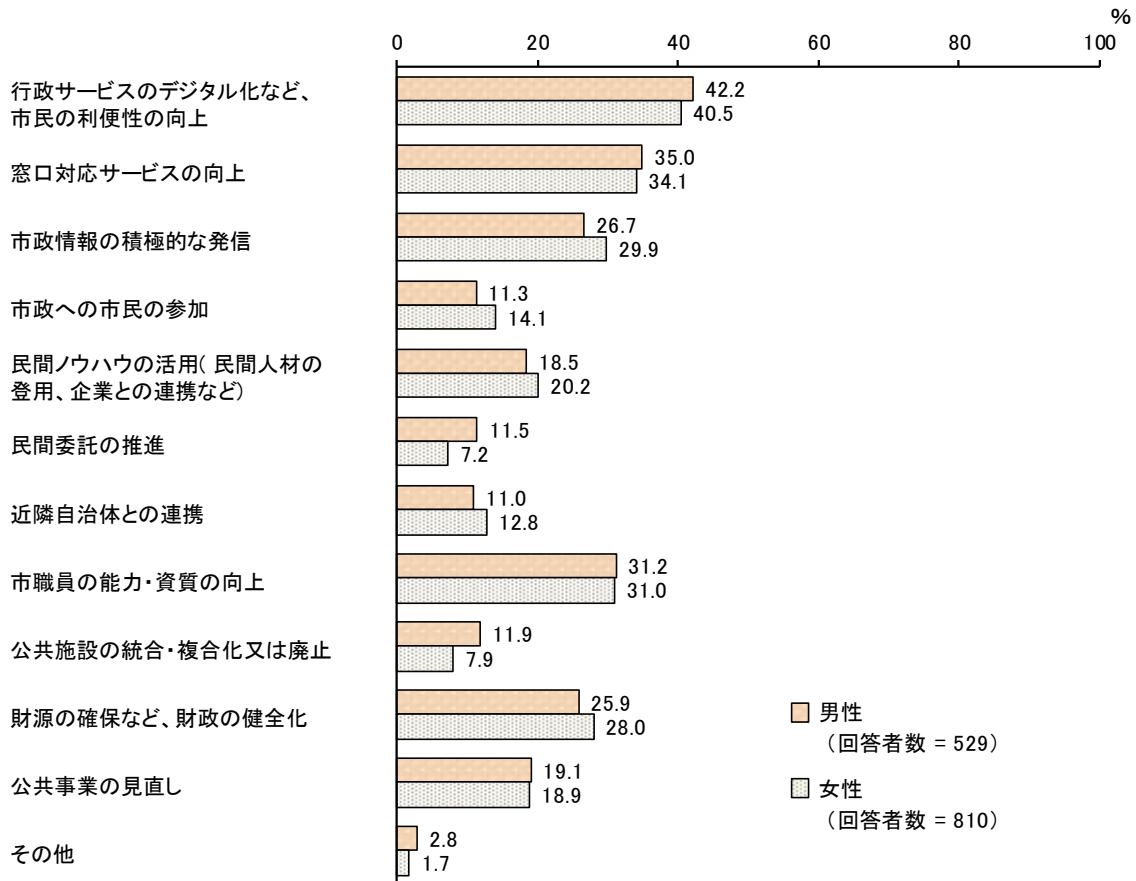
「行政サービスのデジタル化など、市民の利便性の向上」の割合が40.9%と最も高く、次いで「窓口対応サービスの向上」が34.4%、「市職員の能力・資質の向上」が31.0%となっています。

回答者数 = 1,356



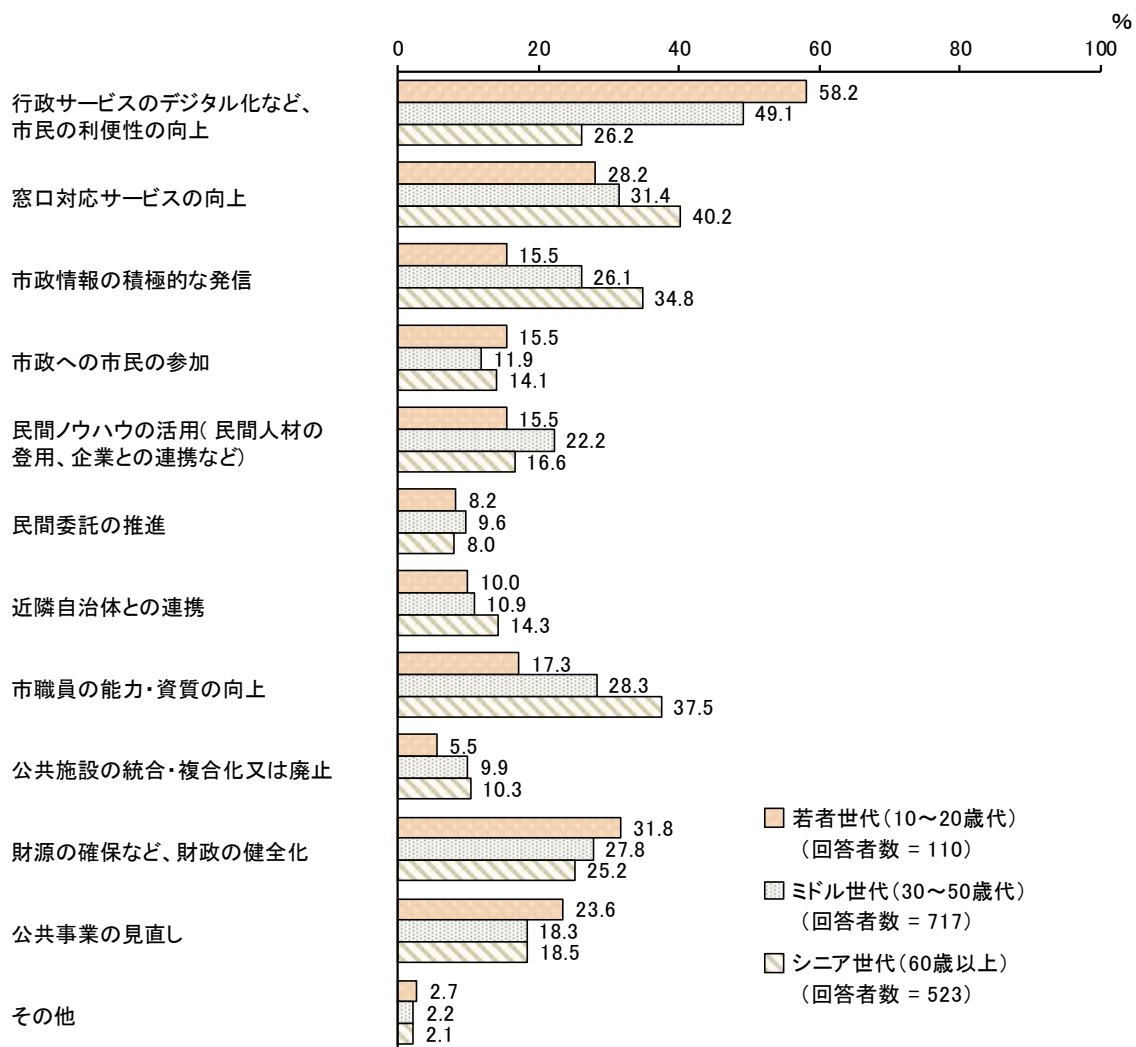
【性別】

性別でみると、「民間委託の推進」「公共施設の統合・複合化又は廃止」で男性の割合が高くなっています。また、「市政情報の積極的な発信」、「市政への市民の参加」で女性の割合が高くなっています。



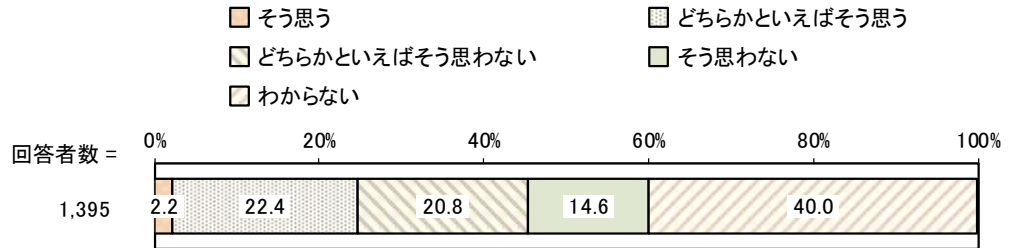
【世代別】

世代別でみると、年齢が上がるにつれ、「窓口対応サービスの向上」「市政情報の積極的な発信」「近隣自治体との連携」「市職員の能力・資質の向上」の割合が高くなる傾向がみられます。また、年齢が若いほど、「行政サービスのデジタル化など、市民の利便性の向上」「公共事業の見直し」の割合が高くなる傾向がみられます。



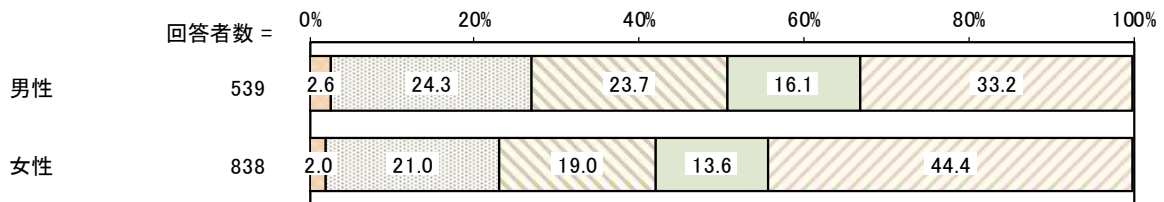
Q49 市民の意見や活動がまちづくりに反映されていると思いますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が24.6%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が35.4%となっています。



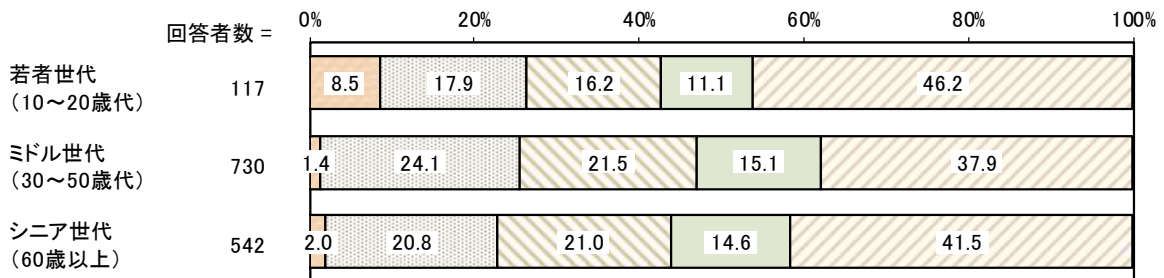
【性別】

性別でみると、男性で“そう思わない”の割合が高くなっています。



【世代別】

世代別でみると、年齢が若くなるほど、“そう思う”の割合が高くなる傾向がみられます。



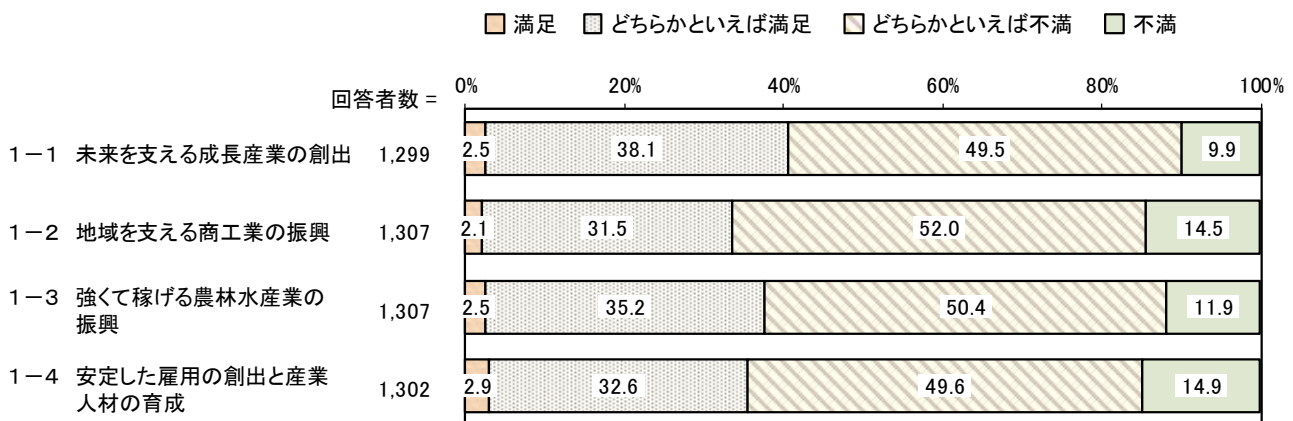
4 第五次宇部市総合計画 前期実行計画 各施策の満足度・重要度について

Q50 宇部市が実施している主な施策について、あなたが感じている現状の「満足度」と、まちづくり全体からみた今後の「重要度」をお答えください。
 (「満足度」「重要度」それぞれ1つに○)

1 活気に満ちた強い産業のまち

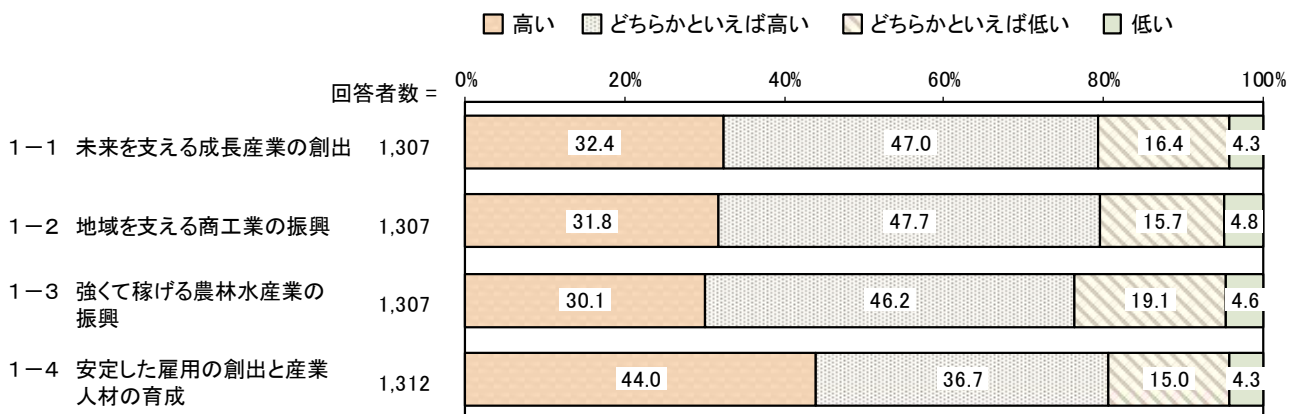
【現状の満足度】

「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は『1-1 未来を支える成長産業の創出』で40.6%と最も高く、次いで『1-3 強くて稼げる農林水産業の振興』で37.7%となっています。また、「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合は『1-2 地域を支える商工業の振興』で66.5%、次いで『1-4 安定した雇用の創出と産業人材の育成』が64.5%となっています。



【今後の重要度】

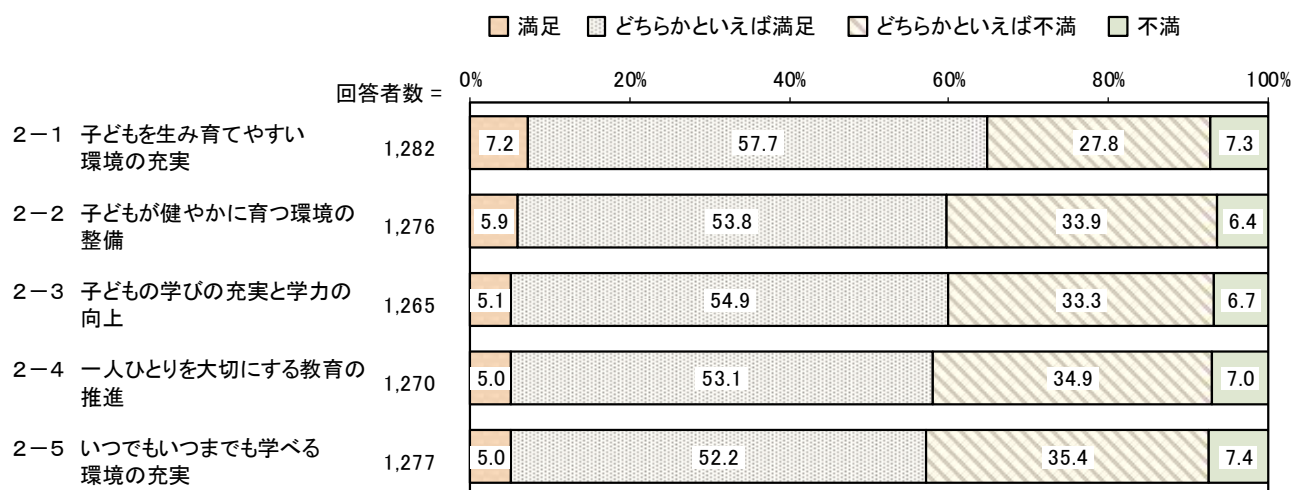
「高い」と「どちらかといえば高い」を合わせた“重要度が高い”の割合は『1-4 安定した雇用の創出と産業人材の育成』で80.7%と最も高く、次いで『1-2 地域を支える商工業の振興』で79.5%、『1-1 未来を支える成長産業の創出』で79.4%となっています。また、「どちらかといえば低い」と「低い」を合わせた“重要度が低い”については、『1-3 強くて稼げる農林水産業の振興』が23.7%と、他の項目と比べて高い状況です。



2 未来を拓くひとを育むまち

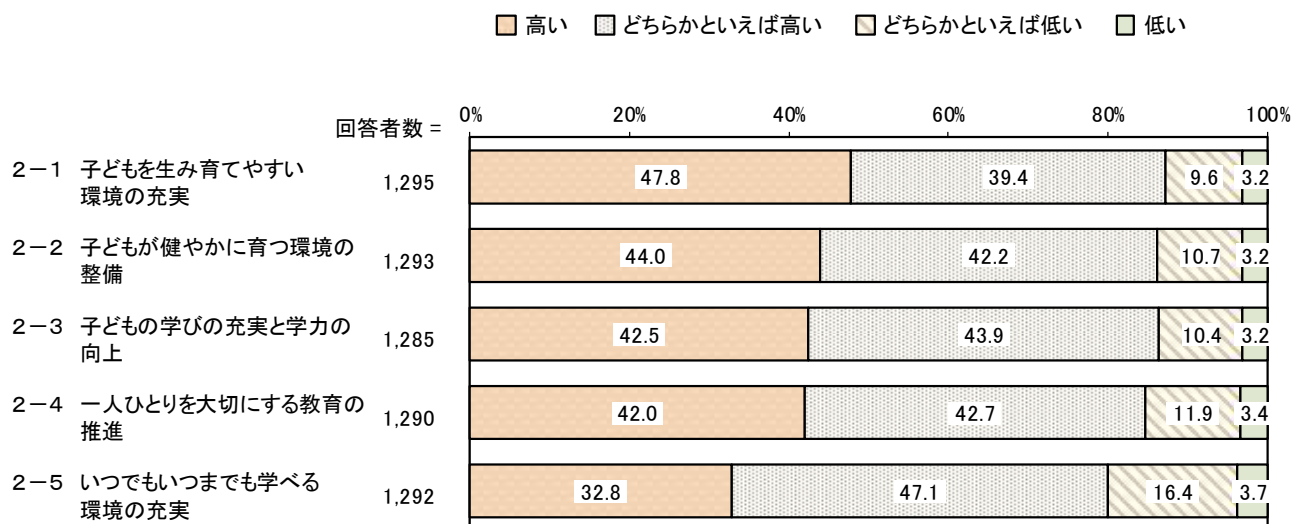
【現状の満足度】

「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は『2-1 子どもを生み育てやすい環境の充実』で64.9%と最も高く、次いで『2-3 子どもの学びの充実と学力の向上』で60.0%、『2-2 子どもが健やかに育つ環境の整備』で59.7%となっています。また、「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合は『2-5 いつでもいつまでも学べる環境の充実』で42.8%と最も高く、次いで『2-4 一人ひとりを大切にする教育の推進』で41.9%となっています。



【今後の重要度】

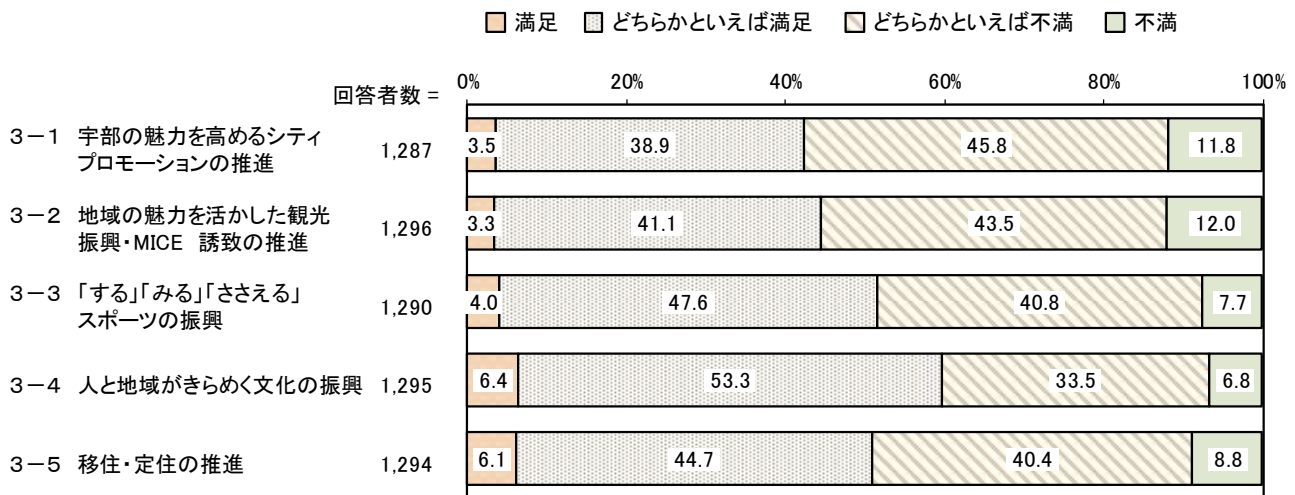
「高い」と「どちらかといえば高い」を合わせた“重要度が高い”の割合は『2-1 子どもを生み育てやすい環境の充実』で87.2%と最も高く、次いで『2-3 子どもの学びの充実と学力の向上』で86.4%、『2-2 子どもが健やかに育つ環境の整備』で86.2%となっています。また、「どちらかといえば低い」と「低い」を合わせた“重要度が低い”の割合は『2-5 いつでもいつまでも学べる環境の充実』で20.1%と最も高く、次いで『2-4 一人ひとりを大切にする教育の推進』で15.3%となっています。



3 魅力と賑わいにあふれるまち

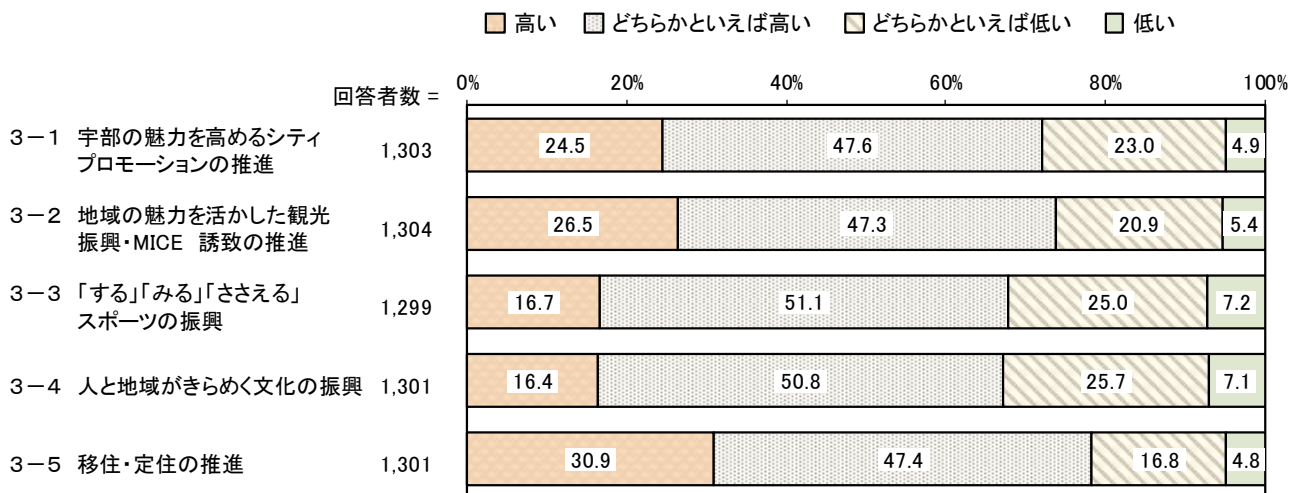
【現状の満足度】

「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は『3-4 人と地域がきらめく文化の振興』で59.7%と最も高く、次いで『3-3 「する」「みる」「ささえる」スポーツの振興』で51.6%となっています。また、「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合は『3-1 宇部の魅力を高めるシティプロモーションの推進』で57.6%と最も高く、次いで『3-2 地域の魅力を活かした観光振興・MICE 誘致の推進』で55.5%となっています。



【今後の重要度】

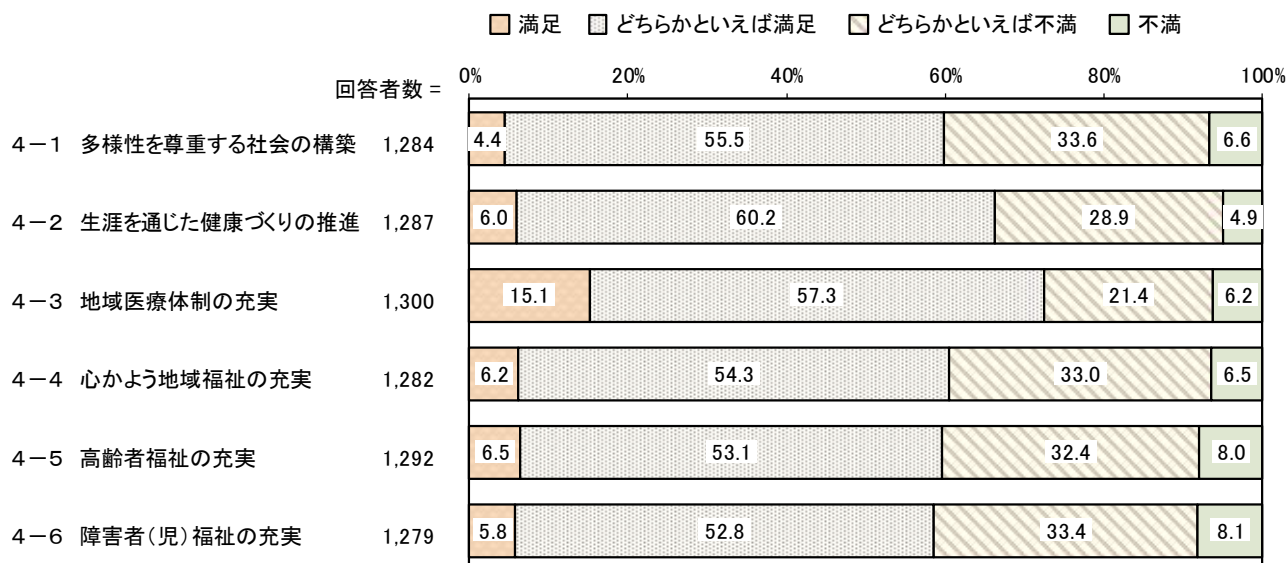
「高い」と「どちらかといえば高い」を合わせた“重要度が高い”の割合は『3-5 移住・定住の推進』で78.3%と最も高く、次いで『3-2 地域の魅力を活かした観光振興・MICE 誘致の推進』で73.8%、『3-1 宇部の魅力を高めるシティプロモーションの推進』で72.1%となっています。また、「どちらかといえば低い」と「低い」を合わせた“重要度が低い”の割合は『3-4 人と地域がきらめく文化の振興』で32.8%と最も高く、次いで『3-3 「する」「みる」「ささえる」スポーツの振興』で32.2%となっています。



4 誰もが健康で自分らしく暮らせるまち

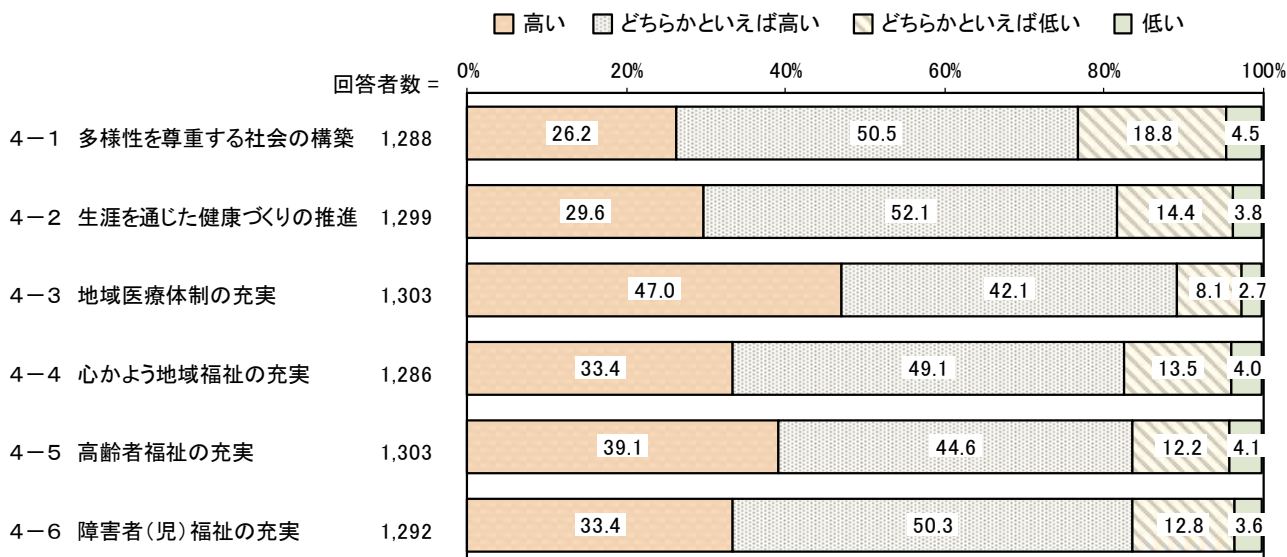
【現状の満足度】

「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は『4-3 地域医療体制の充実』で72.4%と最も高く、次いで『4-2 生涯を通じた健康づくりの推進』で66.2%となっています。また、「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合は『4-6 障害者（児）福祉の充実』で41.5%と最も高く、次いで『4-5 高齢者福祉の充実』で40.4%、『4-1 多様性を尊重する社会の構築』で40.2%となっています。



【今後の重要度】

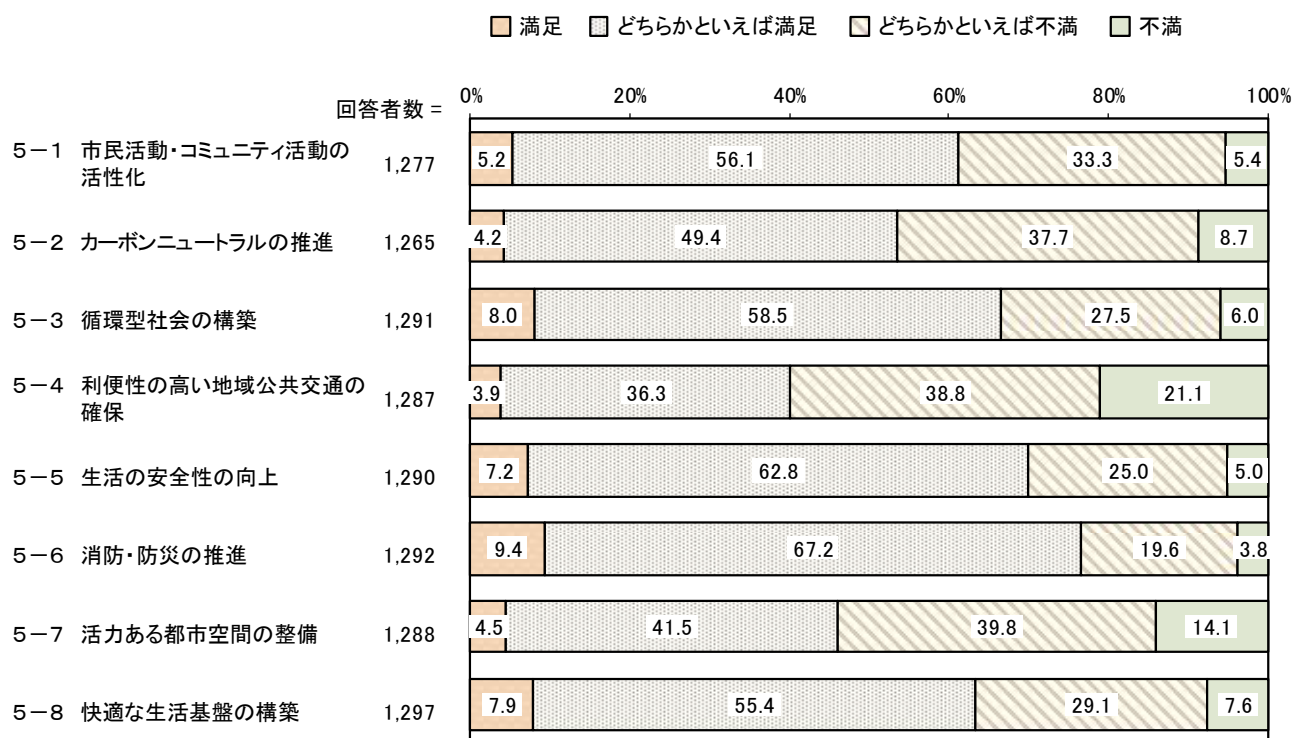
「高い」と「どちらかといえば高い」を合わせた“重要度が高い”の割合は『4-3 地域医療体制の充実』で89.1%と最も高く、次いで『4-5 高齢者福祉の充実』『4-6 障害者（児）福祉の充実』で83.7%となっています。また、「どちらかといえば低い」と「低い」を合わせた“重要度が低い”の割合は『4-1 多様性を尊重する社会の構築』で23.3%と最も高く、次いで『4-2 生涯を通じた健康づくりの推進』で18.2%となっています。



5 安心・安全で快適に暮らせるまち

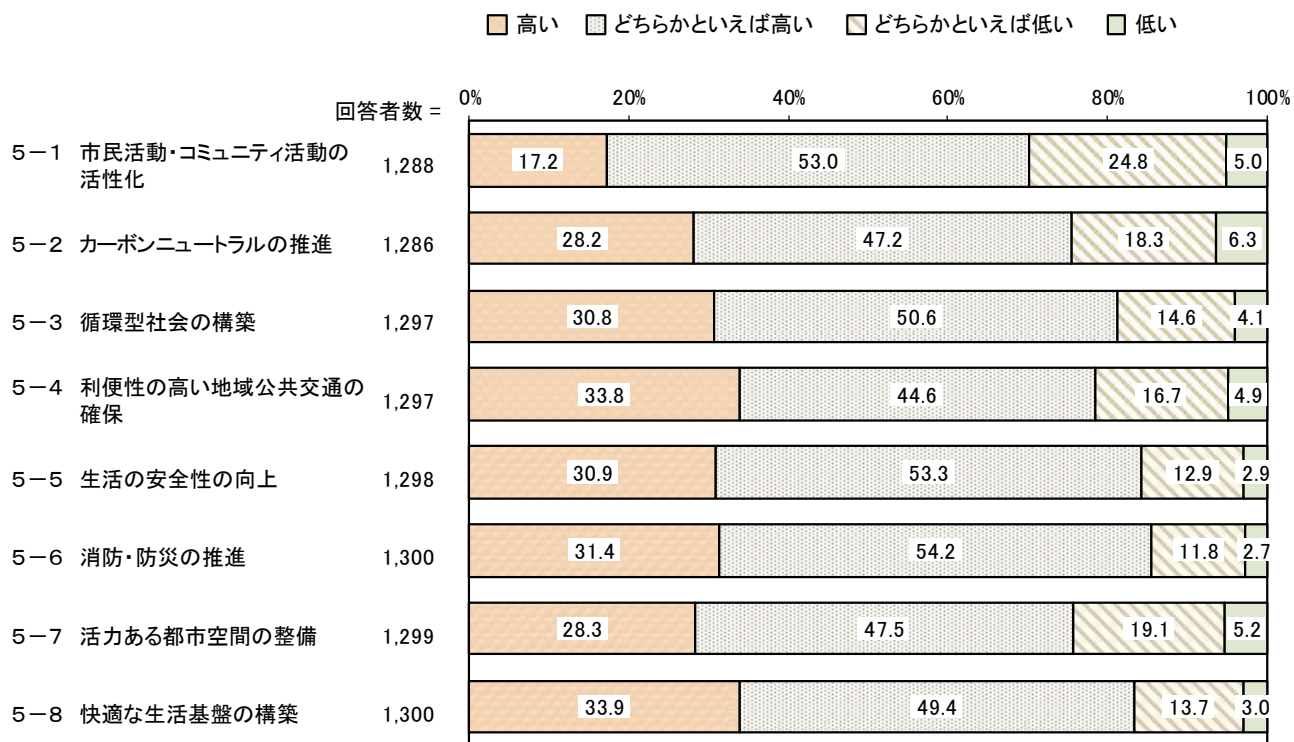
【現状の満足度】

「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は『5-6 消防・防災の推進』で76.6%と最も高く、次いで『5-5 生活の安全性の向上』で70.0%となっています。また、「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合は『5-4 利便性の高い地域公共交通の確保』で59.9%と最も高く、次いで『5-7 活力ある都市空間の整備』で53.9%となっています。



【今後の重要度】

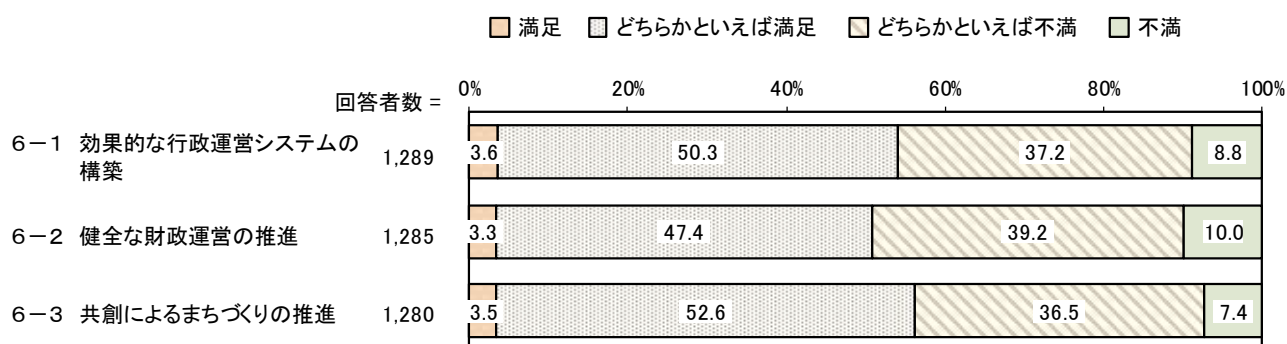
「高い」と「どちらかといえば高い」を合わせた“重要度が高い”の割合は『5-6 消防・防災の推進』で85.6%と最も高く、次いで『5-5 生活の安全性の向上』で84.2%となっています。また、「どちらかといえば低い」と「低い」を合わせた“重要度が低い”の割合は『5-1 市民活動・コミュニティ活動の活性化』で29.8%と最も高く、次いで『5-2 カーボンニュートラルの推進』で24.6%、『5-7 活力ある都市空間の整備』で24.3%となっています。



6 計画の推進に向けて

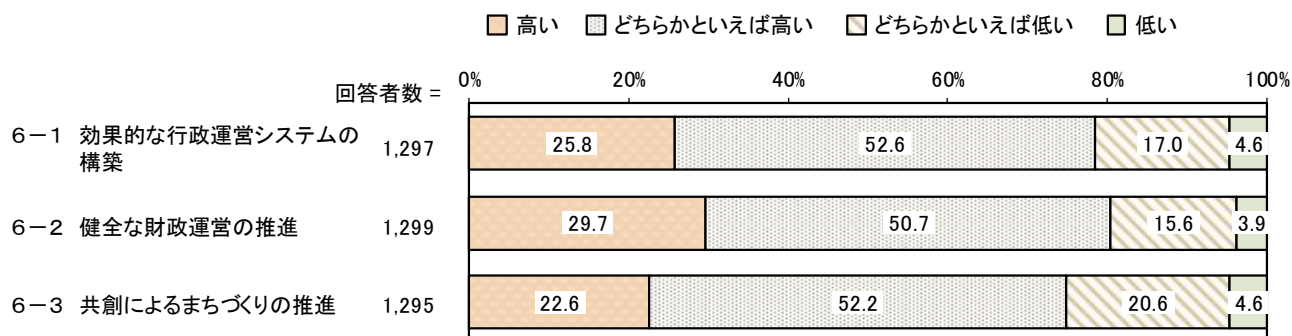
【現状の満足度】

「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合は『6-3 共創によるまちづくりの推進』で56.1%と最も高く、次いで『6-1 効果的な行政運営システムの構築』が53.9%となっています。また、「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合は『6-2 健全な財政運営の推進』が49.2%と、他の項目に比して高い状況です。



【今後の重要度】

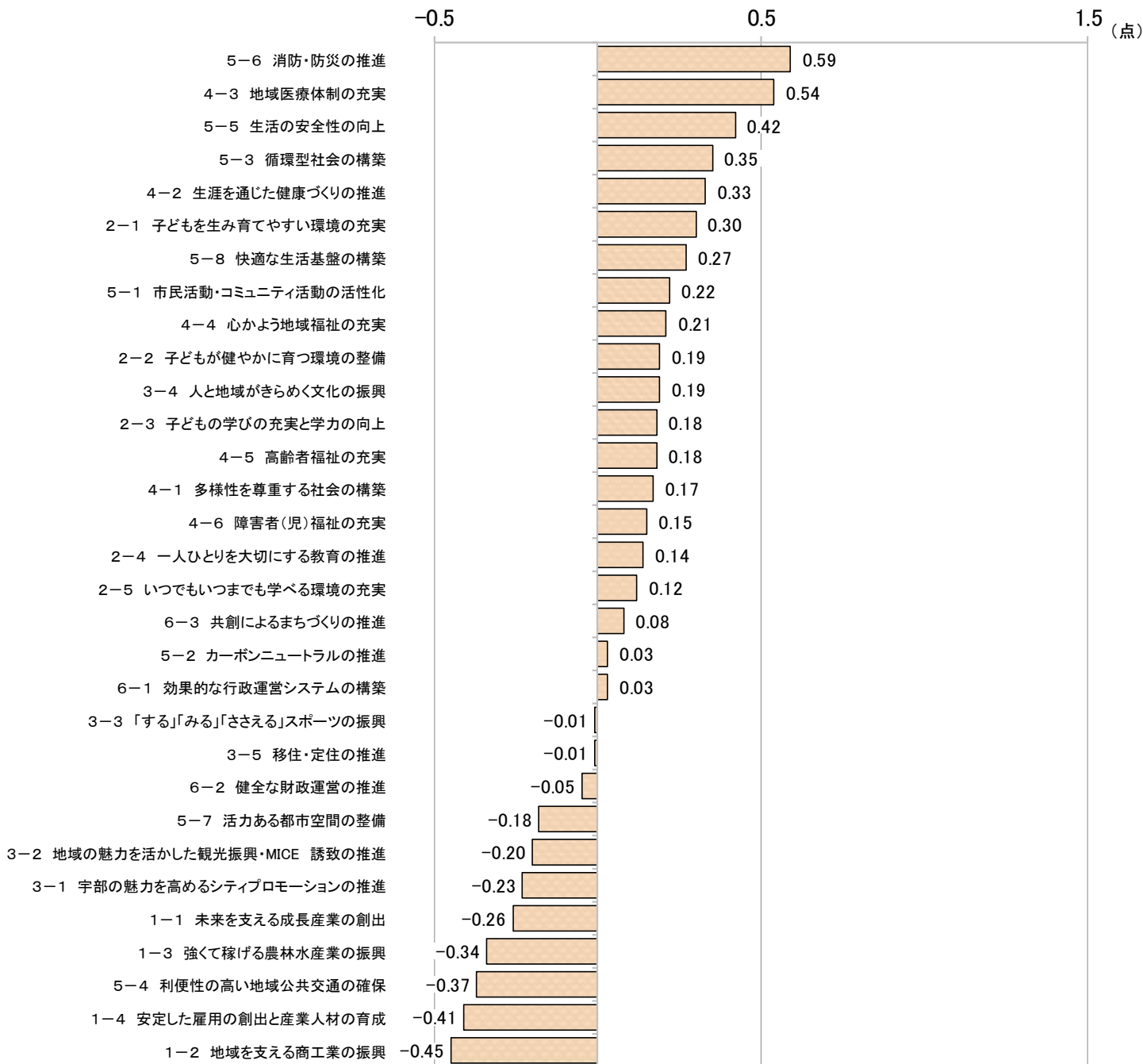
「高い」と「どちらかといえば高い」を合わせた“重要度が高い”の割合は『6-2 健全な財政運営の推進』で80.4%と最も高く、次いで『6-1 効果的な行政運営システムの構築』が78.4%となっています。また、「どちらかといえば低い」と「低い」を合わせた“重要度が低い”の割合は『6-3 共創によるまちづくりの推進』が25.2%と他の項目に比して高い状況です。



◆施策の満足度について

現状において満足度が一番高い施策は「5-6 消防・防災の推進」であり、次いで「4-3 地域医療体制の充実」、「5-5 生活の安全性の向上」と続いている。

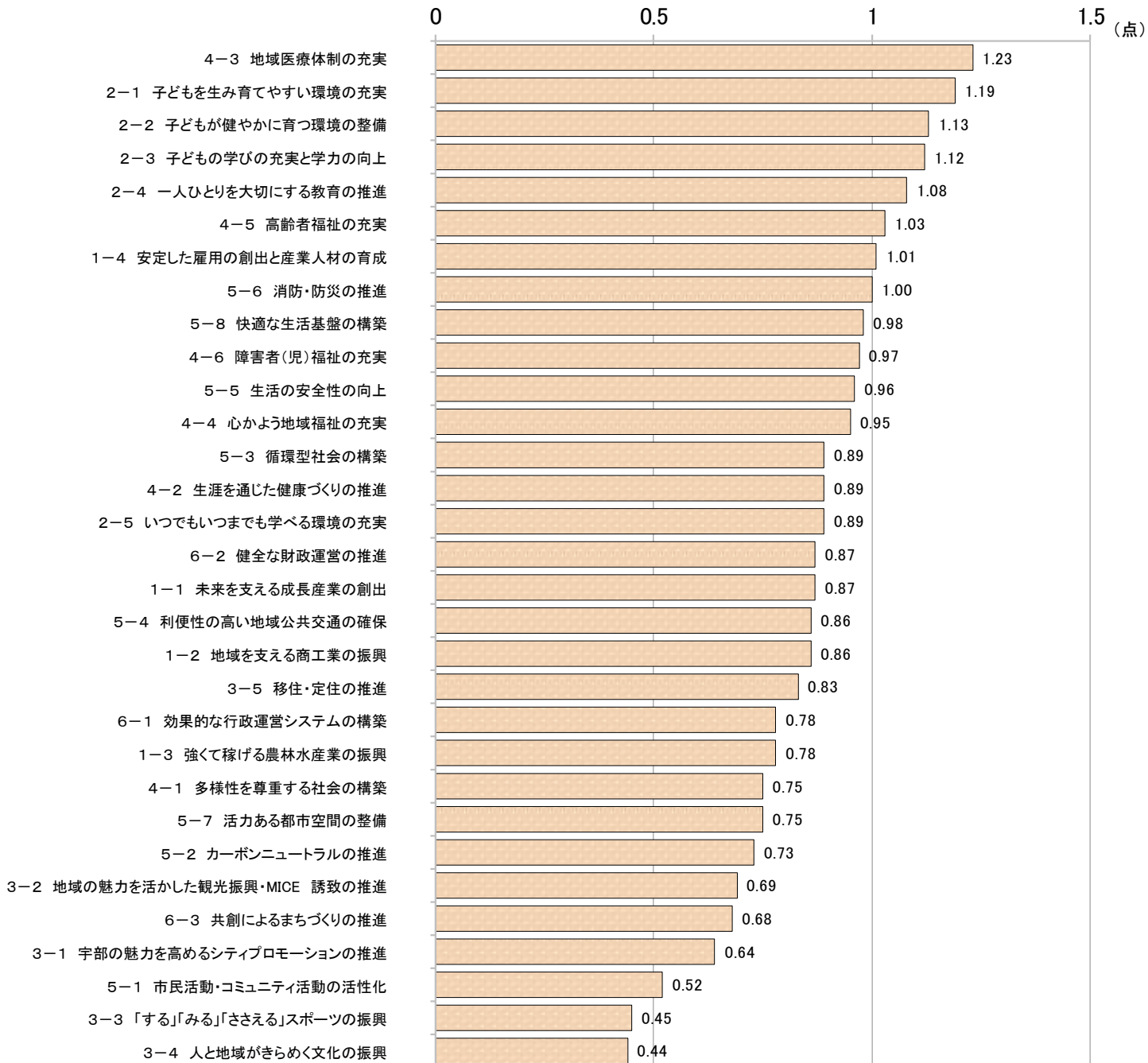
一方で、満足度が低い施策については、下位から順に「地域を支える商工業の振興」、「1-4 安定した雇用の創出と産業人材の育成」、「5-4 利便性の高い地域公共交通の確保」となっている。



◆施策の重要度について

今後において重要度が一番高い施策は、「4-3 地域医療体制の充実」であり、次いで「2-1 子どもを生き育てやすい環境の充実」、「2-2 子どもが健やかに育つ環境の整備」と続いている。

一方で、重要度が低い施策については、下位から順に「3-4 人と地域がきらめく文化の振興」、「3-3 「する」「みる」「ささえる」スポーツの振興」、「5-1 市民活動・コミュニティ活動の活性化」となっている。



■ポートフォリオによる分析

〔満足度・重要度の得点化〕

第五次宇部市総合計画 前期実行計画に位置付けた各施策に対して、「現状の満足度」と「今後の重要度」について、回答された4つの選択肢を下記の手順で得点化し、分析を行いました。

■満足度・重要度の得点化の手順■

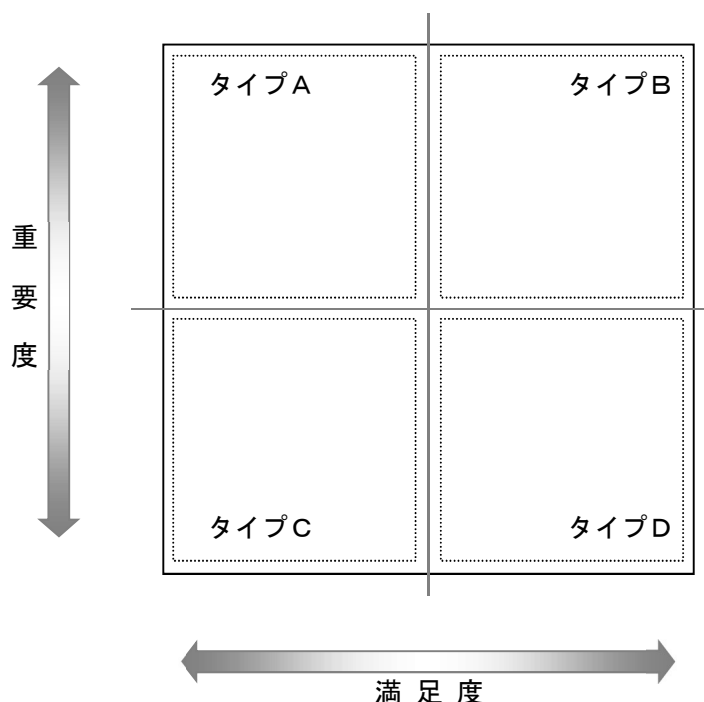
満足度		得点	重要度		得点
不満	→	-2点	低い	→	-2点
どちらかといえば不満	→	-1点	どちらかといえば低い	→	-1点
どちらかといえば満足	→	1点	どちらかといえば高い	→	1点
満足	→	2点	高い	→	2点
無回答	→	計算対象外	無回答	→	計算対象外

■得点の算出式■

$$\begin{aligned}
 & 2点 \times 「満足(高い)」の回答数 \\
 & + 1点 \times 「どちらかといえば満足(どちらかといえば高い)」の回答数 \\
 & - 1点 \times 「どちらかといえば不満(どちらかといえば低い)」の回答数 \\
 & - 2点 \times 「不満(低い)」の回答数 / 無回答を除く回答数
 \end{aligned}$$

[ポートフォリオ分析による満足度・重要度の評価]

各施策の満足度・重要度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分した散布図を作成しました。



◆タイプA：重点的に取り組むべき施策

→今後の重要度は高いものの、現在の取組に対する満足度が低い施策と考えられます。施策の改善や新たな施策の検討など、他のタイプの施策より優先して取り組む必要があります。

◆タイプB：充実が望まれる施策

→今後の重要度と現在の取組に対する満足度ともに高い施策と考えられます。今後も現在の水準を下げることなく、着実に取り組んでいく必要があります。

◆タイプC：関心の低い施策

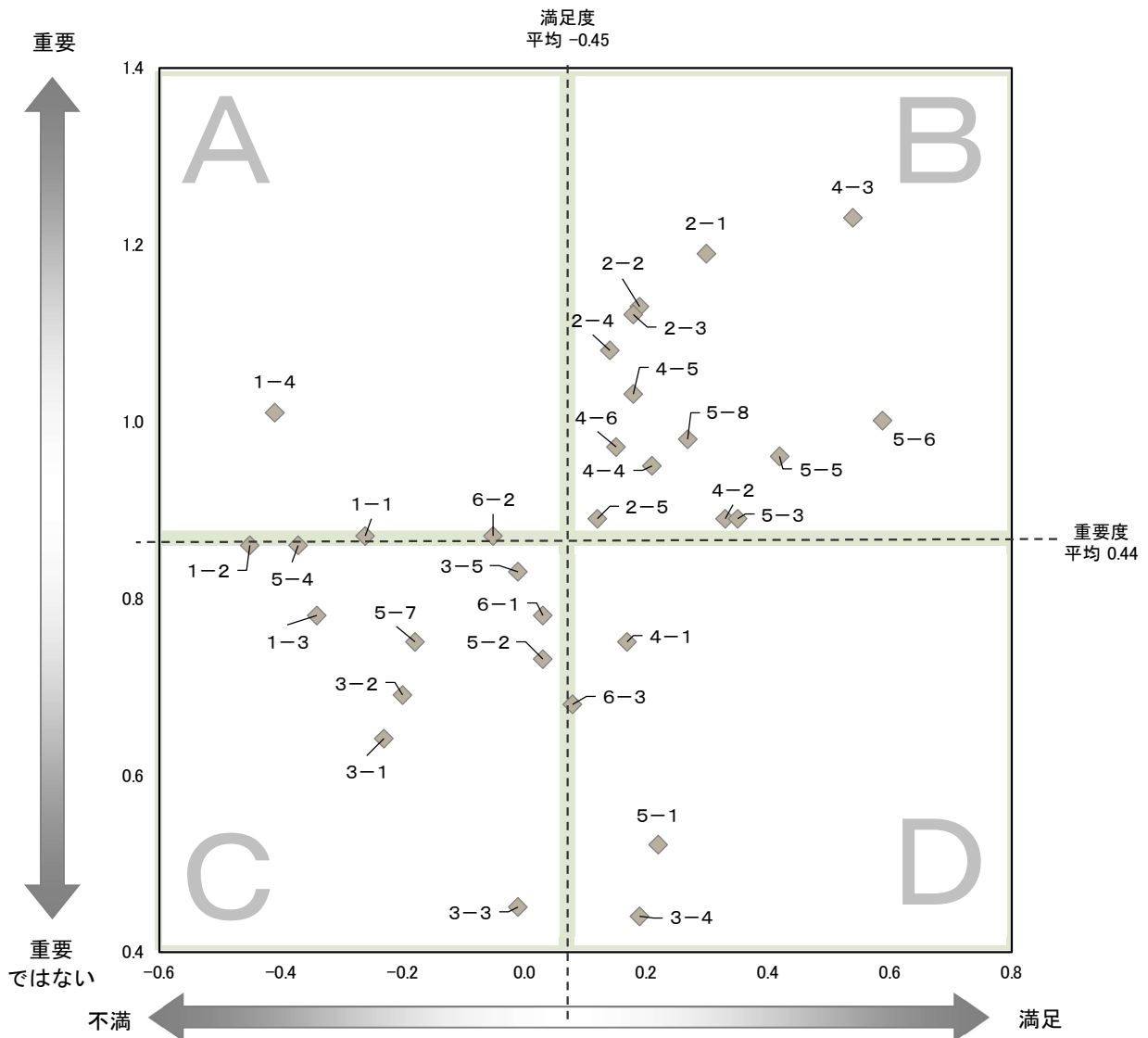
→今後の重要度と現在の取組に対する満足度がともに低い施策と考えられます。施策の方向性や取組の見直しについて検討する必要があります。また、取組の状況が市民に見えにくいと考えられるため、認知度向上に向けた施策の検討も必要です。

◆タイプD：維持が望まれる施策

→今後の重要度は低いものの、現在の取組は満足している施策と考えられます。今後も満足度の水準を下げることなく、着実に取り組んでいく必要があります。

① 全体集計

全体的には、「4-3 地域医療体制の充実」「2-1 子どもを生き育てやすい環境の充実」「2-2 子どもが健やかに育つ環境の整備」など、医療・福祉、教育の分野において満足度が高い結果が出ていますが、「1-4 安定した雇用の創出と産業人材の育成」については、重要度が高いにもかかわらず、満足度が低い結果となっています。

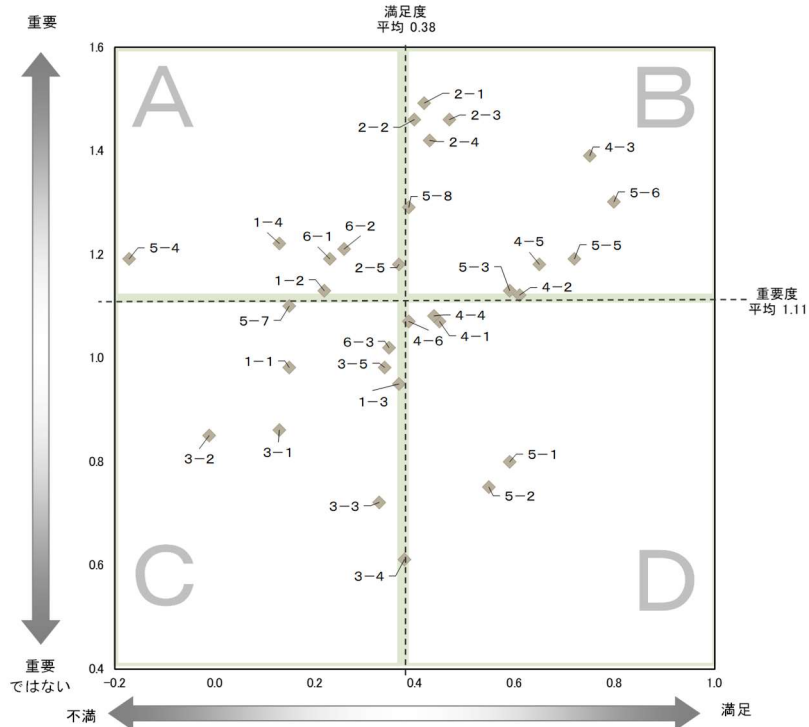


項目	
1-1 未来を支える成長産業の創出	4-3 地域医療体制の充実
1-2 地域を支える商工業の振興	4-4 心かよう地域福祉の充実
1-3 強く稼げる農林水産業の振興	4-5 高齢者福祉の充実
1-4 安定した雇用の創出と産業人材の育成	4-6 障害者（児）福祉の充実
2-1 子どもを生き育てやすい環境の充実	5-1 市民活動・コミュニティ活動の活性化
2-2 子どもが健やかに育つ環境の整備	5-2 カーボンニュートラルの推進
2-3 子どもの学びの充実と学力の向上	5-3 循環型社会の構築
2-4 一人ひとりを大切にす教育の推進	5-4 利便性の高い地域公共交通の確保
2-5 いつでもいつまでも学べる環境の充実	5-5 生活の安全性の向上
3-1 宇部の魅力を高めるシティプロモーションの推進	5-6 消防・防災の推進
3-2 地域の魅力を活かした観光振興・MICE 誘致の推進	5-7 活力ある都市空間の整備
3-3 「する」「みる」「ささえる」スポーツの振興	5-8 快適な生活基盤の構築
3-4 人と地域がきらめく文化の振興	6-1 効果的な行政運営システムの構築
3-5 移住・定住の推進	6-2 健全な財政運営の推進
4-1 多様性を尊重する社会の構築	6-3 共創によるまちづくりの推進
4-2 生涯を通じた健康づくりの推進	

②世代別集計

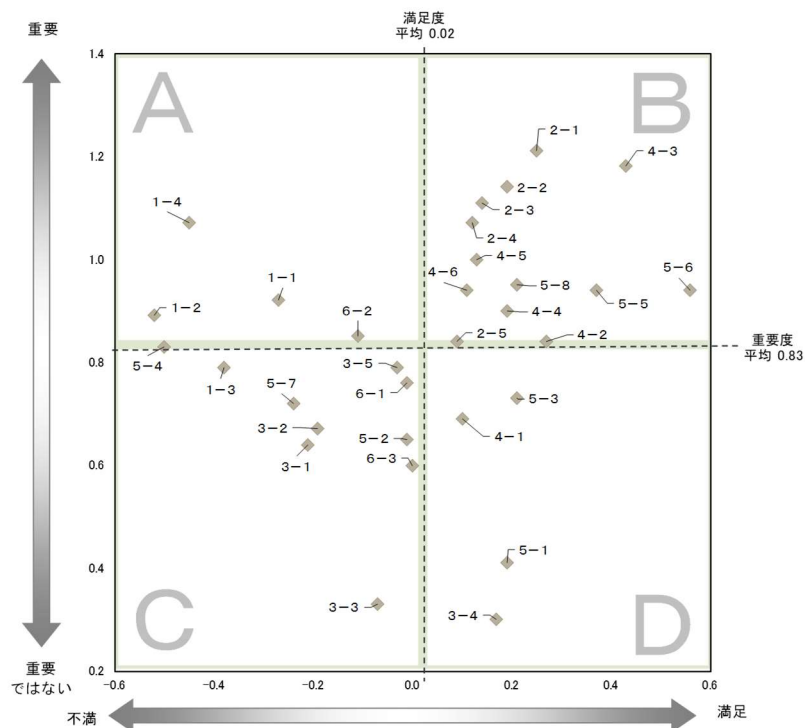
◆若者世代(10~20 歳代)

ミドル世代やシニア世代に比べて全体的に満足度が高くなっているものの、「5-4 利便性の高い地域公共交通の確保」が、重要度が高い一方で満足度が低い結果となっています。



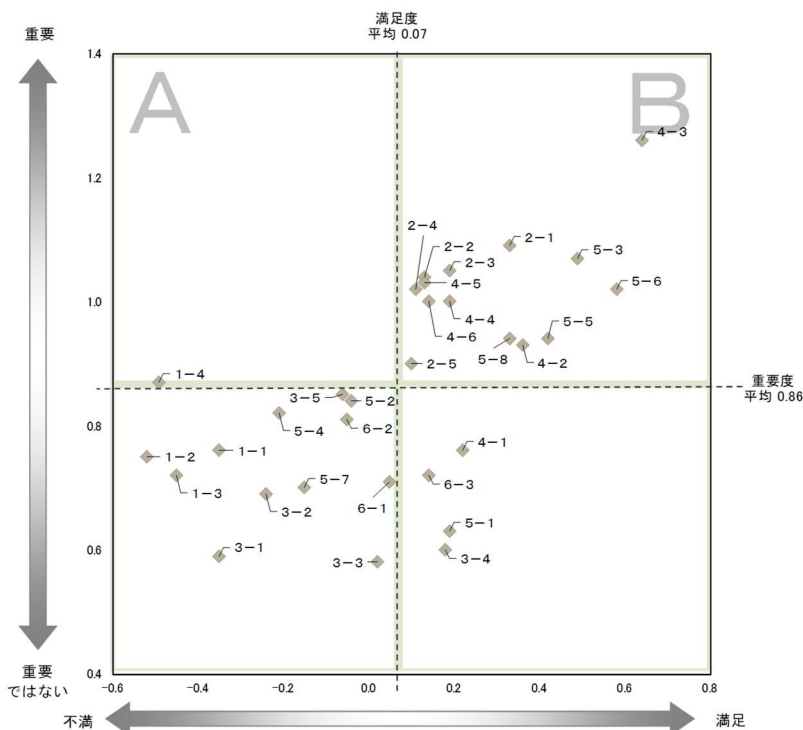
◆ミドル世代(30~50 歳代)

「1-4 安定した雇用の創出と産業人材の育成」「1-2 地域を支える商工業の振興」「1-1 未来を支える成長産業の創出」など、産業の分野において、重要度が高い一方満足度が低い結果となっています。



◆シニア世代(60歳以上)

「1-2 地域を支える商工業の振興」「1-3 強くて稼げる農林水産業の振興」「3-1 宇部の魅力を高めるシティプロモーションの推進」など、産業や観光関連の分野が満足度・重要度ともに低い結果となっています。

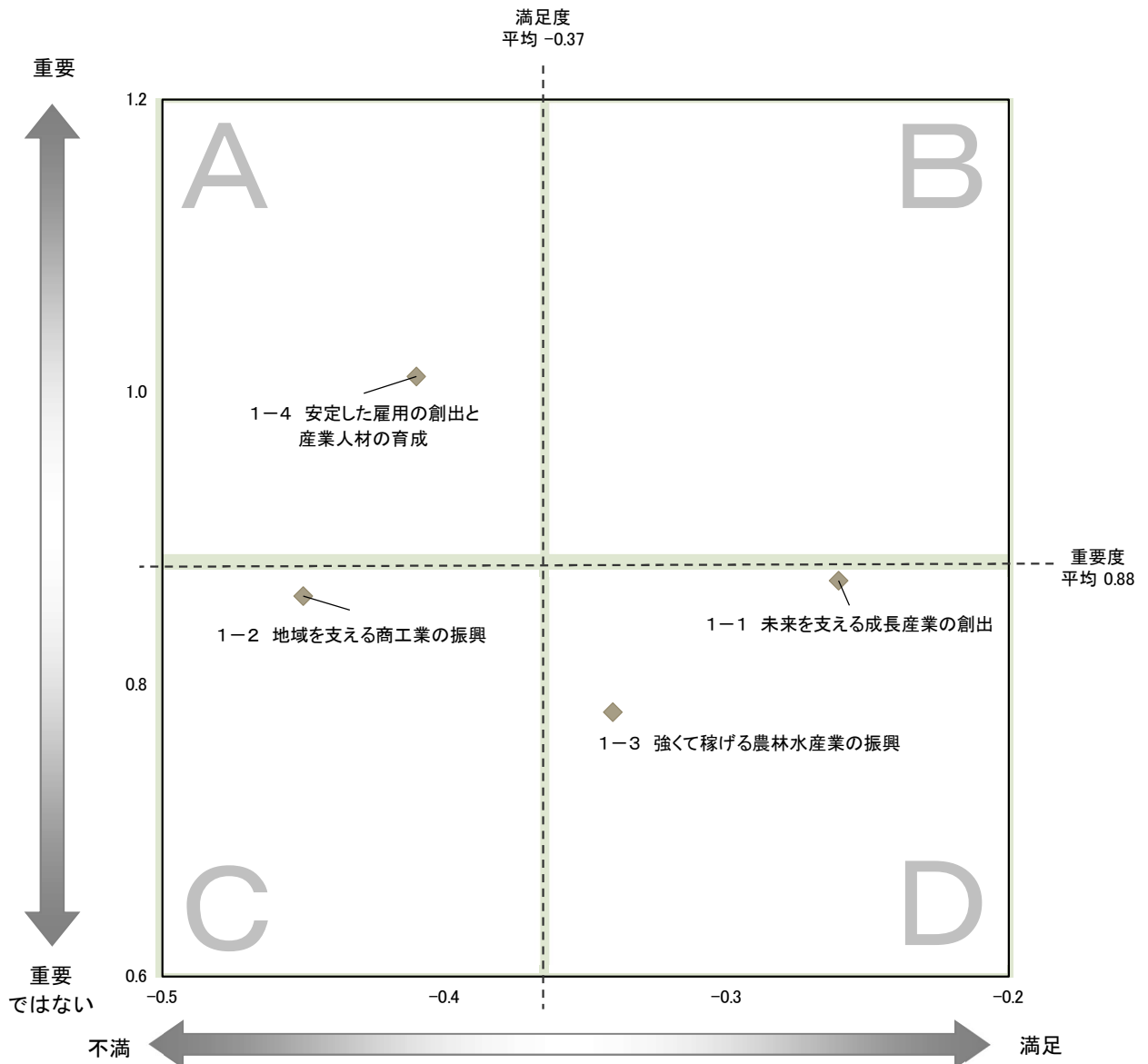


項目	
1-1 未来を支える成長産業の創出	4-3 地域医療体制の充実
1-2 地域を支える商工業の振興	4-4 心かよう地域福祉の充実
1-3 強くて稼げる農林水産業の振興	4-5 高齢者福祉の充実
1-4 安定した雇用の創出と産業人材の育成	4-6 障害者(児)福祉の充実
2-1 子どもを生き育てやすい環境の充実	5-1 市民活動・コミュニティ活動の活性化
2-2 子どもが健やかに育つ環境の整備	5-2 カーボンニュートラルの推進
2-3 子どもの学びの充実と学力の向上	5-3 循環型社会の構築
2-4 一人ひとりを大切にする教育の推進	5-4 利便性の高い地域公共交通の確保
2-5 いつでもいつまでも学べる環境の充実	5-5 生活の安全性の向上
3-1 宇部の魅力を高めるシティプロモーションの推進	5-6 消防・防災の推進
3-2 地域の魅力を活かした観光振興・MICE誘致の推進	5-7 活力ある都市空間の整備
3-3 「する」「みる」「ささえる」スポーツの振興	5-8 快適な生活基盤の構築
3-4 人と地域がきらめく文化の振興	6-1 効果的な行政運営システムの構築
3-5 移住・定住の推進	6-2 健全な財政運営の推進
4-1 多様性を尊重する社会の構築	6-3 共創によるまちづくりの推進
4-2 生涯を通じた健康づくりの推進	

③ 前期実行計画・基本目標ごとの集計(全体集計)

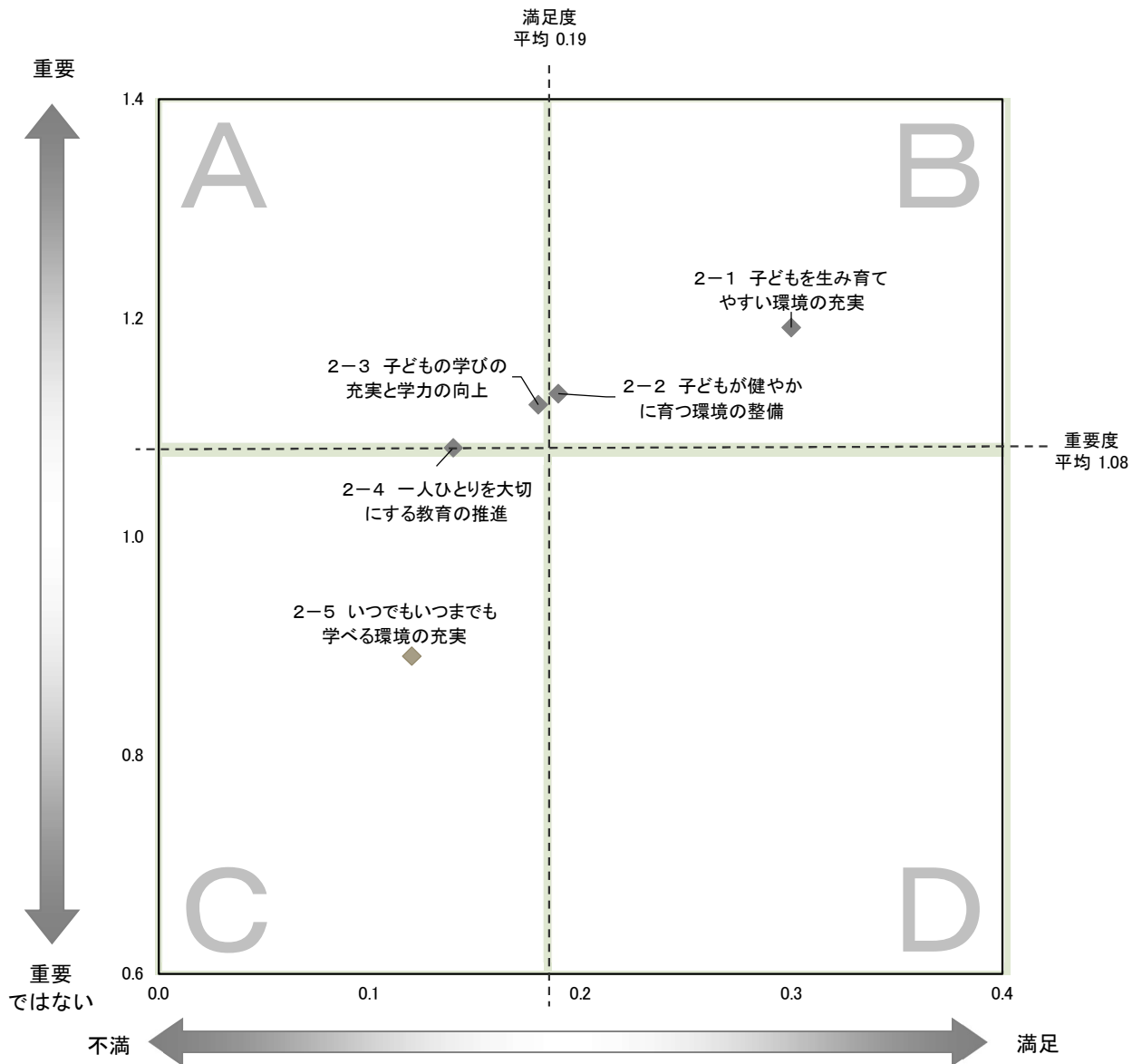
1 活気に満ちた強い産業のまち

この分野では、「1-4 安定した雇用の創出と産業人材の育成」が、重要度が高い一方で満足度が低く、また、「1-2 地域を支える商工業の振興」は重要度・満足度ともに低くなっています。



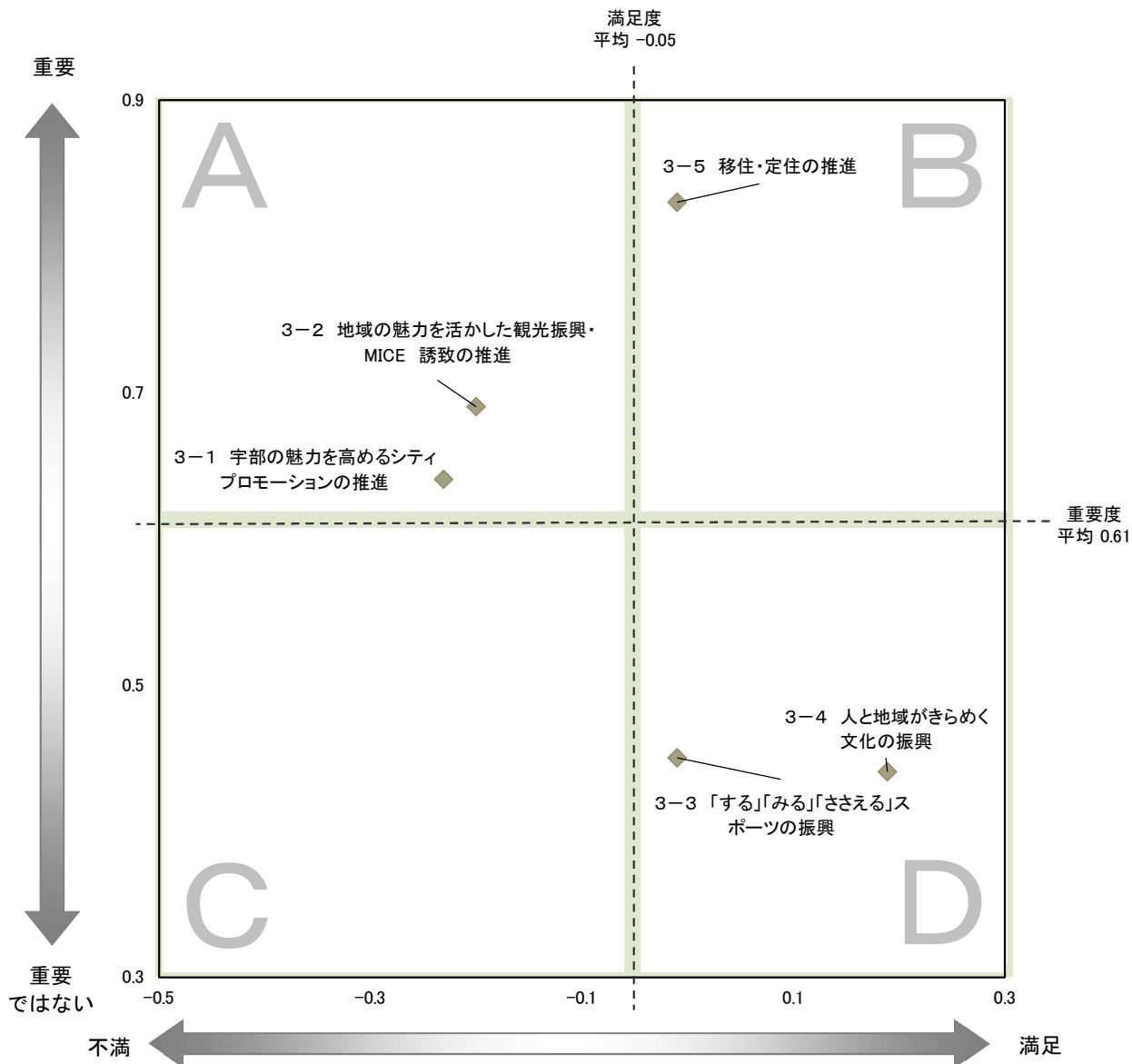
2 未来を拓くひとを育むまち

この分野では、「2-1 子どもを生み育てやすい環境の充実」「2-2 子どもが健やかに育つ環境の整備」が重要度・満足度ともに高い一方で、「2-5 いつでもいつまでも学べる環境の充実」が重要度・満足度がともに低い状況となっています。



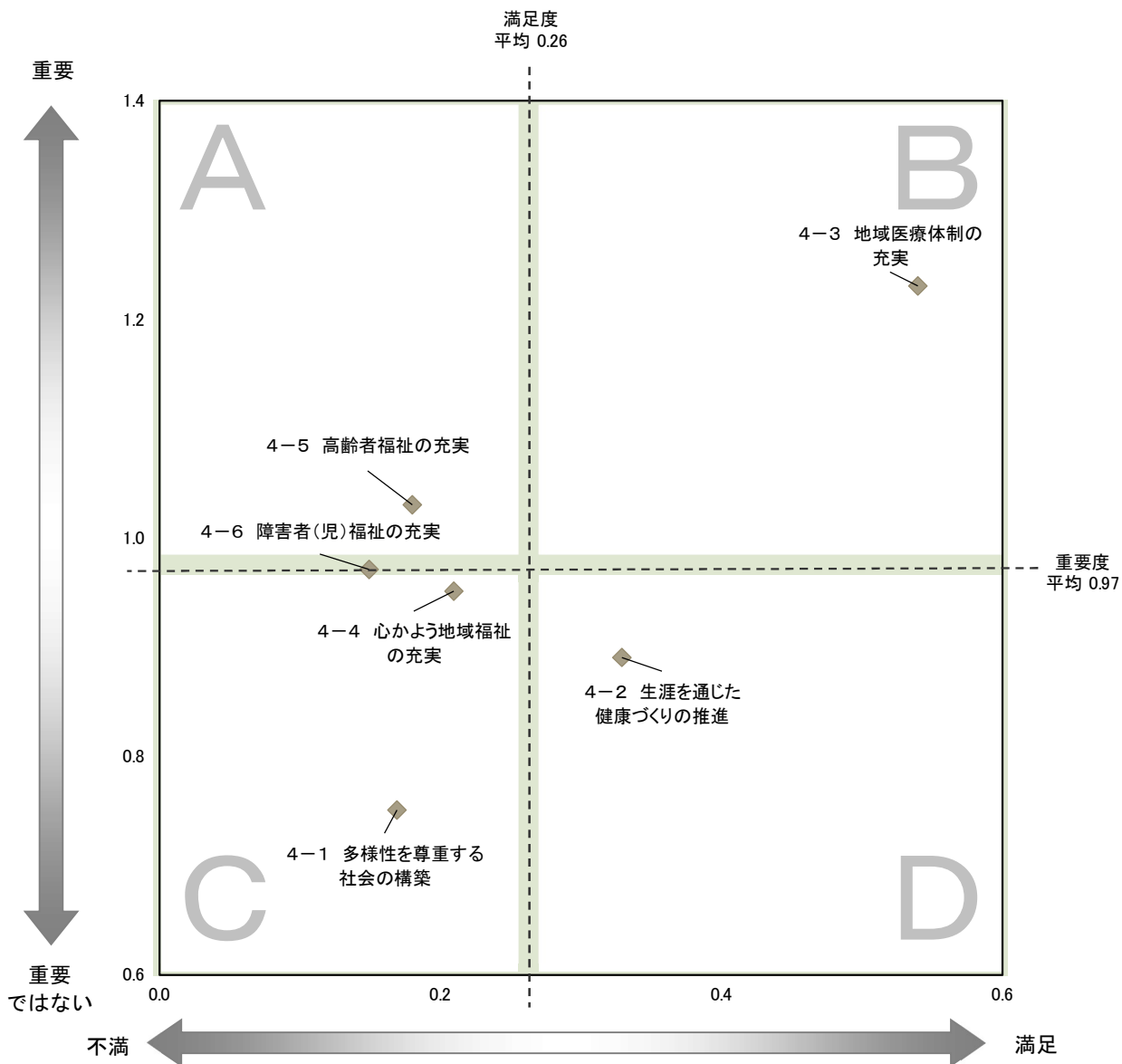
3 魅力と賑わいにあふれるまち

この分野では、「3-1 宇部の魅力を高めるシティプロモーションの推進」「3-2 地域の魅力を活かした観光振興・MICE 誘致の推進」が、重要度が高い一方で取組の満足度が低くなっています。



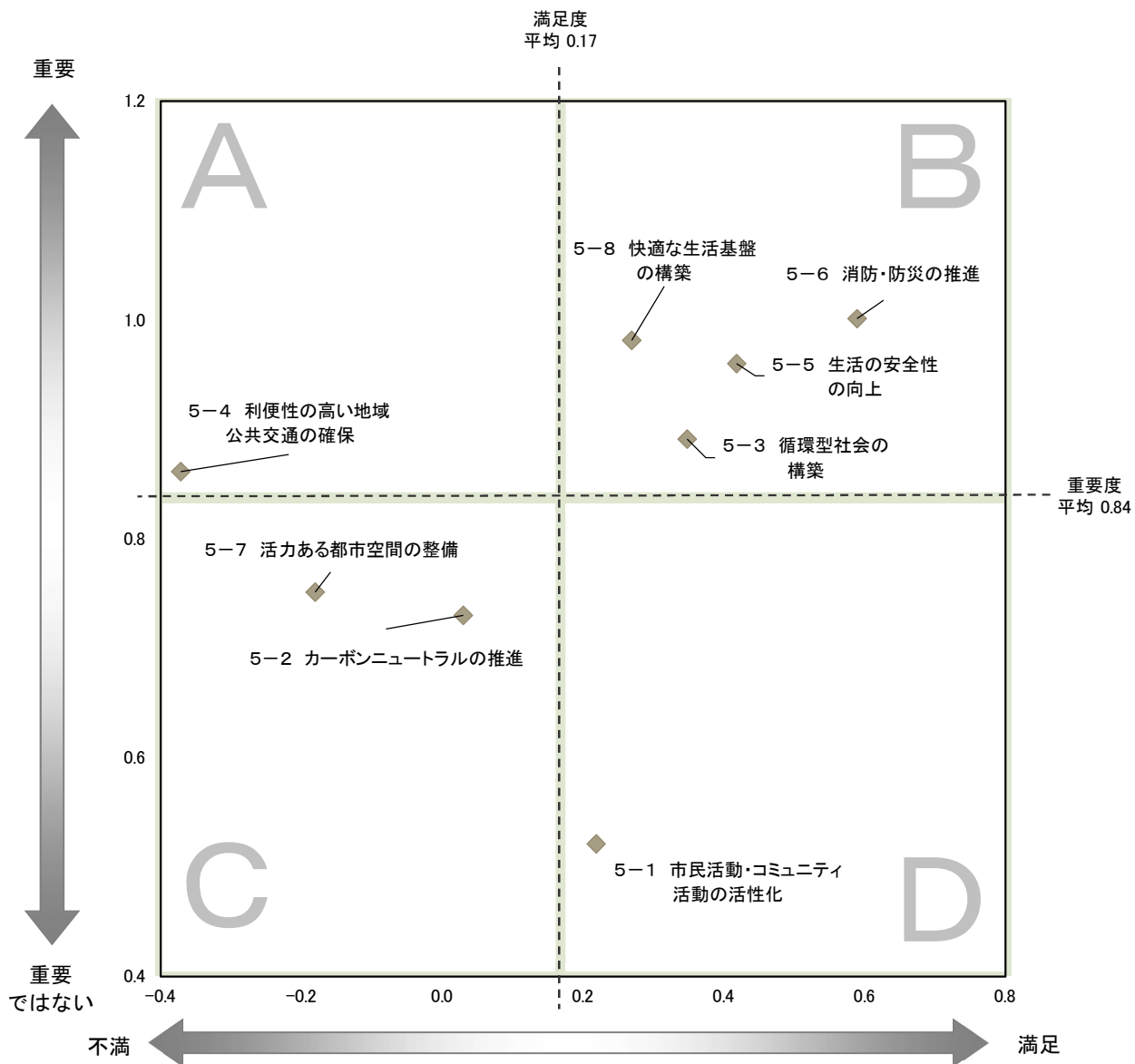
4 誰もが健康で自分らしく暮らせるまち

この分野では、「4-5 高齢者福祉の充実」が、重要度が高い一方で取組の満足度が低くなっています。また、「4-1 多様性を尊重する社会の構築」については、満足度・重要度ともに低い状況です。



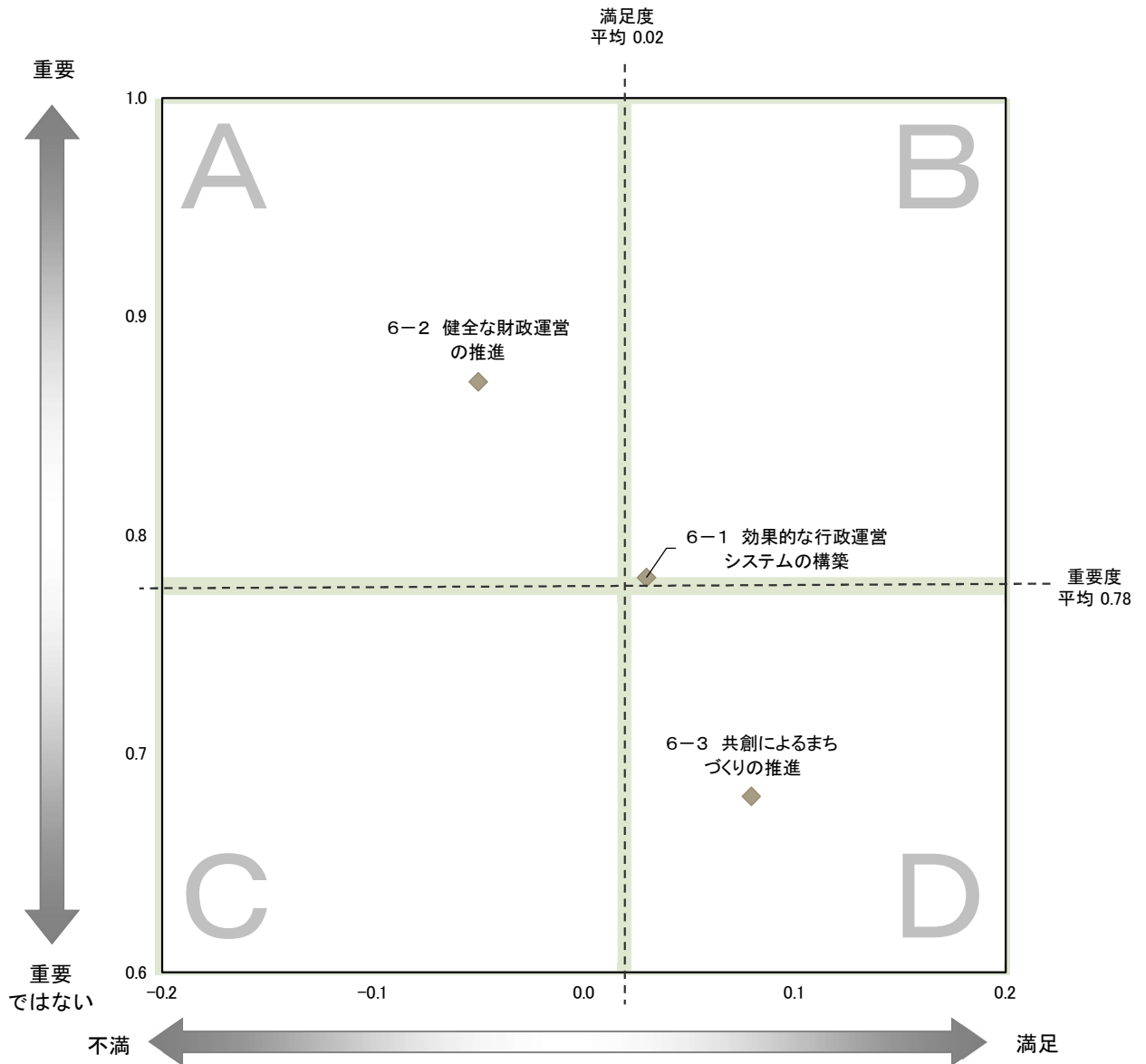
5 安心・安全で快適に暮らせるまち

この分野では、「5-4 利便性の高い地域公共交通の確保」が、重要度が高い一方で取組の満足度が低くなっています。また、「5-7 活力ある都市空間の整備」「5-2 カーボンニュートラルの推進」については、満足度・重要度ともに低い状況です。



6 計画の推進に向けて

この分野では、「6-2 健全な財政運営の推進」が、重要度が高い一方で取組の満足度が低くなっています。



5 宇部市のまちづくりの取組について(前期実行計画・重点プロジェクト関連事業)

- 第五次宇部市総合計画基本構想に掲げた将来都市像「ひとが輝き 交流ひろがる わたしたちの宇部」の実現に向け、前期実行計画期間内において重点的・先導的に取り組むべき施策を「重点プロジェクト」として位置付けています。
- 重点プロジェクトは、「暮らし安心・安全プロジェクト」、「たくましい産業育成プロジェクト」、「子ども未来応援プロジェクト」、「まちの賑わい創出プロジェクト」の4つで構成し、各分野における施策を関連付けながら横断的に取り組んでいます。

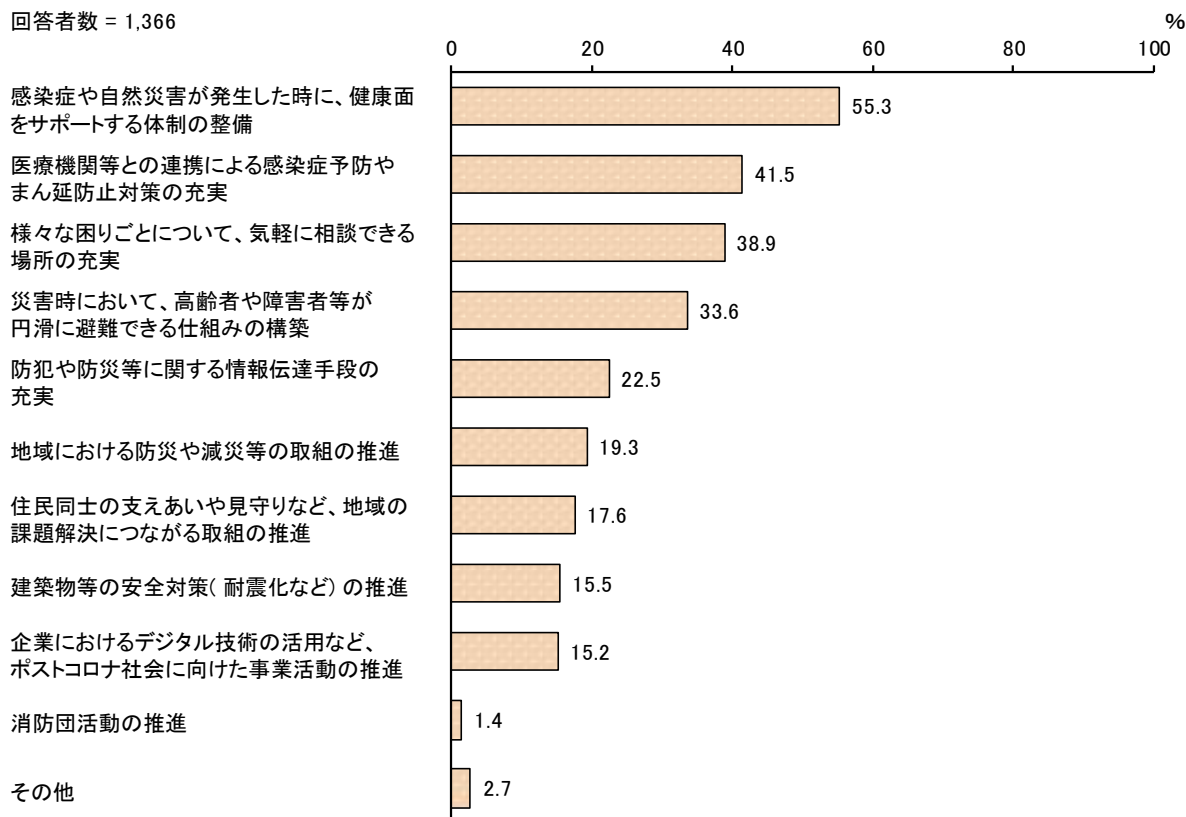
重点1：暮らし安心・安全プロジェクト

- ・新型コロナウイルス感染症や自然災害などから、市民の生命や財産を守るため、感染症対策の強化や地域防災力の向上等の取組を推進します。
- ・企業や地域コミュニティ等の活動において、「新たな日常」に対応した取組を促進することにより、ポストコロナ社会に向けた社会経済活動と地域活動への転換を図ります。

Q51 暮らしの安心・安全に向けた取組について、特に力を入れてほしいと思うものをお答えください。(〇は3つまで)

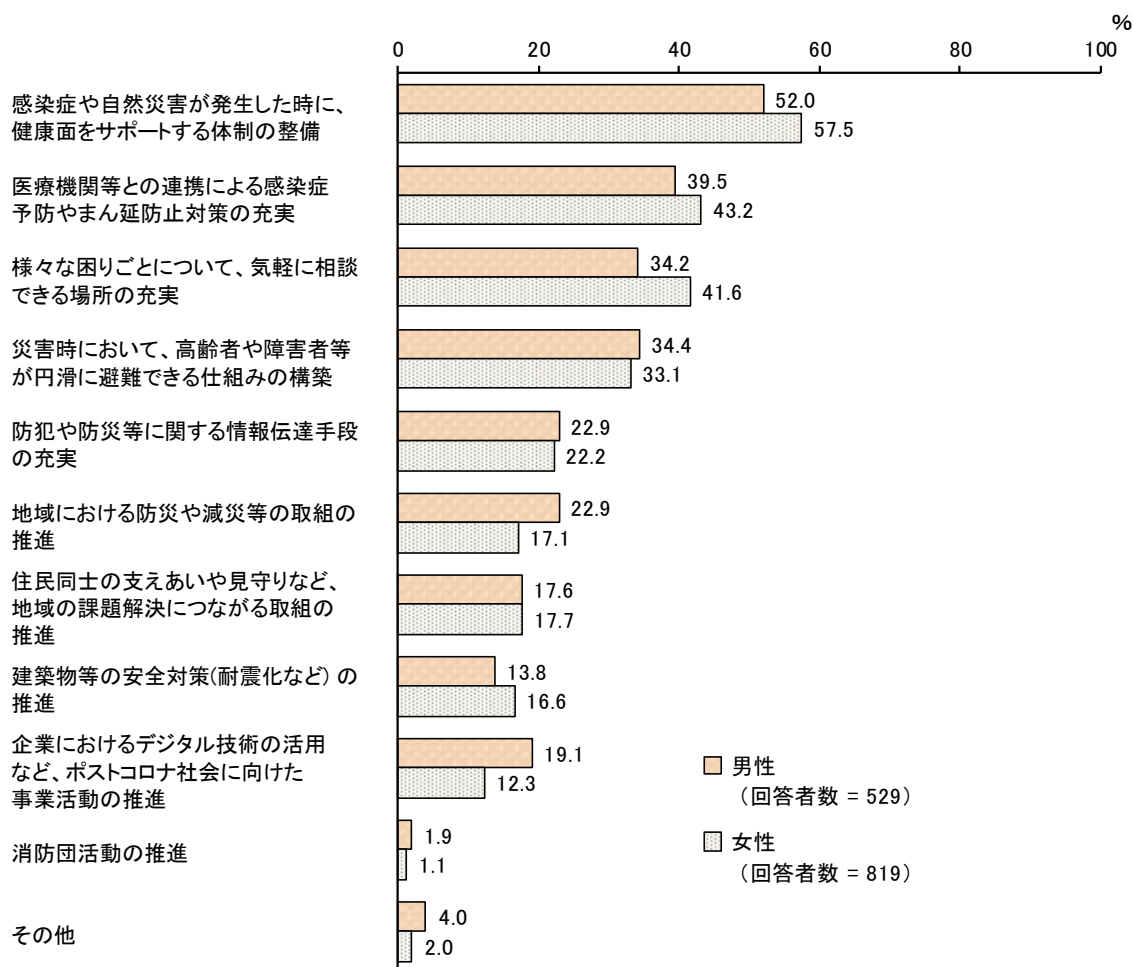
「感染症や自然災害が発生した時に、健康面をサポートする体制の整備」の割合が55.3%と最も高く、次いで「医療機関等との連携による感染症予防やまん延防止対策の充実」が41.5%、「様々な困りごとについて、気軽に相談できる場所の充実」が38.9%となっています。

回答者数 = 1,366



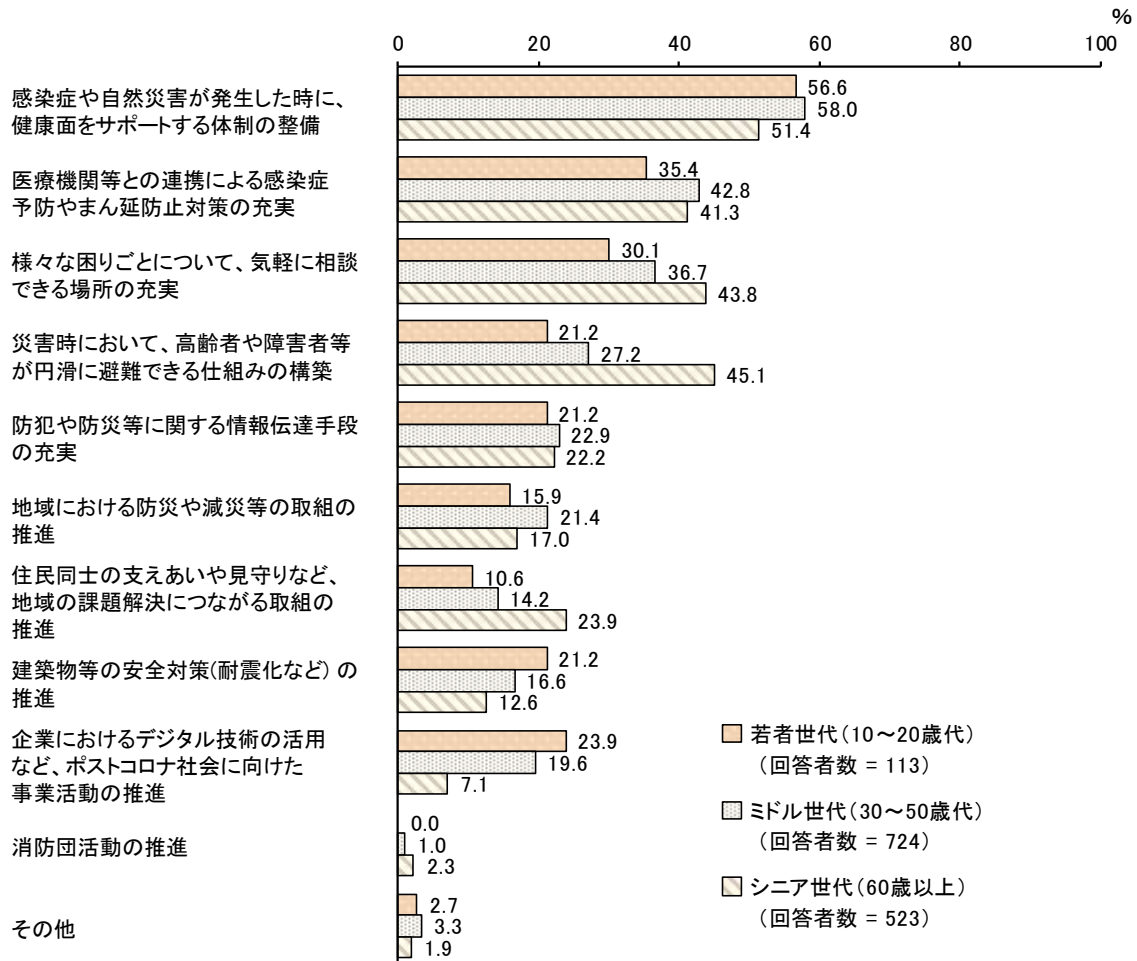
【性別】

性別でみると、男性で「地域における防災や減災等の取組の推進」「企業におけるデジタル技術の活用など、ポストコロナ社会に向けた事業活動の推進」の割合が高くなっています。また、女性で「様々な困りごとについて、気軽に相談できる場所の充実」の割合が高くなっています。



【世代別】

世代別でみると、年齢が若くなるほど、「建築物等の安全対策(耐震化など)の推進」「企業におけるデジタル技術の活用など、ポストコロナ社会に向けた事業活動の推進」の割合が高くなる傾向がみられます。また、年齢が上がるにつれ「様々な困りごとについて、気軽に相談できる場所の充実」「災害時において、高齢者や障害者等が円滑に避難できる仕組みの構築」住民同士の支えあいや見守りなど、地域の課題解決につながる取組の推進」の割合が高くなる傾向がみられます。



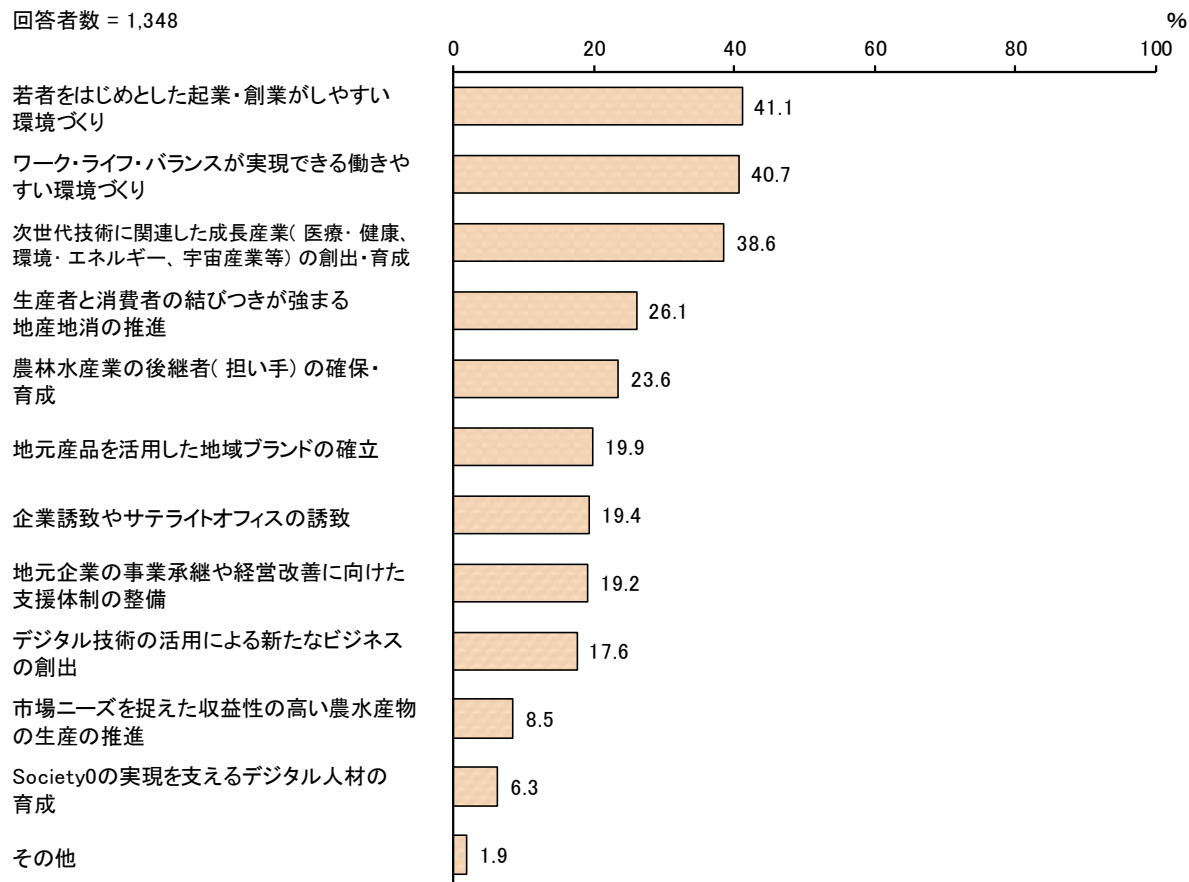
重点2：たくましい産業育成プロジェクト

- ・未来を支える成長産業の創出・育成や、次代につなぐデジタル人材の育成を推進します。
- ・企業誘致やサテライトオフィスの誘致、起業・創業、地元企業の経営基盤の強化を支援します。
- ・強く稼げる持続可能な農林水産業への転換を促進するとともに、宇部ブランド戦略を推進します。

Q52 産業や雇用の活性化に向けた取組について、特に力を入れてほしいと思うものをお答えください。(〇は3つまで)

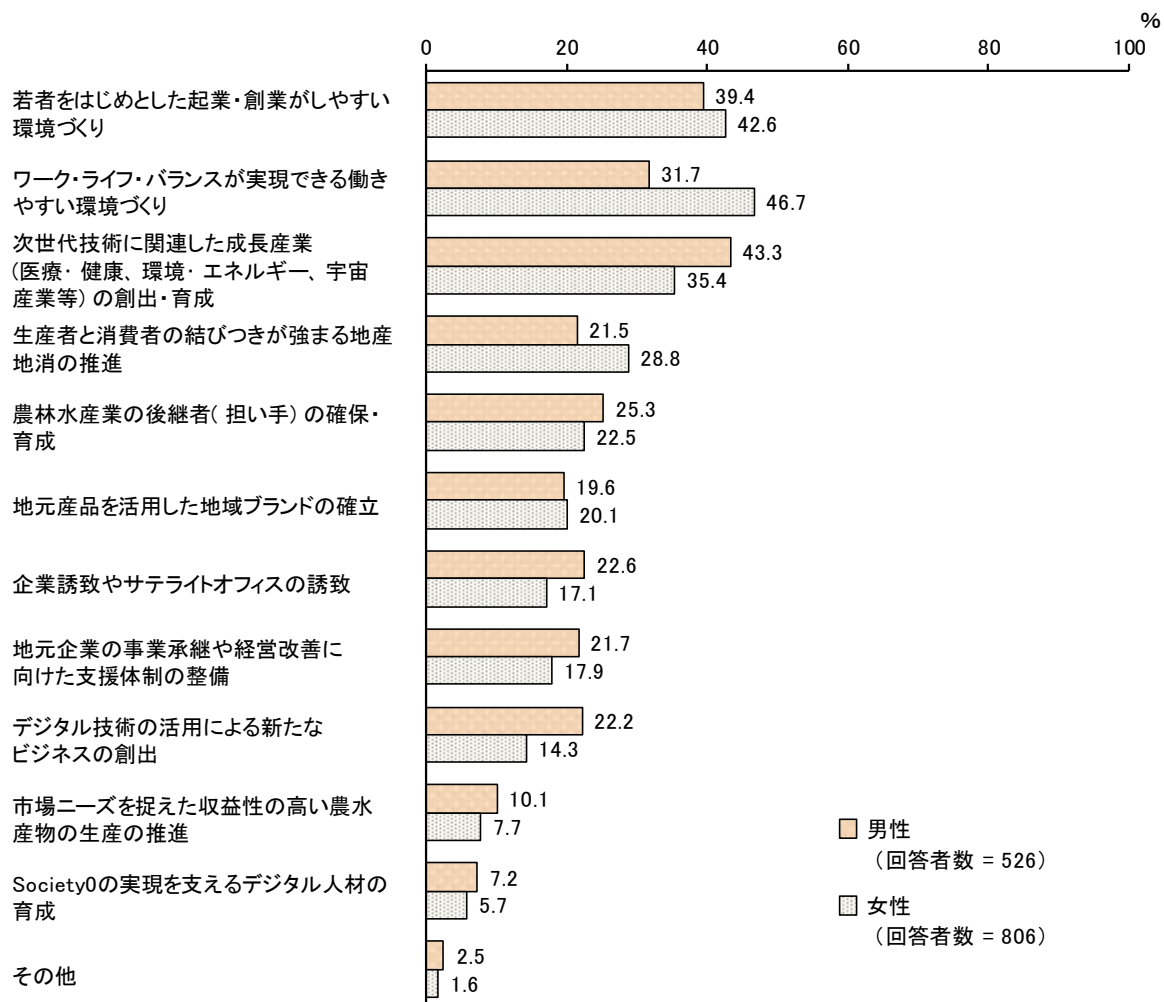
「若者をはじめとした起業・創業がしやすい環境づくり」の割合が41.1%と最も高く、次いで「ワーク・ライフ・バランスが実現できる働きやすい環境づくり」が40.7%、「次世代技術に関連した成長産業(医療・健康、環境・エネルギー、宇宙産業等)の創出・育成」が38.6%となっています。

回答者数 = 1,348



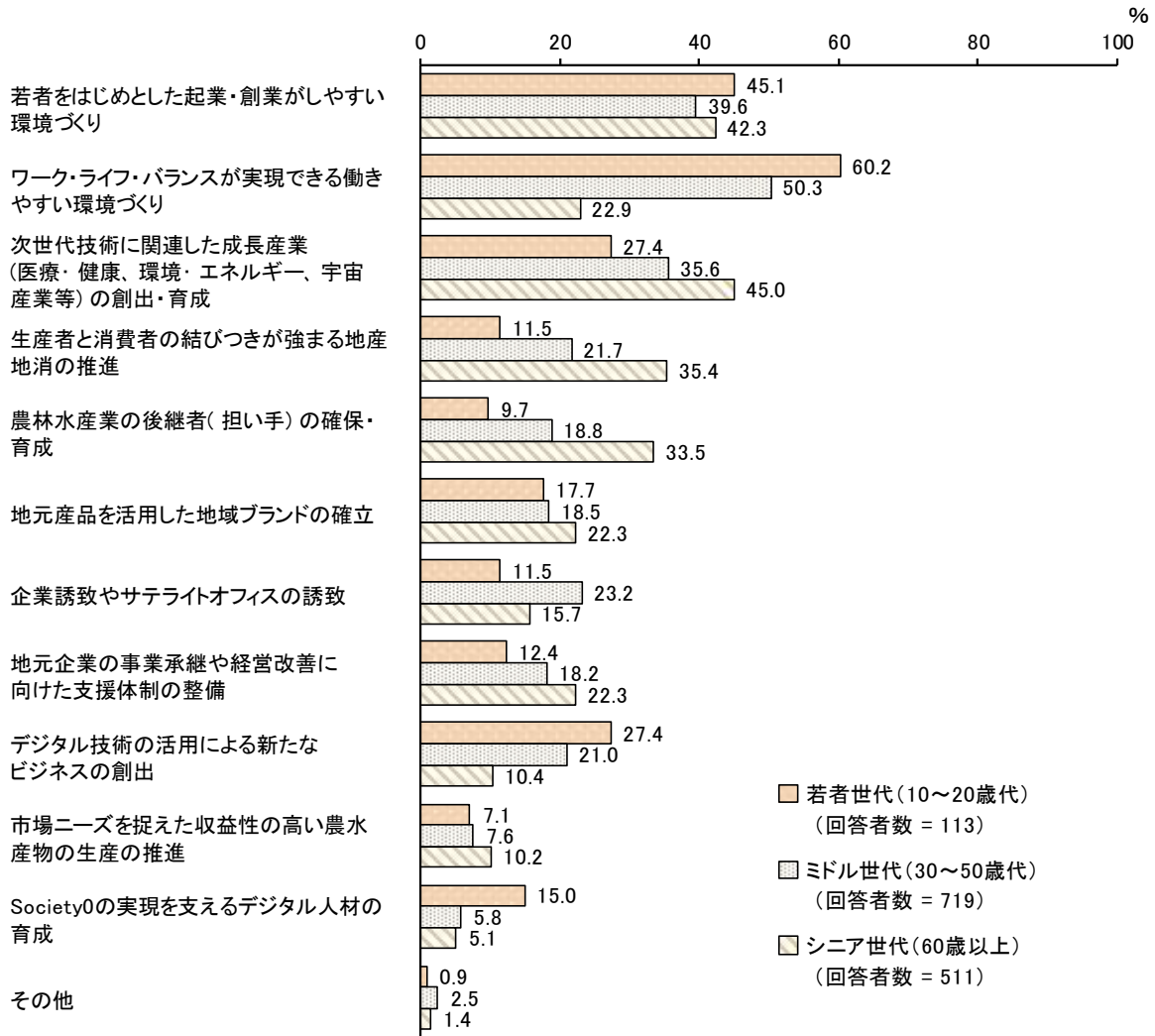
【性別】

性別でみると、男性で「次世代技術に関連した成長産業（医療・健康、環境・エネルギー、宇宙産業等）の創出・育成」「企業誘致やサテライトオフィスの誘致」「デジタル技術の活用による新たなビジネスの創出」の割合が高くなっています。また、女性で「ワーク・ライフ・バランスが実現できる働きやすい環境づくり」「生産者と消費者の結びつきが強まる地産地消の推進」の割合が高くなっています。



【世代別】

世代別でみると、年齢が若くなるほど、「ワーク・ライフ・バランスが実現できる働きやすい環境づくり」「デジタル技術の活用による新たなビジネスの創出」の割合が高くなる傾向がみられます。また、年齢が上がるにつれ「次世代技術に関連した成長産業(医療・健康、環境・エネルギー、宇宙産業等)の創出・育成」「生産者と消費者の結びつきが強まる地産地消の推進」「農林水産業の後継者(担い手)の確保・育成」「地元産品を活用した地域ブランドの確立」「地元企業の事業承継や経営改善に向けた支援体制の整備」の割合が高くなる傾向がみられます。



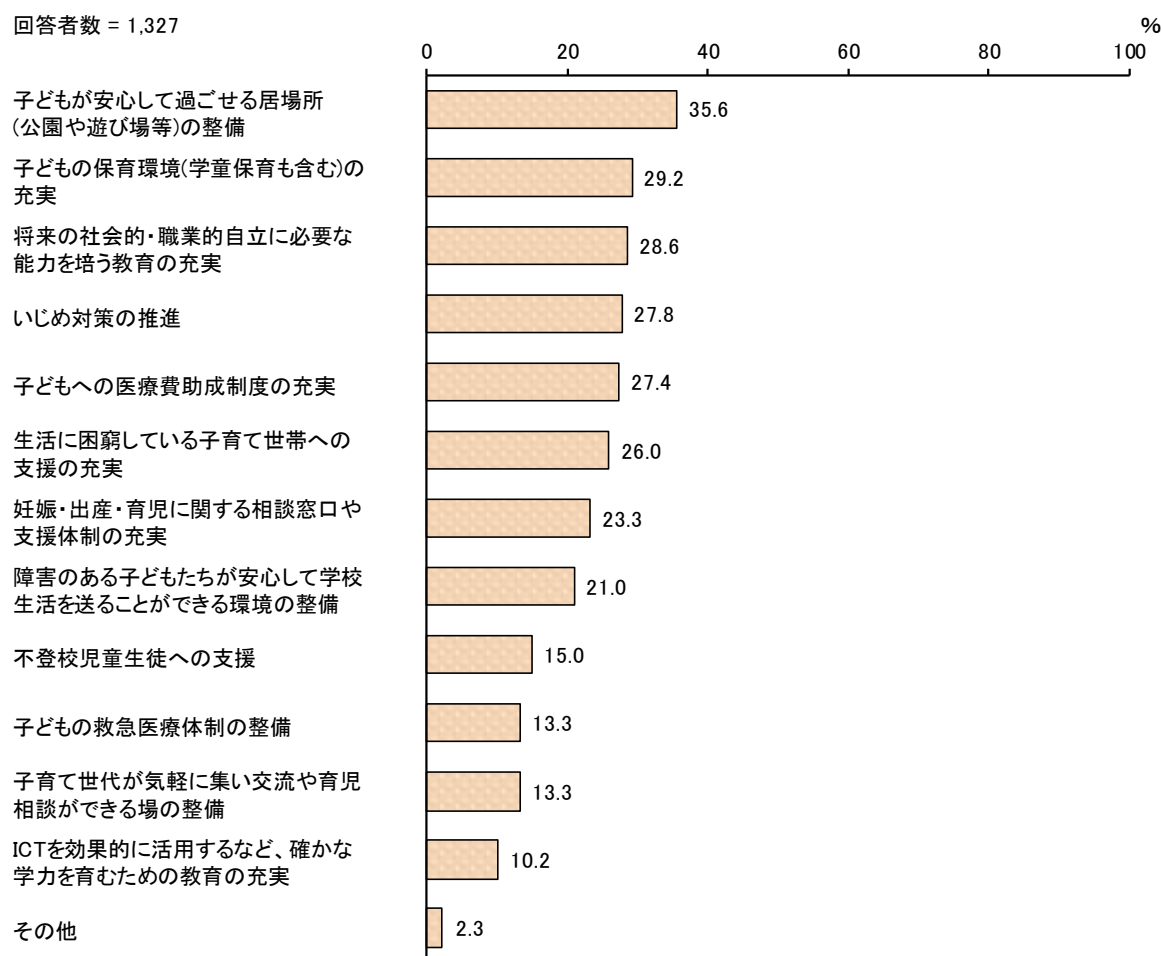
重点3：子ども未来応援プロジェクト

- ・妊婦応援都市として、安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実を図ります。
- ・未来を担う子どもたちに確かな学力や豊かな感性、夢に向かってチャレンジする力を育みます。

Q53 子育て環境の充実に向けた取組について、特に力を入れてほしいと思うものをお答えください。(〇は3つまで)

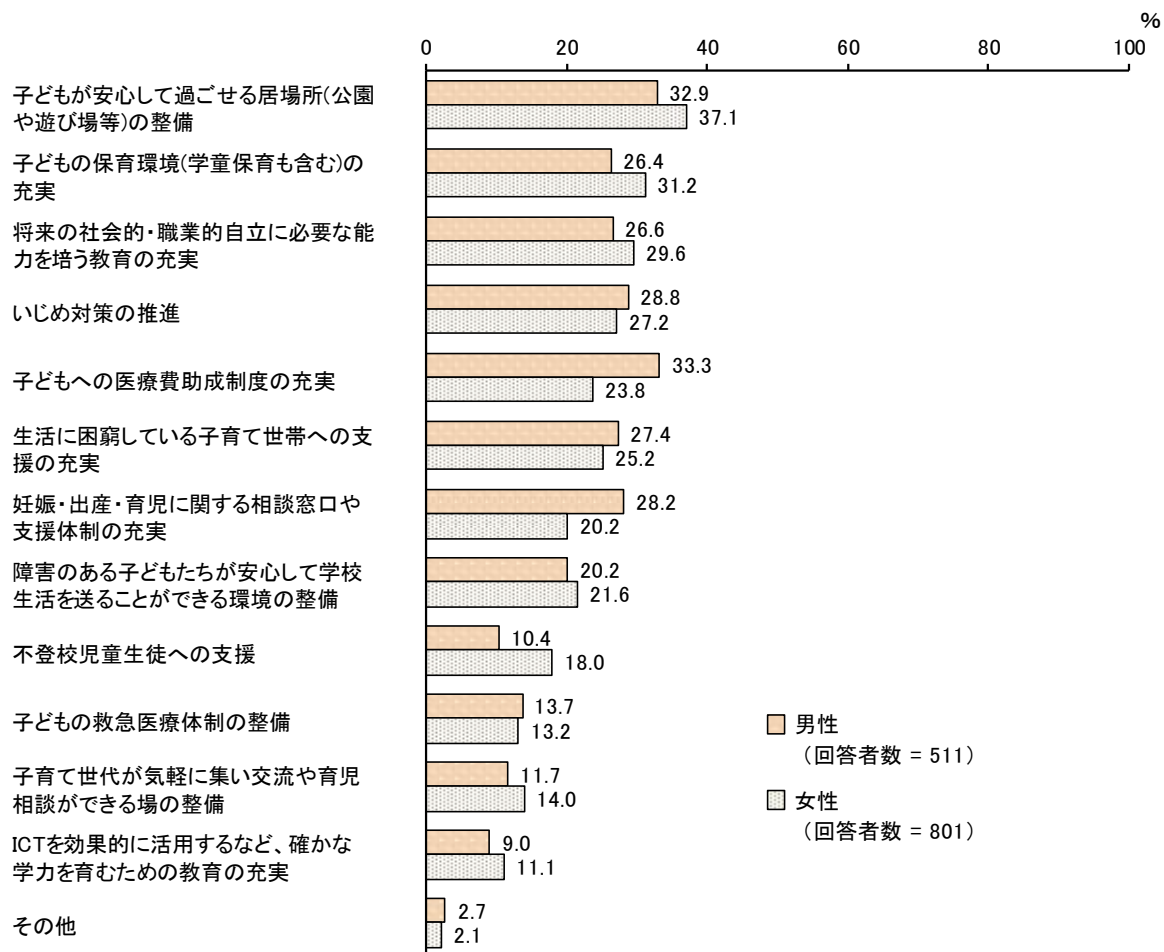
「子どもが安心して過ごせる居場所(公園や遊び場等)の整備」の割合が35.6%と最も高く、次いで「子どもの保育環境(学童保育も含む)の充実」が29.2%、「将来の社会的・職業的自立に必要な能力を培う教育の充実」が28.6%となっています。

回答者数 = 1,327



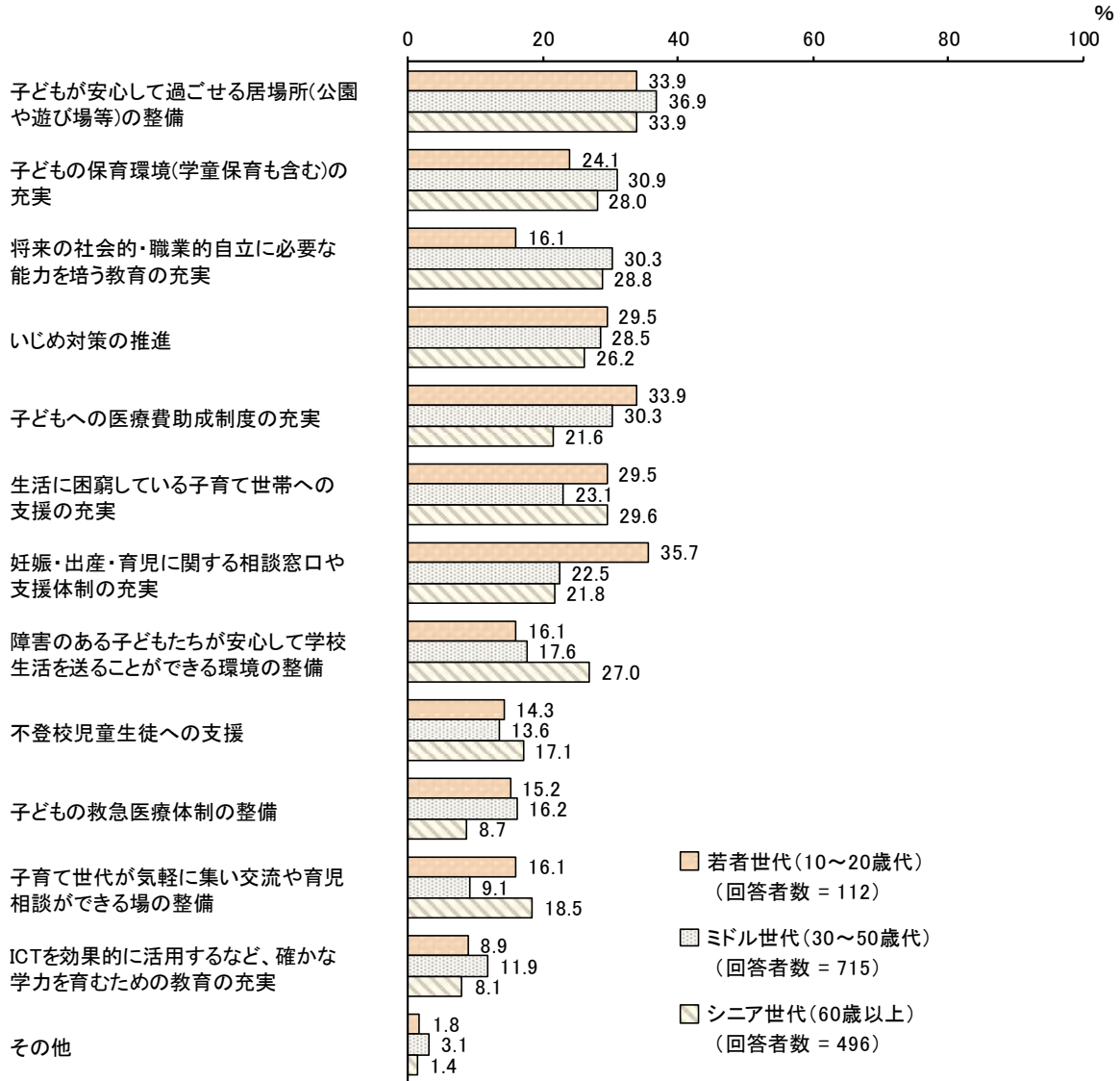
【性別】

性別でみると、男性で「子どもへの医療費助成制度の充実」「妊娠・出産・育児に関する相談窓口や支援体制の充実」の割合が高くなっています。また、女性で「不登校児童生徒への支援」「子どもの保育環境(学童保育も含む)の充実」の割合が高くなっています。



【世代別】

世代別でみると、年齢が若くなるほど、「いじめ対策の推進」「子どもへの医療費助成制度の充実」「妊娠・出産・育児に関する相談窓口や支援体制の充実」の割合が高くなる傾向がみられます。また、年齢が上がるにつれ「障害のある子どもたちが安心して学校生活を送ることができる環境の整備」の割合が高くなる傾向がみられます。



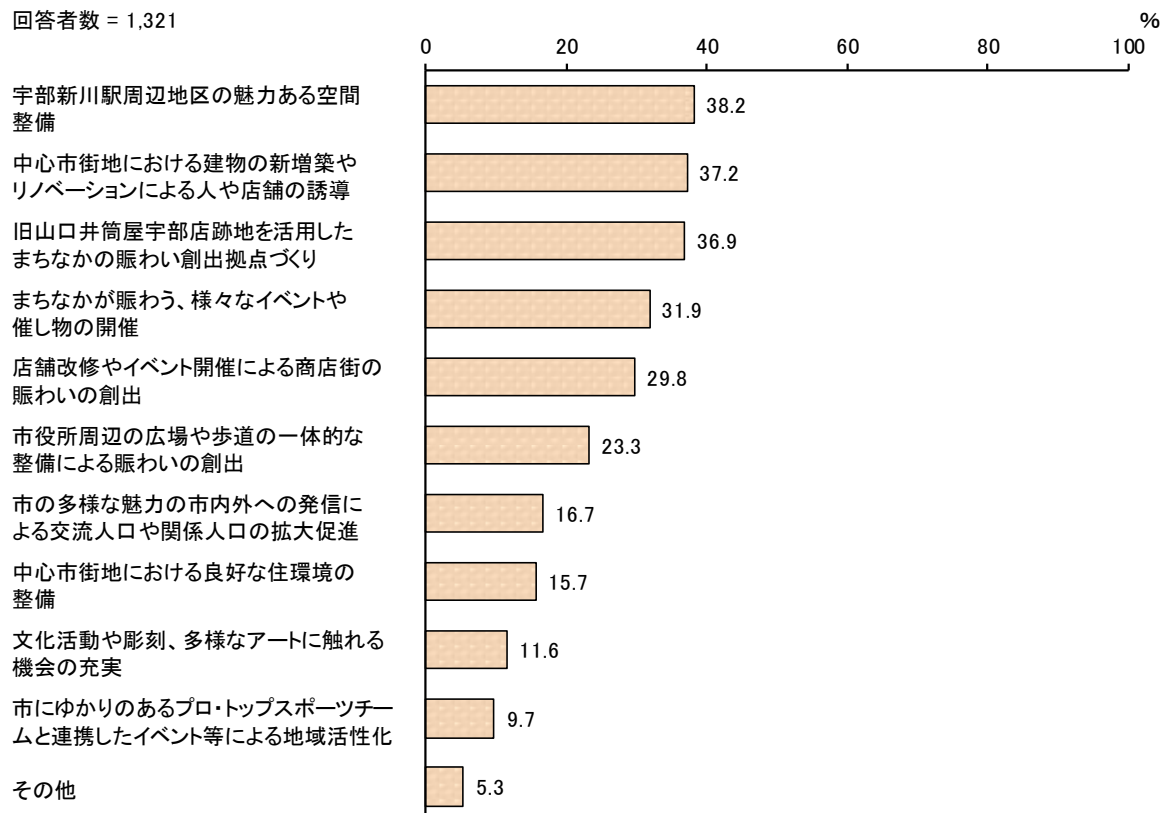
重点4：まちの賑わい創出プロジェクト

- ・新庁舎2期棟の整備や旧山口井筒屋宇部店跡地の利活用等により、賑わい空間の創出を図ります。
- ・多様な主体と連携したイベントの開催等により、交流を促進し、まちの活力を高めます。

Q54 中心市街地など、まちの賑わいづくりについて、特に力を入れてほしいと思うものをお答えください。(〇は3つまで)

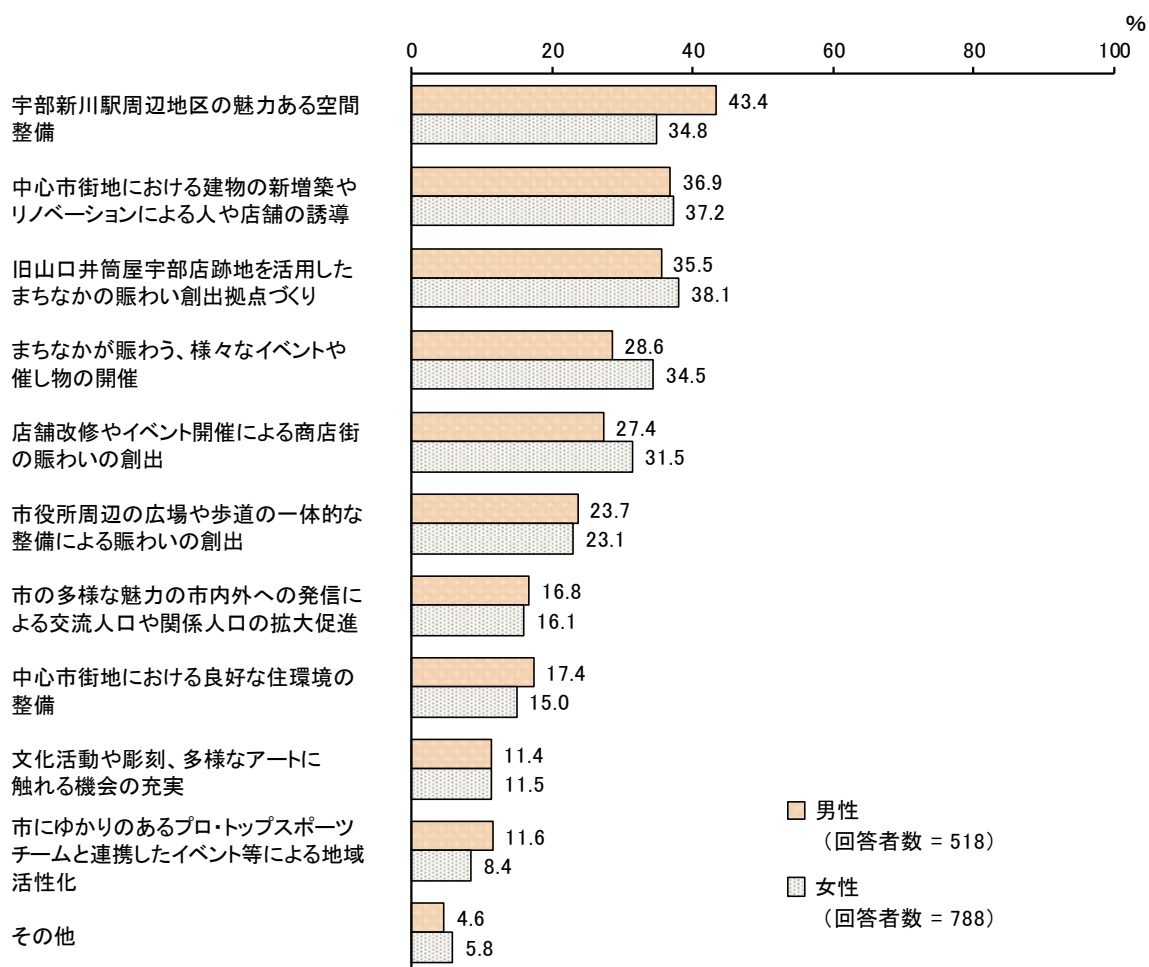
「宇部新川駅周辺地区の魅力ある空間整備」の割合が38.2%と最も高く、次いで「中心市街地における建物の新增築やリノベーションによる人や店舗の誘導」が37.2%、「旧山口井筒屋宇部店跡地を活用したまちなかの賑わい創出拠点づくり」が36.9%となっています。

回答者数 = 1,321



【性別】

性別でみると、男性で「宇部新川駅周辺地区の魅力ある空間整備」の割合が高くなっています。また、女性で「まちなかが賑わう、様々なイベントや催し物の開催」の割合が高くなっています。



【世代別】

世代別でみると、年齢が若くなるほど、「中心市街地における建物の新增築やリノベーションによる人や店舗の誘導」「市にゆかりのあるプロ・トップスポーツチームと連携したイベント等による地域活性化」の割合が高くなる傾向がみられます。また、年齢が上がるにつれ「旧山口井筒屋宇部店跡地を活用したまちなかの賑わい創出拠点づくり」「市の多様な魅力の市内外への発信による交流人口や関係人口の拡大促進」の割合が高くなる傾向がみられます。

